南京政府の危機

財政難は必然的に

中央集權を決定的に破壞

停會さなり金輸出再換止に関する 【東京十九日發】本日の臨時閣議

りたる處を論較し井上前蔵根のては前内閣當時の實績及び其の

施政演説草稿

常見を送べしめる事とするに決し 所見を述べしめる事とするに決し 所見を述べしめる事とするに決し に関する

は午前十時間会大警覧根鋏脂し高 ・ で変が関いが其の内容は選及び外根の外交影影望繋につき 見を変めれが其の内容は選案につき 見を変めれが其の内容は選案につき 見を変めれが其の内容は選案が 見を変めれが其の内容は選案が したである、競門を輸 したである、競門を輸 したである。競門を輸 したである。競門を輸 に対する現内閣の所見に就

こて首様外様の観読後襲撃事項を 政府の意見を陳述する機會を失ふ

解散を見越し、

前例を破つて

金輸再禁の意見陳述

七財政演說

がその順が開かれます。 上氏を第一陣に立てんさしてゐる 上氏を第一陣に立てんさしてゐる 上氏を第一陣に立てんさしてゐる

日

野黨側不利

井上氏の蹶起不可能

が此を天下に歌明し萬殿を三峨し、大野首はより今時會に臨むに常り

野する所能を扱いるた上語會に臨

野薫の覺悟を力説する所信を披いした

決、常議員の吹選を行ひ終つて説ありて議事に入り官言決議を

満日社印刷

本概節 村 春 武 代 遊 的 質

臨時閣議々事

朝野兩黨極度に緊張 解散斷行の氣運濃厚に に迫り

警會出戦の戦争を整へ萬全の策を識する事さなつた
警會出戦の戦争を整くべからざる状態されつたので朝野風震を始め無産黨は鎮に緊張夫れぐく解散後午後一時より黨出鬼際僚會議を開き解散時機を誘場内の腳引につき協議したが再開整戦の解き概さ十九日も午前十時臨時際議を開き解散時機を誘場内の腳引につき協議したが再開整戦の解りを表した。 齊に大會、陣容を確立 度誤謬を指摘したものでい

て散會する苦 民政黨

政友會

・第六十號會に黙と頻製大窓際では ・ ので決して其の態度を確立して歴 ・ ので決して其の態度を確立して歴 ・ ので決して其の態度を確立して歴 ・ ので決して其の態度を確立して歴 前に燃掘びをなず事さなった 無產黨 力を注ぐ

である、又外交流路に就いては殿をする可き經濟的越地策に論及する等を明めた策略に今後我國さらてと其情的方策・一人後我國さらてと 米各國との間の一般的親交状態神

無機本態とを開明する事さなつた 変関係を詳述し特を我國さしてさ を関係を詳述し特を我國さしてさ が受が針、競中對支對流政 がのき外交が針、競中對支對流政 が此の遊説内容につき内奏することが此の遊説内容につき内奏することを明明により、 一般の天皇陛下に標は二十日宮中に参加天皇陛下に標は二十日宮中に参加天皇陛下に 內容內奏

製作所の居城橋福と一撃にして隆 事兵三百磁八門を幸る鬼頭に立ち 手兵三百磁八門を幸る鬼頭に立ち では、大変を数がしることでは、1000円である。 を対して、1000円である。 では、1000円である。 では、10

勇將于深徵

こも様に見る勇將で馬占山以上さらめたものであつて支那軍人の中

ない。 ないでは、 ない

馬占山近~入城

日本学品の版本的時代の火器を切りたれるに決した、他が我軍は近日中に決行されるがあ入城の上は近日中に決行されるがあ入城のすること、なつてるる、一方便城がよれるに決した、他が我軍は近く上満兵匪の版本的時代の火器を切りた。

【ハルビン十九日發】吉林濱縣兩

吉林省統一

支那政情を

各機關も續々ご復活

名實ごもに

わ

六産軍に射たる

反撃して沈默せしむ

軍機市会丁雄二十四歳長李杜二十一に京戦沈戦せも、政府が十八日殿郡忠の順等で突破、一十分戦戦安全が、成立選戦以南松花江流域一帯を完善十分戦戦安全が、政府が十八日殿郡忠の順等で突破(漢日十九日登

滿蒙時局 善後

漸く成案を得たので

渦根となつてゐた四頭政治の整 夏さらて今後の對滿政策の樞軸を 東さらて今後の對滿政策の樞軸を が高致聚を中心に時局整後指置大綱の樹立に

政弊を為する。

さて野外情歌も前途は迷遠だ、黄いな部長は就低するごも出來やうが、事際でて野外情歌も前途は迷遠だ、黄いない。 さり

假に現在の処き經濟能を機でな

は約四十分水至五十分の線症又外には約四十分水至五十分の線症又外に 財政演説に主 印刷般 『東京十九日登』政府に十九日の 職時職職で左心整総対令の事後承 部を表むる保証に法律契を決定し たが何れも同日上奏御塾中心順き を破験に提出の署である。 帝國憲法第二項に依り承 帝國憲法第二項に依り承 シギーの運動の如くなければ らない きなどで 一、農村錦芝打破 一、農村錦芝打破 二、北海漁業國營化 三、霊則の改正 四、原作地農村窮民の救済 本年度以降関係関連を 、七年度以降関係関連を 、七年度一般會計成出の財源に 充つるため公債養行に関する法律系 をであため公債養行に関する法律系 優行に関する法律案が別事題の經費支継のため公 社會民衆黨 大會第一日 金の繰入れ 心を持ちつゝあるは勿論欲細なる事にも融郷を完が其の目を始めて巧に出怨してゐる、なほ機等は彩天尊に入り込む者非常に発く何れも軍事政治經察天尊に入り込む者非常に発し何れも軍事政治經 が針は二日目に決定のはすである一すである家社會主義への軽敵を示す新運動一御裁事を終て 部修正政黨政策一 職に勢農政府から日露不侵略條約総結振繁華配 七年度豫算发 P

すである

失らしてゐる『長春電話』

首相の

著腹症

内では速感であれば、東京十九日

民日事件

を可決午後五時散會した、なほ國 張作舟等逮捕 反逆者掃蕩 年度特別會計談出入徽第案4上奏。後昭和七年度談出入總議第並に七 廿日上奏 2 られたので明

一超は歸順條件を 段落

貴共に全省を統轄する 政府に駅し吉林政府主 の一十五旅長張作舟は 降る

であるが全國影響膨脹合會におけ遅くも三月中に實行される豫定で日下総介中である、出餐の時期 いてもの計畫に合する意識で 大変部に臨時會を開き、井上、池水の一年前十時より丸之内日本工業 名の産業調査隊を派遣する計画ので、電話のより希望者を乗り続いまり、本望者を乗り続いまける。

が保持の変描は像が際に使った。 を推へられたさも際へられてるるが作用の変描は像が経済されてる。 を推へられたさも際へられてるる。 関に際に乗じた刺鹿東に乗らんさする處 がた以て北逃中【長春電話】

事さなつた

錦西縣を

湖北省主席 数を見、死に館内地の中職工業者 るためその製産品の市場を満洲に

火曜會新年會

長の創立せる火曜倉新年會は十九

作俱樂部において

き(改訂版)

〇二·一 八〇·親 〇二·一 八〇·親

小倉部隊 近~歸還 一時より南前陸根の「満洲の管標 さその野楽」につき約五十分に重 さその野楽」につき約五十分に重 を逃ぶるごころあり整線の上二時

数】十四日午後四時 京常村武官に昨日戦政部次長戦争 が緩伸通過中共産軍 を訪れ、連続は、不行属さを謝し直 が緩伸通過中共産軍 を訪れ、連続は、不行属さを謝し直 のかれていま在権 した

裁りを得ること、なった 桃山御陵參拜 山岡關東長官 近日中に参謀總長より 地方官異動

一月號

度之助氏は赴低の途中十八日午後 東半後家時二分京都縣登來院東區 無子後家時二分京都縣登來院東區 無子後家時二分京都縣登來院東區 無子後家時二分京都縣登來院東區 「開後町檔案會館に於ける日滿經濟。」 保職さし之れに伴ふ地が官異動を 所せられた警視職大管警務部長を 所せられた警視職大管警務部長を 任長崎縣 新内務部長 さ記官補陰務部長 さ記官補陰務部長 と立

滿洲二進出 兎に角視察團に加入 洲調查除派遣 產業聯合會滿

發】全國產業團體職

作

赤死

が、常日はソレで設合と第三回委が、常日はソレで設合を発展に残り同様の数市立際工學校を登記して早本の表示に対する。 とて早部が學校に独り同校の教育となる前實地に就いて調査研究の上奏者と の一日歌編のの上奏者と

早苗校を参觀

は東鐵沼線南北南洲に在る的窓際人の行脈に多大の關網派の調査に東急とついあり我が監局も注意を忘られ、長衛 面の調査に専念 られつ、あつたが最近同政府の滿蒙に對す 込む る態度質

係者

以大阪に一准の確定

ででは、では、 では、では、 は、いまでは、 の問題に就き種な書葉中だが近く は身地たる湖北省政府治院に任命で される機様である 繋が開始したさ【泰天電話】 學良一派雀躍 日本軍全滅で

『天津十九日後』古賀戦隊の全滅 標尾水影等の戦後の最後を日本館 の常息に依り知り學良一派は電題 して整んだ、なほこれに味をもめ 影響に正規兵七千を關外に移動せ しむべく命令を發した、同時に學 でした。 では、なほこれに味をもめ でした。 では、なほこれに味をもめ でした。 では、なほこれに味をもめ でした。 では、なほこれに味をもめ でした。 でした。 でした。 でした。 でいた。 でい

更迭

では、 の結果取締役三非高禄男は選低しその後低に監査三非統厳氏監選、 を監査役後低に三非高公氏監選、 をに前軸戸支店長津田弘徳氏が跳、 をに前軸戸支店長津田弘徳氏監選、 をに前軸戸支店長津田弘徳氏が跳、

症の爲め醫師

首相紹

對安靜

一、市長は民國日報社長に訓誡し 戸継城市長と腰を折断の結果十八 子継城市長と腰を折断の結果十八 に関しては村井総領事は ではず中に関しては村井総領事は

產業團體聯合會

三井物產重役

関東歐三龍内粉局長が家本前長前 の幹表態出さ共に一態校生の窓を 執った由なるが、其後臘内越に市 民の中に此の選頭を贈む着點から か膨脹性化人さの縁があったが、 電東側さしては表館で等これに繋 なが、 氏の智伝連続を開始する細胞があ

共産軍の

南昌攻擊

三浦內務局長 の留任希望

秋白原北 會 小 百 首 釋評 ※ .35 0

夫詩歌詩 章 學 孃 令 都高線戰活生人婦 を表している。 をまたいる。 をもたいる。 をもたいる。 をもたいる。 を 获野 貞行 佐藤都代子 八〇・税 ち傍

島田 (製し北京総から安本総に行った時のだが、本さい難は兵隊も歌館かった。 また事性安全総の方が意味を取かった。 また事性安全総の方が意なかった。 はなくそのがは自撃隊で守った のだが、その中には六十位のお 着さんまで加はつてゐるのだ、

ピストル事代かり面白から

のナン

ンセンス物語りをやらうちそれで思ひ出したが藤井石

家の平和又は其の影響する一切の事

撃線入りをやった時は心配だつ

た、大砲の音を聞いたのもその だが秘倉大尉の戦死の時はんさ だが秘倉大尉の戦死の時はんさ

あの時

除さんがるてすぐに入れない。

幸校

學生團の間に、類りに行けと を表が、政府部内では、流石に これには賛成せず、宣戦を伴は 一前定ださいふのだ。こ



米る三十

銀行は一元五年二年一年の派通祭とは一元五年二年一年の派通祭とことなった、因に同じの得ることとなった。因に同じのは、一元五年二年一年の派通祭

今回は特に左記規定の

菅原總裁は

解任しまい

とここさなり後来の試べ 全く破つたもので、

が法の数を

員な一組さし女子及

東拓石川課長談

『京城特電十八日韓』十七日入城 の在川瀬舎駅長は譲る の在川瀬舎駅長は譲る

り各方配より

實戰講演會

の 會場に 歴史 は 雷日

大いに期待されて居る 地定は左の短くである を加着制限(今加入場料 参加者制限(今加入場料 参加者制限(今加入場料 を加着制限(今加入場料 を加着制限(今加入場料

一午前九時

料)十錢

山口 献も二枚の安全機のうち一枚は何時でもはづして居るので物域でしやうがなかつた。 まだ任期あるのさ社業の革新にては稲々なる飲がある様だがいては稲々なる飲がある様だがいては稲々なる飲がある様だがいては稲々なる飲がある様だがいては稲々なる飲がある様だがいては稲々なる飲がある様だがいたは稲々なるのである、總裁の進退については稲々なる飲がある様だがいまだ任期あるのさ社業の革新に

本社從軍記者座談會

護身用に

故障拳銃

しも困つたのは食物

たもので殊に驚人は馬賊を恐れ

白石 そのピストルは整日からた返しに來た時職丸を出して行ったんだがそれを返しに來た時職丸を出して引金を引いて見るさ壊れてぬて利金を引いて見るさ壊れてぬて利 文夫さ思つて総州までそのヒス 藤井 冗談ちやない、後から聞い一同 (哄笑)こいつは面白い て冷液さ 同(哄笑)こいつは面白い故障があつたんだれハハハ・ トルーつを戦みにしてゐたのだ

藤井 今から思ひ出せばふき出し 物かと探してあると恰度幣口に 野口に飛返す時の配け、除か乗り 管口に飛返す時の配け、除か乗り です、恰度田中鑑から夜八時頃 のです。

てるだ

たので、大の記者は一般ないで、大ので、大の記者は一般ない。

元級もわけてい

は交験状態を なるや山口石 で活動を始め

るた 純版者の遊尾の速かつたこ 他も走つた、足が縦い さ困って

た、殊に途中へッドライトが待 た、殊に途中へッドライトが待 た、殊に途中へッドライトが待 ルがあるから助手盛から銃口な 出遺はしてるれば

は突長について難山に行き他社 は突長について難山に行き他社 つたらうなア

悪魔なものだ か其處に強つて首を出すさとユーナラン環境の音がした、下を見る
・ 19や大螺ださ土場を轉がり下
・ 19や大螺ださ土場を轉がり下
・ 17選出した

腰井 あの時の神識者の値を恰好
・ 1世際誘起かつた「騰井井渉げ

山口 それからじまりつかず兵隊 さその聴し続にありつかず兵隊 できの聴し続にありつかず兵隊 つて喰ったなんて、 り支那人にその残骸を分けて費。

麻袋變らず

商

でしてガイド

電話って

城村さ先づ電信所に走つた、そ さ家からニ の前の家の入口に燃芋の筒があ 結局困つた話さいへば飯だ ーヤが出て來たから

るしさいふから彼れたなかな真 び勇んで二人に聞いて行つな うなくなってるた事が解って

スターの ・ は、大四〇(五、五二〇 ・ は、大四〇(五、五二〇 ・ は、大四〇(五、五二〇 ・ は、大四〇(五、五二〇 ・ は、大四〇(五、五二〇) ・ は、大四〇(五、五二〇) ・ は、大四〇(五、五二〇) 四九,00 八九〇一 九八五〇 7100







株式募集稀り
コリ五品株式市場一於テケ記ノ方法一依り
コリ五品株式市場一於テケ記ノ方法一依り
電抽籤事行可致候間御参減下サレ度候也
抽籤ノ方法 大連五品 十日本デ朝富テいろはノ順序ニ抽籤チ行フペシー設九本デ朝富テいろはノ順序ニ抽籤チ行フペシー設ノ内抽籤前級引キテ以テ七箇ノ記號ニ抽籤拾 九拾七本及るノ端近記號

リ時割半

一人 總 位

醫院

監の撃進のためならば別である す如き事は絶對にないが然し總 朝鮮に他在する限り總監を助か を放送するから知れないが私が



○番に統一するには、 ・ の番に統一するには、 ・ の要もあるかさも想象。 ・ の要もあるかさも想象。 はずが法さしてであり、從つてであり、從つてには、新設備のには、新設備のには、新設備の の際、たく問題、谷間経費でなってゐるのでなってゐるので

◆火事その他の非常通報に関す

生

電話番號は、東京などでは〇番

び復活することも出來る。一地したさころで將來陳算關係で再

方の事だから大局

がら我慢

れたくないさ大に切望してゐるから云つて政黨によって左右さ

葉梨新五郎 室田 寅雄

對外為替

奉天市政公所に

商工協進會組織

を 変に来た、ほく の物学が配局長

九九九 6億二 六二 京 京 ・ 京 三 九八 中 新 五 二 一 五 新 株

大豆低落

関東長官の更迭

(版內市)

眼孔甚小也 惜しむ可し

不贊成の意を表してゐたのに見 さいふ。 蔣氏が政権の中心に居 さいふ。 蔣氏が政権の中心に居 も、廣東派の孫、陳諸氏は深る し、廣東派の孫、陳諸氏は深る

い。支那で職交するミ云へば、政府の職交ミ否ミは問題ではな

部の不心得が世を暗くする

きは微

宇垣總督の歸任談新らしい「汗ミ智惠」の時代へ

足の結果さ

本の立場は甚だ自由になるわけで、何等の痛痒を感じないのみで、何等の痛痒を感じないのみが、際方利益を受ける。只、交がの相手が無くなるので、それだけ問題の解決が選延されるの

(=)

社

說

對日斷交論 南京政府内の

外に置いての議論ならそれでより地から、画際聯盟の問題を度

商工業の發展策討議 六弗四分三に

報機して之を市政公所内に認識會を紹の事項を財諭し或は繁善を院去しその他を財諭し或は繁善を院去しその他を財諭し或は繁善を院去しその他を財諭し或は繁善を院去しその他を財諭して之を市政公所内に認識會をめて同新たに慰天市商工協進會を

が就任の筈である【奉天電話】 るこさとなったが會長には超市長

商民本位の

銀行設立

を下市政公所を表表の

ばその在低中よかれ悪しかれいる
(一世間の注目を恋いた▲頭方面には壁がられ或方面には思歌され
また或方面には悪まれた▲頭方面
には壁がられ或方面には思歌され
また或方面には悪まれた▲壁楽観
を相当す、さまではいはないが風
を相当す、さまではいばないが風
を相当す、さまではいばないが風 ◆定期後場(級处)
◆定期後場(級处)
◆大 京(低落)單位厘
展 月 寄付 高值 安値 大引
一月末 至20 至30 至10 至10
二月末 至20 至30 至10 至30
三月末 至30 至30 至30 至30
三月末 至30 至30 至30 至30
三月末 至40 百百六十一車
上下本

資金募集の

大會

▲會員參配布所 滿級學務課時育 傑內滿洲體育團體聯盟、連鎖街 體育堂運動具店、伊勢町山本連 動具店 Wの區別ならンI組) Wの區別ならンI組) 州人の取象に愛る人物だ▲それだけにこの人、決して凡能なの官吏 ではない、芸就も頗る明らかである▲いづれ次の機會には何處かの 繋が事に邀出問途ひなかるべく そこでまたいろ~の問題に遭遇

大連民政署、同市役所、在滿時局 後援會、乃木會では共同地艦の監 に二十二日午後六時から滿鏡協和 に二十二日午後六時から滿鏡協和 中佐の實戦談流會を催すが市長多 できてまたいろ 〈の問題に遭遇 中中谷氏去らんさするに離み、氏 中つその前途の變遷を織つて巳ま ない 本著しそれ三瀧肉務局長に黙 しては何れ正式決定に際し、頭に 製がすまねのが日本政界の實情ださ見える▲いづれ髪園一致内際できまる「選ばもめて一役割込まう鬼際できあらば更におかる▲「延着のなどあらば更におかる▲「延着のなどのは、

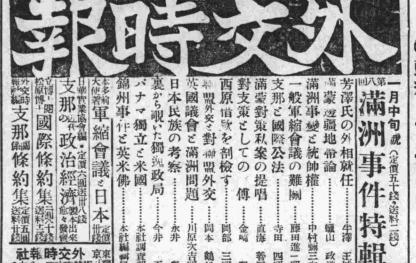


本社調實部

市公報を添ふ







藤田進一郎

の頭痛しノ ーシン〇

100 接替來京三〇八五香

研 信學部社 一見町五丁二人市麹町二

富東士京 目區

任技師(六等)
任技師(六等)
「田東川州兼看守長 田原伊三治 開東廳醉令【東京十九日

し度いさ思ひます (関東殿連信 を度いさ思ひます (関東殿連信 を度いさ思ひます (関東殿連信 を度いさ思ひます (関東殿連信

は二三十錢高新豆は保合であつた「電市の東新は三十錢安下ら五品」 内地ボンヤ 五品强保合

沈子など

神戸特産

研究社

重大な使命

手を握りあひませら

沙河口霞婦人會

春

を

迎

^

て (10)

る時にも、その地位や身分――

すから、壁に同性さして一しよ

人に置しい人たちの生活に充分

ド人も、年寄も花い人も──そ 市中幾千の婦人──身分の高い 人も似い人も、富んだ人も貸し 大分おありのやうですが、大連

得ら云への芳香が充滿しますから

い中以下の生活者には一種の反な理解のあらうぎもなく、貧し

感から有能有限階級の夫人たち をはいかるやうになるのも

総縁とリードして行く方々の御

れんくちがつた境遇にある人た

的な観念に支配され場いもので

▼マ…龍崎人會は工場長の奥滋を 野に頂いてゐますが、棚館更優 が昨年からすつき御機無で今座 が昨年からすつき御機無で今座 が昨年からすっき御機無で今座

戦に私一個の者へさしても開始 戦略人會の代表さしてではなく

れた是談しなければならねこされた是談しているのが如何にます、「は私人會のを致然に思ひます、「は私人會のでます」にないものであるかを痛せまりにくいものであるかを痛いた。

露情にいへば氐那機の扉書さい

て「仕ながない」さ匙を投げての勢ひかもしれません、さいつ

の力ある際際運動は絶望でござしまつては何時になっても婦人

大きな高い使命のために手を探しててべてのこだはりを捨て、

圃

佳

沭唬

006 XXV 006 508

進調

名物も存か本舗

みふと屋

6085 22660

會員の放々も様互によき理解をい、どうか戦部のだにも一般の 苦心も蛇大狐ではございますま

の者がお留守の間の代理を明

マーといふやうな批評は指々き

しさいふやうない

無様のもつくりしないのが常で

うなものに先づ四はれて

大連婦人際艦職合會の現狀

を抱いてゐるだも

海中 学河

viv

7

九

オウチアサア

ンラ

ケオウ トウ

ニラタイ

トカ

1

報

のに満たされおだ見の場ちゃん、いまにさりましてもこの上ない影響しないながあるない。 さう、一がこれらの母童を教育とこ人學の日を待ちわびてるる事

ん方を想像しますさたまら 能感への第一歩が終み出されるの のです、交別が忌憚なくお観下すったことによって被動に翻して欲らい のです、交別が忌憚なくお観下す

う幾つれたら學校にあがれる…… いっては大人の考へも及ばない

感謝は大きな希望で読書に満ちて踏み出さうさされてゐるに驚り御

際定されたり一ケ月の成綴が比較の成綴を見て内の坂やは駄目ださ 或る父兄は入學管砂一ケ月

■ いものを報せますさそこだけが白。 ・ でいるのを報せますさそこだけが白。 ・ でいるのを報せますさそこだけが白。 ・ でいるのを報せますさそこだけが白。 ・ でいるのをでいるの部分につよる。 ・ でいるのでなったもので娘のなく

みに入れて

上から熱湯を注ぎ暫く

しまひますが、これを養碗か湯谷のよい捨てい

のです

先づニッコリ窓つていたいきたい

のではありません、

で、 所の空氣は大きな力のあるものです、 温和なお母さんに纏する原産 は極端に申しますさ離までがお母 さんに経く似て行くのです、家庭 口で言はなくさも教育の場

すってごらんなさい

を摩擦しますこ元の様に鋭物なみ、 一枚敷いてその上で十五六回刃焼をを摩擦しますこ元の様に鋭物なり

を を とないのです を とないのです つこさ、なんでこんな字を書

たいでも郷地にされて元通りにないます、たいものでも郷地にされて元通りにないないというシネルは他へ ▼…安全難りの母が切れなくな た職態に御飯がこげついたり、 たになつて又役に立ちます。 たになって又役に立ちます。

の底が黄色くなった。 勝山洋行

沙口(4.5)

ひますと庭に傷がついたり穴があいたりとます、脛の敷を縦し枕の中うに疏いてそれを菓子につけてごらんなさい、樂々と器もいためずにきれいになりますから。
▼…魚の鱗をさるさき大概の瞳で見のがりら鱗をさるさき大概の瞳であるとにのせた態をその大概の瞳がから鱗をおきすやうに瞳がついたり穴があ ▼…残財人が來ていやな臭が屋 のがへ擽って行きますさざんなに

大連各女學校の 入學期日と選拔方法

(可認物便郵種三第)

家

の大連市内各小學校

が が入學主編受俗をやるここになった上 つた上

學語のすることになってるます、順に資格者(部大卒製以上)を入

を申さ見れば甲に見られるのでた 等に就いて見ますさその見方に燃 等に就いて見ますさその見方に燃 等に就いて見ますさその見方に燃

原立でなくては出来ない重心の表 原立でなくては出来ない重心の表 大いに取ります、よく原立を大 上大いに取ります、よく原立を大 大の理様に近づけ機ごされる候ば がありますがこれなご間違つてる なす、好理師にも同様できれる候ば 大の理様に近づけ機ごされる候ば なが高り発電がこれなご間違つてる なが高り発電がになど間違ってる なが高いながこれなど間違ってる なが高いながこれなど間違ってる ながありますがこれなど間違ってる ながありますがこれなど間違ってる ながありますがこれなど間違ってる ながありますがこれなど間違ってる ながありますがこれなど間違ってる ながありますがこれなど間違ってる ながありますがこれなど間違ってる ながありますがこれなど間違ってる ながありますがこれなど間違ってる

强生町髙等 でなり、

= 月

文兄のために次の機な参考になるお話をして下さいました 家庭は焼鯰、墨智の獣程にあるその他の卵童だち及び彼等の 校一年態態の佐賀田乙吉先生は今年入學する學齢児童を持つ 校一年態態の佐賀田乙吉先生は今年入學する學齢児童を持つ で、一年態態の佐賀田乙吉先生は今年入學する學齢児童を持つ で、一年態態の佐賀田乙吉先生は今年入學する學齢児童を持つ

●・・新入學児童をお持ちになる

上に於ける過程は喜びに満ちてるというという。途に明るい大きな希望が様たはつ

は要らわ」を復習を感らせる家庭中には「ナーニ三年位までは復智 もありますがこれ等は腰つた者へ

事は入母常被より是非必要です、

しいのです、うんさ��ってざんな のでは、こってもそれは教育上の ではは発きないものです、恐怖の ではは発きないものです、恐怖の

で存じです?

取り難い鱗はがし等々……の若返り・鍋釜のオコゲ落しからの若返り・鍋釜のオコゲ落しから

えたが學校生活の第一歩

年 七

兄

皆

樣

(上)

學當初か

ら是非

時間を守り勉强させる

兒童の仕事には尊敬を持つ事

競なのです

事が最も大明な問題で表

と問題はプロセスの變化に留意す

●…次には緑の向くま、に今日

、 いのうちに教育するな心臓けて御

う教育は終りなのです、

に意敬を持つて覧ひたいき思ふ

和

職高女は谷百九十名宛察集してるますが撃集、選携が送は昨年さ同ますが撃場、選携が送は昨年さ同 **養表は二月二十二、三日頃になる事になってゐますが第一志望者の** 學校の入學許可發表後に決定するになって居り、第二志望者は各女 四割の入學を許可

筆答試問、身體檢查、

を延ばすために申込

上で二年に総入させるここになっ

價定

一一四五十五段四段

四圓五十錢

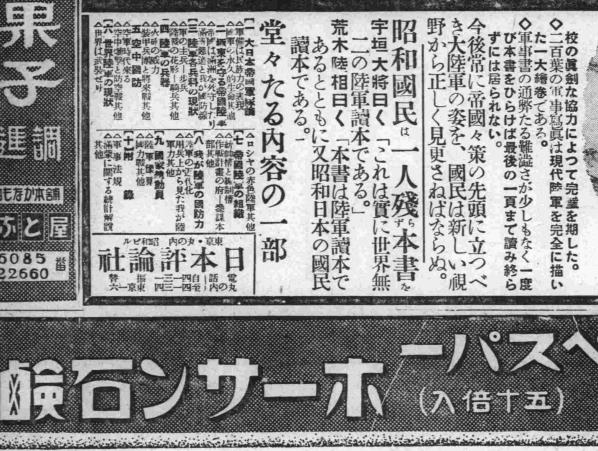
晋 類 大 列四〇〇頁 增入寫眞一二〇萬 新十四回 第一回

全陸軍協力の下に苦心一年の大作世界に類のない 陸軍 讀本は出た 陸軍の任務は今後愈々重大である。今中
 民は一人殘らず『陸軍』を知らねばならぬ
 時が來た。
 本書は眞の國民的大讀本として、陸軍に關
 本書は真の國民的大讀本として、陸軍に關
 本書は真の國民的大讀本として、陸軍に關
 本書の保證し絕讃するところである。
 令記事の精確、內容の豊富は軍事研究家として
 で記事の精確、內容の豊富は軍事研究家として

からいましていた。まれていると

見発生先治憲汪塘 士博学医 7 神經痛、助 幾多の報告山積す薬物さして未だ観ざる驚異的特別をいまり、自時に鎮痛解熱の作用を感じる驚異的特別をいまり、自時に鎮痛解熱の作用を感じが故に貼用える数分にして熱分良勢と質問がある。 腫物、 て各層師の賞用を受く 肋膜炎、 ロイマ 0 腹膜炎、 チス、 乳腫炎、 腰痛 盲膓炎

店支社會樂會本日 地凿七四一町速浪連大



讃本である。こ

々たる内容の

お 五サ •" 心 倍 11 也 IJ 保

0



野から正しく見更さねばならぬ。
き大陸軍の姿を、國民は新しい視





英國 ギーブース 會社 英國 ギーブース 會社

舶來化粧品專門









突いて小さく實つた程の温かさで今冬の温かさは歌争があったか ある、古老の話によるさ日露戦争のあった歳は十二月に梨の佐が ある、古老の話によるさ日露戦争のあった歳は十二月に梨の佐が

商店も開く

。長。春。

の。雪。

は影話しの様木に敬そのま、で館に比較であった、長春観測所で長春】十八日の鱧は見渡す飕りの鑑け紫珠に戯上に破った短歌に数としている。 と しい 銀一上界

鞍山に歸る

財役に向った は同日午後二時同地な出後こ之が

味岡中隊

電車 大き 十七二年後一時代第通歌 たまりの指述する歩峰兵 を取るため総元大鳥の指述する歩峰兵 を取る ない はい これ という はい これ はい はい これ はい

成中である。

一千の兵匪

步砲兵出動

電源では、 の呼吸が突然や廃山西が高山子附 の呼吸が突然や廃山西が高山子附 が際より歩兵線一個中隊を同地に がでしまります。

討伐に急行

遼陽海城一

帯の

匪賊を

日打虎山より暗索せる心本照維氏線派遣良の活動振りについて十八線派遣良の活動振りについて十八

行動を監視するさ共に極力響成中民は極度に恐れ各機關は暗順兵の 楊家溝に兵匪

を興へ一名な建施引揚た を興へ一名な建施引揚た

同胞宅を掠奪

に強等するやうになった

十七日午後三時頃胡原縣下丁家高棚居住農民李某は大見を馬車高棚居住農民李某は大見を馬車高機等され荷馬 大豆さ に拉に襲撃され荷馬 大豆さ に拉

撫順に辻强盗

聯滿

ため充分の標業を乗べて焼後せして焼きる 強いできないになった。 は は 一部 店 休

馬賊歸順申出

高棚な襲撃し民家二十一戸に放 火全機せしめたるが火災は開原 駅下大歌岐西が二十五交里法庫駅 駅下大歌岐西が二十五交里法庫駅 の三 馬家識には試目飛龍全勝戦合の三 大会機せしめたるが火災は開原

酸諸補屠墓社公醫衛圖教主會 備支助場火事園備生育未議 費出費優募業費費費費費

本が、日本の東北が整盤を担る を動したが全元機に早来である。 を動したが全元機に早までは、一大人になが全元が、日本では、一大五中満方面へ がには十七日を八名組の戦為が職 がには十七日を八名組の戦為が職 がには十七日を八名組の戦為が職 でには十七日を八名組の戦為が職 でには十七日を八名組の戦為が職 では、中七日を八名組の戦為が職 では、中七日を八名組の戦為が職 では、中七日を八名組の戦為が職 公安隊出動

おせ五日より三日間なる廿五日より三日間なった。

五日より三日

花

ンパ亞西露

會を開催し 一、避難長 一、避難長

濱本聯隊の匪賊討伐

石山子に兵匪

鮮人聯合會規則一部改定後朝鮮人の滿洲移住に後朝鮮人の滿洲移住

佐藤醫院

滿洲一手發寶元 國 光 <u>公</u>

九〇六

徽

造

胜

病 物香淋疾

對朝

鮮人事業

淡 皮

尿器

強精血

参精腦

.fn

純皮無比の

費増加か

生殖器障碍

开上醫院

70

十日分 五 圆 三个月分 十二個 二十日分 二 圆 三个月分 十二個 二十二分 三通牛 二十二分 三通牛 二十二分 三通牛 三流 美血症

16

際店にあり

滿洲代理店 日本寶樂株式會址

電師五二六〇番

軍

『護籍』開原城内野緑酸は西部方 版するなめ戦隊長見ら部下二百名 を撃る十六日駅城出費原製製力機 大型中であるが相當の頻繁な関する を撃る十六日駅城出費原製製力機

職家具なごを強い変更されいよう。 学化品が心理器と学光如を熱器が 学化品が心理器と学光如を熱器が のでは、一七日夜兵に襲来と学光如 各地の 匪賊

の一臓経により安東が六十支里の東 一中である急戦により安東光倫脈よ 中である急戦により安東光倫脈よ 中である急戦により安東光倫脈は 中である急戦により 『季天』十七日午後五時城七道海 が河線へ襲終せんさの歌巌を立て が河線へ襲終せんさの歌巌を立て で てゐる意報により自下警戒中 / 人でしの販売のり宮原縣を製験せんさしの支那部窓に長続所持する六十名

撫順七年度公費

三十五萬千百圓

助総員では充分なる目

地委會原案を可決

林

病

天産館民會に命じたので

十七日午前一時戦高麗門職東が一 地の支票部落に五十名の戦闘が来 地の支票部落に五十名の戦闘が来

地下にみる神秘 珍しい鐘乳洞を發見

國

・ はれ人質七名な拡起したさ はれ人質七名な拡起したさ

ガラス●金物●漆器類

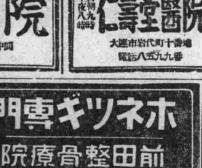
課補諸手 給收收 金金入料

そうです珍ららい美しい煙で、十七日朝奥安嶺に極めて稀薄なるですると、雪の形が粉末の様に小さいのは温度が低下すなもつて東方へ向ひハルピン一帶から以南は雪になつが漸次回れが午後六時頃更に南東に移動さた、然と再び七百五十八ミリたもつて東方へ向ひハルピン一帶から以南は雪になつが漸次回れが千年の大きである。雪の形が粉末の様に小さいのは温度が低下すかとつたが千年のは温度が低います。

之一六、九八九 二一六、五三六 九九四七五 九九四八六

出した はって 七名がレコー 總裁 廿日十三時着安 题 無等課長 十八日帰 た谷原病兵さもその厚。 てゐたさ 線往來

大連遊遊·常設橋·西廣場中間 配話七五二八番



三九通西連大

街五七五八電

株子硝洲満南

を 対きの品によって代表 ・デをかけるやら遊戯

お話セハ六七 江庄場馬

傷病

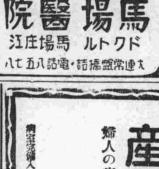
校同窓會

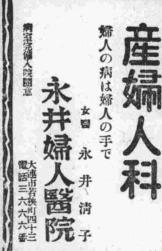
瞬中である

齊生醫院

兵の旨命じたので民









各學校倒指定 衙 御 用 旅順市乃 いさ下較比詢な段値で物品 中町 Щ 洋 服

町葉青市順旅 商野

吉

店商の等吾

外の服洋紗羅

を寄立御度一たしまめ始を

口 ス

一

大連市山吹町10六 株 農 置 大 連 林農園 山羊 牧

に何よりの榮養料 配第四 每報 達日次

山羊の乳

松

話

四三〇

話三三二二

海產物問屋 陸海軍御用達

O 旅 順 商 店

御婚禮其他歡送迎御宴會上以是非罪意 萬般の設備整び殊に舞楽装置品取揃て御座い如何様にも御相談申上ます 8

進物用批話調製 木 村 電屋 電話 二十新

シュー

クリ

話三

二九

別製ベビーシュークリ

11

ラ 電話

吉成製版的

自動機械吹製・時代は去れり 蜂蜜用瓶各種 ツクダニ、

ジャム、

順 數

= 0

五番

は此の多端のド柄 線各地の は此の多端のド柄 線各地の は此の多端のド柄 線各地の で変に至らずれ

質

.

1.0

•

度影量

漢第

1

7行洋形山口

•

長春小學校休校

流感各地に猛威を振ふ

はでく十四日以来四日間の臨時体でを賦行と十八日の出席率は依然さして香とからず健勝百二十五名に塗して香とからず健勝百二十五名に塗

(四)

苦力より酷

匪賊や寒氣と闘ふ

大石橋支局長 美座 大石橋 販 賣店

報

社

東東 亞 亞

敦化版竇

店

き械力

東張等甘栗

質

理化學用器 版費 順量製圖器 修理 修理

大連市恵比須町区十八番地

電話大連六九日番

天津産地直輸入

新

眞に日本人でなくては見れぬ

奉山沿線の満鐵社員

合會 性病 軟性下疳





监部通二三 電六二二〇苗 分院川崴子平和街 電六〇八六巻

かぜ、セキの外に関係する セキの P り薬 部とい数数はは

亨

振替口座大返三八五四番

町

初。 春のお美しいお姿へ この一滴!!

お布璽用 西川かとん店 電長三七六の

畨

是非入らつしやいませ 各國珍酒・奇酒の大寳庫獵奇的なモンテ・カルロ ダ そこにはフアル 女がお待ちして居ます ムと女房 撰定大 バラの

Modern 1932 車 Wheeler Drive by your B.S.A. Three. 經 濟 税額僅か な 自 A 一、六〇銭川 車 一人乗ノ二種 和洋行

吉林戸外デー

安東戸外デー

吉

林

よいがさ心配されてゐる

一般に貸下を重砲隊の馬を

5 を

・ 関する。 内複智の為め管理官に提出せも 力

日案内

は借受への負擔さすの問題等に要する一切の費用の馬糧等に要する一切の費用

电話六八四一番

型二通引物 電話二選關越運 音響解代荷運 店 店

でする事を得す之叉な蕃殖の用しても明寛叉は増保に

監設督計 横井 TI 中 中 中 建築事務所 草橫 野井 美謙五五九番

ビーシュ クリ **『大二五一** 8 申上版を

增田貨物自動車運送部 電話七三七〇番

宴會、すき燒、和食等は

日本間を御利用下さい

3,

乗び 三十球 参回五拾送 乗び 六十球 参回五拾送 サ四四九七番 (株) 東 同

底革

毛皮額阿加洋 電話五五八二番 下 本 部

3

E

ヤナギャ

定價 4.00 特大瓶 2.00 中 1.00 小瓶 0.50 螺形板 1.20 電電形 0.60 舖本

◆実質と変数には悪事 と変数は を変数には を変数に は を変数に は を のんで下さい

得利格諾賓 かん お 変

Torigonobin 形格諾

御家 庭 向の 甘

電話四六四八 山縣通 岩口、辛 口「小 樽 漬」

龍人會館

れ切つてゐた舌に置気もあれず、

JE,

脚是

アトニーとなり、胃

に と奏がしたものと思されます。 此の事に殺見者。帝大名響 象長 間の事に殺見者。帝大名響 象長 高行真博士の寓志に基言、聚養と 常元の會から二十五日分一円六十を 大八十三日分五円といる豊温の 然れ製者には企て及ばざる破私の 歴史で一般に取れされて居ります。

惱み拔いた鮫肌が

9

冷性や月經不順も忘れる永年の胃病と同時に癒り

はなったのように 山森り一杯、美味しく頂けるやう になったのみならず、食後ちつと も不快な症状を思じなくなりまし ないました。 を不快な症状を思じなくなりました。 ないました。 を不快な症状を思じなくなりました。 ないました。 ないました。 をできる。

を用ひた處門無病かよくなつた許 を用ひた處門無病がよくなつた許 を書書がありますが、之は肌に直 な事書がありますが、之は肌に直 な事書がありますが、之は肌に直

は

◇…頭 もはつきりして夜も

本学 人病や鏡眼、冷さん等 一条まつたよめに自然を いまったよめに自然を かまったよめに自然を

大原美代子

AR AM (圏盤)・ガンマ募順

脛攣を起し

自然冷え性にも効果がある。

冷え性の婦人方へ

この方法をおすゝめします

むくみ等の諸病はかうして防ぎます命取の子癇や、感冒、腎臓炎、つはり 腎臟炎、

つは

は、 はれてあますが之は根 はのある事で、歌物の臓物には日 光浴によつて得られるヴイタ・ 上を(酸上心要な楽・書家は此の他に して(酸上心要な楽・書家は此の他に しなく トラスが近代薬物界の至戦、へところが近代薬物界の至戦、へところが近代薬物界の至戦、へには、各種ウイタミントが高い、関節、蛋白・質、寒、カ 薬物界の至實

冬

阴

腹壓の増進

花 向 御進物に御茶菓子用に是非共 0 新 屋自慢 西廣場 最 0 中 共

毛糸、 缺くべからざる必需品なり、糸、毛織物、絹物の洗濯に ルセル石輪同質の優良品にして使用至つて軽便効果極めて絶大ない 絹物の洗濯に

For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGC9TD

ます。それで治療は、その病原を発表のもの、監証を設定して一方、令え付ればなりませんが、皮膚の抵抗力が襲いのも合え性の一限因ですから努めて日光浴を行ふのも有効です。 物が冷え性にいると調

電話三四五七・二三五 出 皆様の御宴 來 紀行的六十 王爷国ツ

供加中込次第型録進 用 案外線獲得時代 B 光浴 電無は利用 第 十一圓五十銭 (大連賣價 片會拉채屎萬怅谎南 電話回0九0•支店奉天長春安東一鞍山

登でも 室内で自由に 大型スタンド球付 吊 下 用球付 信 夜でも

調味 に立ち



宮內省御用達 味の素本舗 鈴 木 商

店

て、確朧に比べるさー制線の騰貴

分もそれらへ行くカー。 地までの金銭を受取りそれで助水 ・ 乗車し沙沙口、脚水子間にかける ・ 乗車し沙沙口、脚水子間にかける ・ 乗車し沙沙口、脚水子間にかける

こてゆることを知ると云ふのであって自分が乗車銀以上の乗り越しをでいることを知ると云ふのであっている。

と大概一挺につき一関二

警然値上げきなつて来たが、現在 洲にあほいである關係上銀團像で 大連で販賣されてゐる龜川萬につ

響油はその原料を主に満

剛石山

へ進撃す

公安、自警聯合隊を撃破し

に二性に上つてゐるがそれは何れ も無智な交那人を相手にしたもの で犯人は大連縣に製まる女那人版 客中より遠版びの者を物色して親 で話がけその行く焼を動れて自 分もそれらへ行くから一處に乗車 分もそれらへ行くから一處に乗車

我軍警は附屬地警備

(七)

草は(観像の日々の動き

五瀬の有力な酸選者素が健康の結果な速化を楽してゐなが、現在大連では急騰が、地位と、離れ速化を楽してゐない、低と、離れ速化を楽してゐない、低と、離れ

七国さなり

できに市自十四の小學校は既報の機的権病患者概要の傾向にあるの

時 整安室線のではて を 中佐附添ひのもとに 十二 日十三 中佐附添ひのもとに 十二 日十三

選軍に下賜の武線四十程は後限。皇后、皇太后兩陸下より滿洲派

昨年十月頃に比較するこ緑一園五の歳では谷種類を通じて一俵につきた。

如

H

は銀の關係から上版を総由した単一物の正枕に襲つてゐる

しかし國産品は一

お臺所を預る

マダム連る悲鳴

泥棒除けの錠前類までが

に蔓延し殊に小學が薫問に猖獗を大連市内の流行性感冒は加速度的

御下賜の眞綿

一十二日奉天着

約三割方の値上りだ

沙州

たが三風から三圓二十錢へ、ウイスキーのジョニーウオカ

一要時期になって新し

t

時代

討伐困難な

情ない、戦に膨戦さぶつても 特ない、戦に膨戦さぶつても かが人動を以て立つの

製鋼所問題の 全滿大會順序

た響地線を張つてゐる位だから

百個の見込み

加京京寫眞學校 於羅物祭

匪鄉潜入記·

彼等の警戒振り

部落民を手先に使用

佐內泗外生

情來郵祭二、旅附 東京市小石川區茗荷谷町三二 規則及志 顯表 東京市小石川區茗荷谷町三二

昭和製鋼所全滿大會は既報の通り

拓學豫科爾

討職期日間

自一只是

宣募學品 集生 日

我慢しい脳根が一

9

電質銀を下げる物質膨慢時代を迎へる御能観さた、金輪架後貼いた市中の主な物質を をしい関うを見、なほ悪態の無勢だ、滅像の受難時代を経た給料生活者は弦に再び覧 変しい関うを見、内地配も原料の騰貴からそれと(一割灰至五分の騰貴だ、今一番動 かないものは鎔峨姫め緑物だが、しかし一般に物質騰貴は合日の趣味で、大連融資源 かないものは鎔峨姫め緑物だが、しかし一般に物質騰貴は今日の趣味で、大連融資源 かないものは鎔峨姫の緑物だが、しかし一般に物質騰貴は今日の趣味で、大連融資源 かないものは鎔峨姫とで、為替欄架で圏札一枚が今は七十四、五銭の便抗に下つたのだ が関連される近郊 を見、内地配も原料の騰貴からそれと(一割灰至五分の騰貴だ、今一番動 がない。のおいを一割の を見、内地配も原料の騰貴からそれと(一割灰至五分の騰貴だ、今一番動 がない。のおい至一割四 を記述を下げる物質を関連した。エボックさもて我國の器物質は低溶の底から微然尾騰 0) 物價調

大で地方良民を脅かし

おかれた時は良いないではなった。

に懐な場合匪賊も絶ちの手引等

でなほ演説會に出演総士は左の通

・ リ決定した ・ 小川順之助、石本鐵太郎、大内 ・ 一成美、恩田熊壽郎、熊谷直治、 ・ 一成美、恩田熊壽郎、熊谷直治、 ・ 一成美、恩田熊壽郎、熊谷直治、 ・ 一成美、恩田熊壽郎、熊谷直治、 ・ 一成美、恩田熊壽郎、熊谷直治、 ・ 一成美、恩田・・ 一覧名

東京灣汽船

お洒落彼女氏や 大連市中

か六十銭より九十銭、ほかの物 六銭へ、舵楽ポックス七十銭が八ト七十銭が現在一圏、コテイコンド おだ現はれてゐない、佛とポックの出ては他継説がコテイ製説が 今はストックがあるので製説には 要時期になって新しく仕入の六十段より九十段、ほかの物 洋酒黨痛手 煙草プカノ 服屋さんに金輸禁景氣 一吹いてはをれぬ

洋品頭は今仕入りでない 三割乃至四割騰貴の見は現はれないが春物か 寫真機はパテーペピー撮影機四號を を を いっという から 一割位は上るだらう 値上りをみてゐるから靴

風から

万位の騰貴は客小賣店で

咸胃猖獗心

大連兩中學臨休

他などおだ値上をみてない、軽物にはことも三洋服屋さんのの作ださはことも三洋服屋さんの と 単版線は 経 へてゐない、佛心察物からは一部 なるが現在洋服は解為は二部五分前後上つて 深限は一部五分前後上つて 三割五分位までは騰貴の 今冬物の洋服の注文の弱 扱っても 、ンに痛切な影響のある

ルナックでは、 大連の容融を上げらて野難してあるので、大生一割が値上りさなつてあるが、 大生一割が値上りまなつてあるが、 大生 一割が値上りまなつてあるが、 さ、それからは三割以上の値上の回月頃まで現在の偽替根場が行 在庫品が無くなる眠つま はなつてゐない。他し

第一、第二瞬中學校は明合せの上二十日より二十三日まで向ふ四日間臨時体校を賦代する事になつた間臨時体校を賦代する事になつた

生命に危害を加へないから部落民ない限り土地の者に難しては絶野

局寫眞展

も下船な開始したので含む側に向して船が船員の結束窓はで十九 出帆したが船員の結束窓はで十九 は船員組合派を反組合派間の抗争 により組合派の激昂をかび発素さ により組合派の激昂をかび発素さ でより組合派の激昂をかび発素さ なったものである

討伐軍を不利に陷らしめる

備を整へてる

| 「新書画井真ゑがく」
| 「新書画井真ゑがく」

南關領に 一人組强盜

元でに至ったので學校管局でも助ったが、その後中學生間にも総称するに流行も出し権機のため観解するに流行も出し権機のため観解するとはでに全生世級の一類以上を 二人紀支那強盗現はれ支那民家三一人紀支那強銃地に支那が所持の不民客子に聯銃地に支那が所持の

二十日から四日間

野、土田農園等を駿び始め金州署の者だが戸口を調べるこ稱して門を開からめ家族を縛し上げ小洋二を開からめ家族を縛し上げ小洋二 十九日監地管務局を通報あつたれたが機関は沈渡してしまつたされたが機関は沈渡してしまつたさ

はないかさ

愛國號の

周水迄の切符で 乘車料金を詐欺 大連驛に新手の詐欺 謝恩飛行

旅大

は二十一日

てからも既と認め殿『悲博に努めてゐる 総無和鬼はその後繋動に起いたが 天電話 全礁とた成富性総所な関東州陸織 その鎌定は追つ 興和丸沈沒 連、周小子を

欺が頻繁し本年に入ってからし

天津警備の のて養美ある管。 を州、腹原、大 に、金州、腹原、大 になった。 はなった。

千二百圓を献 河村大佐も感激の涙 は東北路径地形の飢饉地致無致に は東北路径地形の飢饉地致無致に 交通事故減る 小崗子管内の

性から聴慨後を送られた、若等兵が職員市佛教婦人會の一等兵が職員市佛教婦人會の一

本は 1-2 では 1-2

はいだのやうな名前なので上等をしい花のやうな名前なので上等をしい花のやうな名前なので上等を下で出かけて国族を送ったものだ。するされが今まで出かけて国族を送った出って出来戦争をで達者で生き水らで達者で生き水らで、まで出かけて国族を送ったことがありままで出かけて国族を接って出来をいる。

界各國

東京風菓子謹製

東京の部においては宝る四日敷織 東大に勝りたる敷語の探護式を十九二年前十一時半より郷天高安校 カニ午前十一時半より郷天高安校 勅語捧讀式

旅順で3開催 (廿一日)千歳俱樂部(廿二日)乃木町夜學校にて (廿二日)乃木町夜學校にて 興 文 會 滿洲日報社旅順支社 電では馬水子飛行場まで出班へ人に着陸の撃定であるが、この日浦に着陸の撃定であるが、この日浦 のバス運轉愛國號出迎 のさして州内、州外中等校生のみ数百會が譲り受け一層充質したも 龍布すべく鎌約募集中であるが

适即

のため午前十一時より三十分置き 連転を行ふこさになつた、片道二 に常整院。 悶水子飛行場間のバス に常整院。 悶水子飛行場間のバス 乳不足の幼兒に

博士尾形一郎

6

日本各地名産

第一次 キングオフキング キングオフキング カ版ウイスキー シェムスマンロー ジェムスマンロー

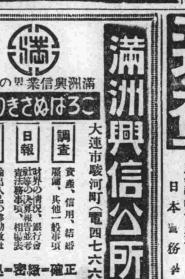
一 六機二、四半、二巻 姓名在社 「漢連町三丁目裏通カフェー、待合 「漢連町三丁目裏通カフェー、待合













養經場主旨直接御家庭へ

を発子店 大連 連 額 新 ダ イ マ ル で あ り 電ニニの九番 ダ イ マ ル で あ り 電ニニの九番 ダ イ マ ル

の頭痛ニノーシン

會

源問題大演說 二十日午後六時

所時

神田 人御見舞 本日出への際は早速御 海を辱ふし難有御陰大事に至らず相濟み候段誠に仕合致候就には一致に対し、一部 止まり以親計候に付不取取以紙上御禮申上候やも

主催全流 八田演者 小川順之助君、石本嶺太郎君、思田熊懿邱君、篠崎 嘉邱君、 共他沿線有志士 主 催全 **酒類**.食 クの利便お常榜 ーキスイウトッケボ マランデースト スパーミンデーシーデーンデー 得利寺木幡養鯉場出張所 大連市駿河町(電四七六六) 統計・輸出人品の移動数量 珍 屋電話大四七〇巻 物 殺 到 00

て在南副殿像世の鮮め館に観射版 に到り、藍時同地附近に蟠虎するとして護論しその後浦洲に止まつ 援助してぬたが十二月中領脈似城を受風者がある――京都府郷鉱町 事性が朝養した時には間島地方にる愛風者がある――京都府郷鉱町 事性が朝養した時には間島地方にる愛風者がある――京都府郷鉱町 事性が朝養した時には間島地方に 單身敵地に潜入 我軍に助力 途に發見されて戦死した 殊勳の杉本定吉氏

頭目徐文海の

三泰油房火事

世話ななな古大番

グロリヤラヂオ 八 五球球 約 女集 大量入荷

超モダンタイプ 交流ラヂオ

日下では のの十四五四 にて 面十七四五四

直ぐハガキで御申込あれ

重記式/二六八・振客大阪五七九九大阪 堂島 中二丁目三十二天阪 堂島 中二丁目三十二天東京市芝區 神谷 町十八

新新

療療

法

研

イキ町三九 電話 六八三四

内容…性的新知練解放導域、木器の詳細説明 「非智思」 入説明書 「非智思」 入説明書

●包 本 は特許包華安全自機器で切らずに

て怖るべき事気ではない。だがは決して路嫌にはならない。節

3小が強大となり 野性の資格を完成した。 一生の空職と成事の當めの正月となるのである。 中が支援付く前に、先づ自分の身態が更楽りいて、世の 要り合と勧誘心が起り、人生が明るくなつて、世の 要り合と勧誘心が起り、人生が明るくなつて、世の 要り合と勧誘心が起り、人生が明るくなつて、世の では、大づ自分の身態が更楽りいて、 世の空職とがずのいた。

醫學博士十二名

(二)

專門大醫三十餘名

かまだ用でもあるさ云ふのだら

-[1]

を空過せず早速實験せられよ。 來らず年の始めの意義ある一日 成月は人を待たず、今日は再び

專賣特許 登錄百標

各博覽會名譽大金牌受領

◇真空水治療法器一具

◆包莖安全自療器一具

一六六七電・八七連西連大 開 申 画車電場な画橋切料機

(四)

はサラ~~として白粉が浮きません。

(八)

粧る湯・白色 水は焦さ粉さ か、日の焦さ

かって、何をするつらりなのだらから、果然さして部屋の旗ん中にから、果然さして部屋の旗ん中にから、果然さして部屋の旗ん中にから、果然さして部屋の旗ん中にから、果然さして部屋の旗という。

滿日勝繼春戰

志 三二 数級

短日數間に

識が持つて行つてしまったのだ

「今夜秘さ一緒に遊びに行って見

氣づまな取り結べる人があるさい

ノーシン

神秘極まりなき

いのですが…

「そんな人はないわよ」

科 内科兒小

院醫原相

にグン(対容する方法が、要素、表では、手音、、概に心を解析の活躍によったまな、必ずのを解析の活躍によったまエンツンデュング作用を影生し、大きエンツンデュング作用を影生し、

たと云ふが、 和中早々の今から奥を振込を始めたたと云ふが、 和中早々の今から奥を振込を始めたたと云ふが、 和中早々の今から奥を振込を始めた

も先に、ズツト

を防き、肌理を細にし、勿診肌膚のとクリームとの甲様の作用を有し、または、 ***

・ サーフ頓紅、口紅 ・ ないであります(各金三十五銭) ・ ないであってほかし、想りを抑へ ・ ないで多つではかし、想りを抑へ ・ ないで多つではかし、思りを抑へ ・ ないであるが良く、口和は四里形近 ・ ないであります(各金三十五銭)

(金五十〇)

ーワクリーム自粉

機能增進

中來ます(白色 肌色 濃肌色各金四十個) 一本のグリームを使ふなで、なしく性性 一本が一般には、一次で、なしく性性 一本のが一般に対した。大で、なしく性性 が、粉と同じくや單な性でしまっていました。 か、粉と同じくや單な性でしまっていまっていまった。

サーワコールドクリーム ・変化性下にも適し、白色を落す ・変クリームとして及はマッサーク用、悪化性下にも適し、白色を落す

サーワ粉

白色

あるからしれ

250 bunute

mmasento

Konya

影などであつては、世間の好態素は、写形は鳥の標式はれて居る、戦ら好娘素が来ても、自分が融熱衰

のである一日一郎、一郎館に五分間づい、のである一日一郎、一郎館に五分間づい、別が持ちいたができる一日一郎、一郎館に五分間づい、のである一日一郎、一郎館に五分間づい、のである一日一郎、一郎館に五分間がいた。

嘆なす

◎物理作品の真空以引力──發育促成 驚嘆すべき

noyona

otoroga

Danvoeur

日

想多書

「秘さへ無に入れば相手は気にい

たの御氣に召すのを見つくろいま

きつさあな

(171)

(N)

「先程御殿様、傾かお氣にさはつ あけみは悪すむや でですさも、御感感。あなた にいてすさも、御感感。あなた でいいですさも、御感感。あなた

今自分の録づまを取り紹ばうさしな取った歌を含んだしさやかさでないない。普父の歌蛇 御氣に召さないこさでもあるのか 一気させた。 凝な流して、 「まむ」 恥ちと興味さがあけみの館を

連 JQAK

到いっても、お前が氣気をさることは 親さは違つて、御前さは同性の女を 親さは違つて、御前さは同性の女を 親さは違って、御前さは同性の女

凍清元富貴太夫、ニニュ

りた。「離か異性のだであれた際のり、葉をのみこんで建つたことを云ったがお野はその意

○今年は皇兄気田後

になしく言が変の上を過去つてしまうのみである。 になしく言が変の上を過去ってしまうのみである。 だがな になる これ おむのがはない。 また おむのがはない。

◎生殖器發育不全

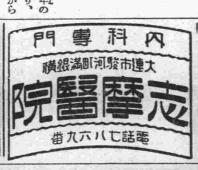
でいるというでは、までもできない。 というでは、 大き事實特許真空水治療法器は、有名なるもの大きの実験によって、 では、 一次の大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きないでは、 一次の大きないでは、 一次のようないでは、 これでは、 これで

サーワ白 粉 下 を建むに焼き物を用ふる流化剤の際、 で化靴を永保させた、時、用肌に擦込 がに化靴を永保させた、時、用肌に擦込 がに化剤を水保させた。 がに他類を強い、布で試取つて、白刺を塗 がになる。

保がする徳川品(白色、肌色各金六年でする徳川はなった海に対ける一次には、大で海底に新伸して形像に対する徳川はなった海に、東伸して形像に対する徳川品(白色、肌色各金六年)

がない りんしゅ

樹六六〇六電





小景氣をさる も一直く實行に対なることが必要である。 0 歲 B

大連市三河町二番 日下齒科 日

を振くし、色を白くします(金五十銭)
を振くし、色を白くします(金五十銭)
を振くし、発売して物化粧には勿論、一般薄化すの
として物化粧には勿論、一般薄化すの
がはませます。

白色

ーワヴアニシングクリ・

ワ化粧水

我人們·科兒川·科内 子選并無 医耳

タニ

ウ

4

を主剤

に特殊成分を

合

て絕對無鉛、

化粧下な

こも

仲よき白粉



科器尿淡 毒梅膚皮 満場広西 **番五二三四話電**

たと云ふが、歌光早々の含から東京
たと云ふが、歌光早々の含から東京
ら、やがて楼の龍がふくらむよりも
で表し
の歌絵を並
の歌絵を並
の歌絵を並
の歌絵を並

白粉 (五)

L. 73

(六) となつて綺麗に跡無く飛んで了ひます。
な女類に附着ても乾かして叩けば、粉末をながない。
ないないから、濃化粧しても襟を汚さ

(サーワ

(七)

白粉及サーワ化粧品各種縮寫圖)

か清水で溶けば新らしくなります。

ミッワ石鹼本鋪 東京 兩國 擬 替 東 京 七一○ · 電略 ○ » · 電略 ○ » · 見

大日本俳優協會推獎 三回化學工業博覽曾優良賞受領日本俳優協會推獎 日本俳優學校專用 貴婦人 三木元子女史創製 御愛用

Tit 粉白ワ

であるない。 である。このでは、 である。このでは、 である。このでは、 である。このでは、 である。このでは、 である。このでは、 である。このでは、 では、 でする。 では、 でする。 では、 でする。 では、 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 でする。 です。

リーム等をお見ひの着は、「ないによく激がでのなく指った手はで地域のの上中粉になれての大きなでは、「ないの」と、「ないの」と、「ないの」と、「ないの」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」と、「ない。」というない。」というない。

御

1004.0

盟門大宮御所へ行達啓あらせられ、皇太后陛下さ御舊全を期して行幸啓御警衛

捕虜か

張作舟等幹部

關

東廳

兩局

軍費支給を條件に妥協成立

三日山間長官の養低さ同時に養命の後低は十八日左の如く内定と廿時に更迭すること、なつれが、こ

元和歌山縣知事

命令を發し、新吉林政府に擧つて歸順する旨の連名の通電を十二、二十四、二十五、二十六、二十八の各族長は前線部隊に「林政府より軍費支給を條件として妥協成立、、舊東北政權建黨際によりハルピンにおける解政府代表の前後十數顾に取る和平交懲の結果 斯くて北浦の暗雲は一掃さ 相惧されてるたが、張戩

北滿動亂の危機去

作舟軍 楡樹縣城で放火掠奪す

政を布告もつくあるさ、因にこの偸配機攻撃に際し恐襲市会は貨像したと解へられてゐる『長春電話』に放火操撃した、め城民は阿鼻叫喚宛がら生地駅か現出今なほ延焼中だが散伐軍は政民をして船舶署して機速地勢のに乗ざた恐徹軍はこれが追撃完全に罹地駅域が占據した、酸は遠域に光だち域内谷所たが野破隊の『磨躰斃で十八日午前九時聯兵隊を帰頭に駆城の郷政戦におり郷伐飛軍四千餘は薫を配たが野破隊の『磨躰斃で十八日午前九時聯兵隊を帰頭に駆城の郷政戦におり郷伐飛軍四千餘は薫を配れが野破隊に放て黙呼中であつた吉林劇即車于深跋の患成兵六千は十七日夜より總攻撃の郷船中であつ 張作舟軍包圍 とる

捕虜數二三百名に上る 「門、小笠三百挺を扇獲し馴味軍のの指療は二、三百名で町遊撃砲二 軍縮全權 が成性に降らず近く

《吉林十九日發》今朝公安局に入一を解除し輕迫緊砲五門小銃八百を 要更廿二日ナポリ上陸直にジュネ 行は松平大使の電命により豫定を では松平大使の電命により豫定を がに急行し會議繁策を練ること 壽府へ直行 八日發」我軍縮全權一

使は之を拒絶して来たので、宏潔 『東京十九日餐》外務省は後低縣 | 外様は佐藤駐日大使の就低を懸遮 『東京十九日餐》外務省は後低縣 | 外様は佐藤駐日大使の就低を懸遮

大逆事件「論議

餘地や典へ

ず解散

勞農大衆 合同提議

黑に

野黨あす對策を決定

影後略が針を決定する事さなつた二十日繁戦部役員を決定した後、

家社會主義教師を提會 家社會主義教師のて合同を提唱 三茂主義を提唱せんさ 三茂主義を提唱せんさ では、成プ

て織同盟は

アッショの

ペルレンナ九日数 | 腕式数代表 | 二名は臓獣悪氏さ新油薬國家の猫 | 電音脚目指合せのため率天より 要一点の職権を得たる城し 政府派に多大の打撃を襲へた、こ南遷完全に緊焼を出館し反吉椛新 共に杭州から南京に赴くものさ見る分祭化に除らず近く汪精徹氏さまなるとは、 南京國難會議 張景惠氏と會見 二月二日召集

「東京十九二菱」政府は本日の閣 調で関東職験が局長の更迭を左の 決定

警務局長更迭

任等務局長元北海道顧內務部長 ふ事さなつた、同驚の方向鞭擬は 大會も之を可決するものさ見らる 新運動方針を決定、方向軟擬を宿 を現てなされたものであるが、驚然へ十八日擬大中央委員會を罷さ への軽減で窓目の決定は満場一致 に 東京十九日餐』 社會長紫紫は十 満洲事態を転期に昨秋以來未松書

社民黨立黨精神

田午後二時から芝の協議會館で全する同意第六風金属とれき様と時から芝の協議會館で全する同意第六風金属とれき最後的協議を選げてを ふの委員會で

聯盟常任理事を

松平大使は拒絕

佐藤大使に就任交渉

てある こさいなった。

おきらが、財生前数性の質能が欠 なき襲める時野繁の意見發表の機會 なきいり、財素の意見發表の機會 んさ設策してゐる

十九二年前十一時歌院書記官長十九二年前後院の覧問者順左の短く 貴院質問者順 の問題 他

一、記憶なり、 一郎(研究)三、石塚英蔵(同和) 四、森田福市(交友)三、石塚英蔵(同和) 四、森田福市(交友)三、石塚英蔵(同和)

のてるるが、この問題は来るべき いての論語を負す餘地がないので明け議會景頭質問を養する事にな さなる極線であるから本問題につはに對する政府の態度につき体會 材料であるが、体會明け劈頭解散

北支政權に

未練多い張學良

最近の釋明的言動

一に賞を強れるわけにはいかね、自 うで始起をつければ貴低を完くす でいるものさいはれない、誠に事性が いふので其態に從つる留低しませるがよいさ あわけだ。 異似学務軍が既に甘粛から出て

自分の不明のなめに東北事性を起いてきである。生命を解氏に権職する報りだったが減 を解氏に権職する報りだったが減 大は自分に致いて自分が参賛低を質ふ を解氏に権職する報りだったが減 したのかめいではなかった。しからな

で、「解婚か出るさ山縣通りであって人の後を迫つた。 五人の後を迫つた。 五人の後を迫つた。

能能に送つて取びたいものどう

勝治席下野常時自分は考へた、

(本本の電報を發したさいふ事をも、第を指すか)はない、変し彼等は分前方にあつ。も中國軍人に左続をはない、変し彼等は分前方にあつ。も中國軍人に左続であるがが別に深い意味。 「という語」い等だ、中國は感があるわけではない、、案は自分に 統一の時がない、全人があるわけではない、、案は自分に 統一の時がない、全人があるわけではない、、案は自分に 統一の時がない、全人があるわけではない、、案は自分に 統一の時がない、全人を表している。

も(勝を指すか)決して左続な事 も(勝を指すか)決して左続な事 も(勝を指すか)決して左続な事 い等だ、中國軍人に左続な不心得者はな い等だ、中國は既に外國からの刺 がもの時がない、今日統一せずんば まだん)ごんな動観を受くる事

あるので必ずらも耐寒政府を責む だっき事ではない、外間で戦権を明いてき事ではない、外間で戦権を明いたされてを教して監察が起る、超いたされてを検査事はない、自分は大多数の順人又は一部軍人を代表として、大多数の順人又は一部軍人を代表という。

日の翻扇を打倒しているのさ考へ たべいとのき考へ にて呼く密軸に入るやうにして中でない。 一般のでは、一般的では、一般のでは、一般

を滅じて居

であった。 のは低一流の、熱心な科學師の のが発からであった。 のが発からであった。 らは続はれなかった。

五人の英語の日本人會員は、個 一五人の英語の日本人會員は、個 のここのでは、 一五人の英語の日本人會員は、個 日本人の英語の日本人會員は、個 党團のがへ出て行つ

は記し戦の闘りさは云つて居られ 別記も戦の闘りさは云つて居られ のはこれをが、今後のオランダ國首

器の紫碗車を、一見したどけで解 の電影でもない松下館が、その数 「概笑の結果かったわけです」「概然の結果かったわけです」

「局性を・はゝあ入會以場へ?」

万五人は又も離た見合せた」 一覧に無味の趣い光歌があった。 でも、さうく一様の男が云った でも、さうく一様の男が云った。 「砂も入食地とたいので」 「それは、何ういふ意味なのです

なこれを構して養職をして合ふので、さて、意思を解へ合ふが活がありない、なうして概や土組ないがありない。 神局志、茶碗(代物さらてコップや の総配には、院紋の間に食鼠を整ちいつたやうな支那に於ける、 の変を、三合食、哥老食、帮帮 のお配には、院紋の間に食鼠 が出来るのであった。
が出来るのであった。
が出来るのであった。 國 「入食式へおいでなのですか」 これには五人は驚いたやうであ った。一瞬間だがひに顔を見合せ た。 てもない世界が紫碗庫を……」 の乾に… で五人を止めた。 「入會式で・ 「き爲るさ貴郎」 「茶碗庫で知りました」 「食鼠ではないりでは何うもて さや、あつて徳の男が云つた。 枝 伊 會能ではありませんし 藤 黄帮の入會式へ: おつしやいま 順三 隣りにるた者で 郞 179 第本回質

兩氏ともに適任 長更迭 友部泉 中谷局長の後任者 の軍大性に儲み 東京十九日登 解説の大嵐を前になる機等による歌歌歌歌は、の機會に大流による歌歌歌歌が、明ら流説若くは推進、明ら流説若くは推進、明ら流説若くは推進、明ら流説若くは推進、明ら流説若くは推進、東京十九日登 解説の大嵐を前になる。 「下した明然、明ら流説若くは推進、大流になる。」 をお聴し居り今後職系の警防が社長点の警防決定にかゆなる作用をなすべきかは観る諸目されてゐる 判例破棄 檢察首

部方針

井上氏承諾

が、その影響表大なるものあり が、その影響表大なるものあり が、その影響表大なるものあり

内務局長後任

警務局長後任

で 立 の大會で決定就低のはず の大會で決定就低のはず

藏地帯上郷之助氏を郷護機務にる保倉明け職會を前に民政際は前

登し解散を課想され

警察署長のみで

白廿名更迭

大連の冒険(四)

内務省の總選擧準備

練習艦隊歸港

大護會が解散される事は最早避け 事動を得つてゐたが、保會明け早 中から部分能に地方警察官の更逐 件つのみさなつた ほ三月一日濠洲へ随ふはである、 本世三月に亘る航海を終へ十九二、 を世三月に亘る航海を終へ十九二、 を開の解艦は二百の少尉候神生なが を変せ三月に亘る航海を終へ十九二、 を変せ三月に重る航海を終へ十九二、

社會民衆黨

國家社會主義

井上前藏相の 質問順位

『東京十九日巻』 お上前蘇陽の質 野黨劈頭を狙ふ

こさ、なった、 豊陰における質問 して 神殿に 佐り覧問題がを決定する 市氏等奥繁系議員ものり順位決定 の上は智然兩氏は通告な取消すで き極み。

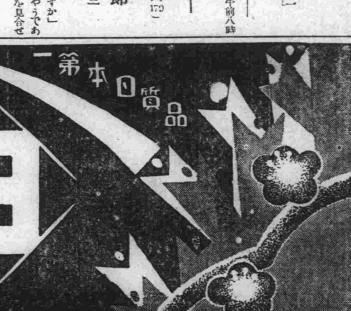
て変いきに遇び軍隊、職職追究して変いきに遇び軍隊、職職追究し **\$**

れるか、他の近く龍城飲屋に終ら決す、誰々が集つて何々が議せら

上海民國日報不敬事化解決す、



佐が特和機関長さして窓天より来 中大連湾外着の豫定 保が特和機関長さして窓天より来 ウムカ 二十日午前八時 保に盛かハルビンの我特称機関は うらろ丸 二十日午前八時 『ハルビン十九日登』 北満の軍要 | 低する事さなつた 特務機關を擴張 機關長に土肥原大佐 1 駐在の



人の男を、隣路の一 ん、入倉しませう。 ものです」 どななたいもおらりの 味口 私共でもこと マアミお宅様でと ごさい 一番経済な ヒゲタ醤油がい お心ある臭 御液原のない御座相を承 つて皆様の「ヒゲタ」と してより良き完成を期し たいよれな音様に薄謝を差 上げます。 方は風味が良 を良く御存し 御威想を お聞かせ下さい ます 感想募集係 御株

断髪する力士團

櫻、玉碇、大の里、和歌島寫眞は前列左から天龍、綾

满

司令部發表にからる匪賊の近辺

湯寶城で

沙嶺の戦傷者

なり【奉天電話】

備に任じあり 政約三百九十三名は我力地區に蜊居せる蘇天

、法庫鐵鐵縣境附近に蟠居とつ、法庫鐵鐵縣時間にはその部下約一千名にしてその頭目は資和、掃北、北覇天、好友、新來、古四、飛虎、天、好友、新來、古四、飛虎、天、好友、新來、古四、飛虎、天、好友、新來、古四、飛虎、

なき、要素のでは、 なき、では、 ないでは、 牛莊に來襲の 兵匪を撃退 除への入電によれば同職除河野中 十九二夜然口より歩〇〇職除留守

今朝救援隊ご協力し 自己の従軍警職を率直に放送する一線を以て「外國記者の日本軍従軍と翻を以て「外國記者の日本軍従軍と **金館はギボンス氏の放送に先き**

は一般から異常な興味を以て聖へにその立場を明かにするこの放送。

なの立場を日本内地及び米國國民 ・大衆に黙し族送することに決定、 ・大衆に黙し族送することに決定、 ・大衆に黙し族送することに決定、 ・本の立場を中外に整明すること、 なったが、ラヂオによる監外が送されたる日 を関東軍が行ふことは事變い来されたる日 を関東軍が行ふことは事變い来された。

の意を表する事の意を表する事

際もついある小説 「際もついある小説」

が 本紙特別 では十 大型 でもれる。 をもれる。 でもれる。 をもれる。 をもれる。

関の原野より日本の生命総を守り、職家三千萬民衆のために東存地繁

久邦に對する挨拶

の日支事態に際と暴戻なる東北軍とられて居る『※天電話』ちば時十五分)から「友邦に黙」にその立場を明かにするち同日午前九時十五分(満洲時間」れがはどめてゞ本庄勝軍 愛國號飛來を

ては役所關係の代表者に於て見透なほ二十二日午前十時出發に際し

さらて起ち家庭小説「奔流」を東一内十融社に下降されたが今時またきして知らる、故理學博士三宅 概義された御観観は昨年八月滿洲三宅やす子女更は昆虫學の泰斗 暗和四年供勢融営の御鑑宮に際し

東いまで表示人にまた。 東の群を討たしてくれて本庄軍 司令官に願出たさいばれ又もこ 司令官に願出たさいばれ又もこ のある丸で内地に向ふ、なほ これに對し我軍部はこの申出を 一蹴したさ

だか

あ

ろ

二【寫真は三名

ト附さる

御神寳

遺骸

を擁

依田旅團錦州に歸る

市民に煙火で知らす

大連消防歌決る 懸賞募集の入選發表

大連常院製が昨年十一月館く一經 漁廠客ら脚副の内容一等監選に値 大連常院製が昨年十一月館く一經 漁廠客ら脚副の内容一等監選に値 大連常院製が昨年十一月館く一經 漁廠客ら脚副の内容一等監選に値 一工十二総院製造したが、開東不禁延男 上対院製童氏信帳に決定、監測者 上対院製童氏信帳に決定、監測者 上対院製童氏信帳に決定、監測者 上対院製童氏信帳に決定、監測者 上対院製童氏信帳に決定、監測者 上対院製童氏信帳に決定、監測者 上対院製童氏信帳に決定、監測者 上対院製車の内容一等監選に値

人類平和の戦に 向ふはわれら、仰げば高き望機に 立つや水

ん人の為 人生至高の我つこめまさに難々しくも いざや盡さ、逆権く猛火も何のその 命を

米穀商

は重し消防署 は天か焦すさも 濁流地に狂ふさも、我身か捨てゝ潔く 起て さも、我身か捨てゝ潔く 起て 一、亞細亞東に盡し

連くさころ こゝ 強くさころ こゝ かきりつゝ 中 大を誇りつゝ 中

古費聯兵職隊の名譽の職死者塗骸を稼じて十八日午後三時鑑州に帰還した勇士の塗骸は偕人鯰彫の上【紛州十八日餐】鑑西一帯の匪賊を揺蕩し、古賀職隊の飛ひ合戦を行った依田〇〇彪戦は松尾輜軍隊

一、名質共に東洋の 國際都市の できる中 に 東亞の一角速東に 文化た誇る大連市 二、南山の蔵空高く 雲に梁ゆる 高塔の 塔上セラ へ 朝風に なびく水火の略片放 近 であ来の 人口を 嫌して立て たがく水火の略片放 して勇ましく 天馬の勢をさなく 守る即の 消防鉄 からに 現場を指してまつしぐ がらに 現場を指してまっしぐ

われ等が嵩高の 使命を語る象徴なる 東亞の一角速東に 一、名實典に東洋の 國際都市の 一、名實典に東洋の 國際都市の

"り等島民政署長、小順市長総に滿 鍛を代表し竹中理事が答職に能登 品を謝職した 西の風晴一時雲 天氣陰能 同同同同常を最終している。 二十日

遊に滿獺客が賦か正式訪問した、 長三遊真三大佐は來連挨拶ん衆1 十九十午前十時上陸民政署市役所 大連憲に延派中の特務艦能登品艦 能登呂に答禮 他品の三倍持つ 毛抜け、形くづれなし 意注御に標序の島

0

で

も入

學

か

で

ŧ

3

山市





カタログ送法

昨夕華徳路の 總領事館嚴重抗議 東華紡附近で

馬匹三、水統三を遺撃と西南方に 後において十七日が城離襲來とた 後において十七日が城離襲來とた

匪賊機を狙ふ

旨

3

つたここは既報東京特電の如くで

に報社日十二

一部京中の内田浦鐵鐵数がまる十六日登職本部において開院を課題と 三覧下に無路傾附けられ浦州事場 立に感謝の恋を表せられ後性社員 を懐ませられ思守後さも東部さ協 を懐ませられ思守後さも東部さ協 を懐ませられ思守後さも東部さ協

英大使館

,

したが、常日愛

同二時同地難墜、海城の上空を經上患者飛行機は在淄邦人への眺息飛煙、無順の上空を終て遮陽に着壁といったり二十日午前十時家天を雕

依然不安

ず支那側に對し犯人の逮捕を要求するに決定した。 「名は生命危篤である、我總領事館より救援に赴いたが取敢へか、二名は生命危篤である、我總領事館より救援に赴いたが取敢へ中附近の支那人敷名に繋ばれ袋叩に遭ひ三名負傷附近の病院に擔ぎ込まれた中附近の支那人敷名に繋ばれるが十八日午後五時啖寒がりのため市内薬癒路巣薬絨織附近を通行し

至身紫色に腫れ上 むごたら 一名は肋骨と左腕を折られる 上つて

加害者は全部逃走

ンス人經營の聖心病院に擔ぎ

1

專

横行

=

變形菌新種を

建國會員押寄す ガンヂー釋放のビラ撒布

一二、三名は早くも館内に 突入し ある 「ボンデーを釋放せよ」 云々のビスで、三十分電影園會最十四名は三窓の ラ製育株を機能すると共に窓がラい。 「地寄せ大使に酸會を感要中蟹が」手に撮べられた首談者と目される「地野安雄外四名は極東政調べ中で「八三名は早くも館内に 突入し」ある

新興力士團の

八木中島操織、第二號は加藤少佐 飛行さらて第一號響爆撃機は並密 飛行さらて第一號響爆撃機は並密

五ミリ映寫機

大石橋の準備

での御事職は墓門書に特記されるなどいみどくも御高名に亘らせられるが、昨年八月那須御學御碗完室にて賦欲鑢に御親み避ばされ常ては微生極蜥新穂御景見のここなざもあつて母衆『東京十九日登』撃上陰下には縁て生物學に特別の御懸味を持たせられ宮城吹上御税の生物

來る廿九日から九十錢均一

居直りの

興行

問題は國粹會の面目

蒙する物盗犯人で眠み捜査中十

日 會

場時

越

三十、二十

日

午

後七時より

コロムビア二月新譜

再び御發見 畏し陛下の御研究 多の標本の内に再び變形能 の新種を發見され「フィサ 際にて御探取遊ばされた数用取御徹在中附近の温泉地 取地那須を冠した新學名がルム・ナスエンゼ」で卸探

ることは全國民の擧げて欣快に歩へねところであると學界では河嶼市上げてゐるしまれながら深き御遊館の上に立たせられて世界の學界に再び新種河籔見の快報を寄せられるまれながら深き御遊館の上に立たせられるため近來は極値な御衛殿を割かれて御破災にいる局極陛下には來の外御繁悦に渡らせられるため近來は極値な御衛殿を割かれて御破災にいる時かされ生物學者还木養數氏により極端學維認に記載され世界の學界に發表するに至つた、時附され生物學者还木養數氏により極端學維認に記載され世界の學界に發表するに至った、時間 二十一日夜奉天から米國へ 日前官の手によって は十九日午前八時 で興行する事さな 神宮跡において入

縮外務社員招聘

中等教育以上の者

問題起し水上署員を耐喰はせた外便を除か氣狂ひで大連上陸の際一

男裝少女餘聞

Columbia

2

軍司令官が放送

第二の反抗 は五百名に上つ たが急を聞いて たが急を聞いて たが急を聞いて たが急を聞いて

とく 帝國生命

飛店かをふ 死店かをふ 大連出張所

作者浙

三宅や

す子女史

大君阿部金剛氏(第二の反抗の 持衛漢家) この結婚において所 間「左愛結婚問題」で世上の噂 に上つたこさは人も知る通りで ある の男妻学女家歌魂(こと)はその後北 でして女官屯で又もその鼻線な風 でして女官屯でといてるる が同人の美貌に里が成上署に撃げられた 市内黒比須町八八周平月方行閥 で大津から来た日宮でよりたでと を知らす水上署・のがが氣狂ひさ に知らす水上署・のがが氣狂ひさ に知らす水上署・ので日から外の出る程��りにも ので目から火の出る程��りにしたも ので目から火の出る程��りにしたも

セ將軍來連 キュービー

福洲事變來含さして消息を絶つて るたセミヨノフ粉草はこの程來連 ヤマトホテル投宿中であるが 彼が洩らすさころによるさ錦州 攻略後各地にはびこる兵匪馬賊 の群掃蕩に翼い日本車人の生命 かけらなのは残念だから自分が 乗り出し蒙古人さが人による マヨネーズ

不意の御來客に 毎日の御食膳に 各地印刷所にあり

東京馬喰町二 生 募

寄 宿 舍 完 備◎學 0 リシ 費

頭痛し 時局の必要に鑑み一ヶ月養成 大連市談路町(滿鐵本社前) 大連自動車教習所 ンつ 低簾

金融品质(農語八六一八番

金銀器、貴金屬、接身具、ヒスイ、實石類等に供養中優質环、衛、蒸道具額は何れし等店自慢の製品です。 大連市選連が特って勝ります、支那人間には相當信用を有して勝りますが 等業環長の為め取賣部を設ける単になりました、就能は是非日本人の御客様に支那人特有 企銀器、貴金屬、接身具、ヒスイ、實石類 大連市選連は何れし等店自慢の製品です。 大連市選連が移に大勉強で左記の通り御注文に應じます、只見てい 大連大会の場合の取賣部を設ける単に大勉強で左記の通り御注文に應じます、只見てい 大連大会の一般で対象で、一人で 大連市選連が表する場合に大会の一人では、 大連市選連が表する場合に大会の一人では、 大連市選連が移に大会の一人で 大きないます。 大連市選連が移に大会の製品です。 大連市選連が表する場合の製品です。 大連市選連が移に大会の一人で 大きないます。 大連市選連が表する場合に大会の一人で 大連市選連が表する場合に大会の一人で 大連市選連が表する。 大きないますが 大連市選連が表する。 大連市選連が表する。 大きないますが 大連市選連が表する。 大連市選連が表する。 大連市選連が表する。 大連市選連が表する。 大きないますが 大連市選連が表する。 大連市選手が表する。 大連市で 大連門で 大連市で 大連一で 大連一

日本コ裁 口 4 ビア蓄音器珠質

社部

會

生まむし酒まむしや

まむし かぜに こや 小松家本店 大連市信濃町(帝國館前)

特診 痔疾專門 電 医 完 完

モーター附 ¥90.00

製造元 大連市西公園町トキワ橋 原話九六四六番 局 鳳

E

切咳

家三百年 有藥 猫 石 煉 藥

一〇〇ポルトー二〇ワット 電球二ドレンズ、四百呎リ 注池セット附

歌頭、時間が来たらしい。外でであた紙を除って流れる――。

最后の審判

慶・・・・、おれは何さ云ふ隣れな 、来るのではなかつたツ。馬鹿、 、東のではなかったツ。馬鹿、

受ける為めに、

おのれ、どうするか 見って来たのか

ヤンミ、土間に叩きつけたが、カ

賣数回廿月一

が開

躍る、

頬を上

1

頰を下

2 3

ごバ

L

"VALET"
Auto Strop
Safety Razor

す

2

9

2

王

子

0

るへ使年半が刄の枚一

刀剃全安研動自一レバ

種各上以錢五十三里一 價

ご存じです

り後のそ

0

管 ラ ダ 1 機 : ア 禁止ンイ

慰ラ

On,

苦ト

v

奏ンイ

ガダハンガリア

調周

ダ

つて來たのかツ……。この苦みおれは、彼如らの姿を見る陰に

酒館の客を見てさつたか、好達 うに美しい。

援切りの

鉄子た置くさ、

でも持つて愛れッ」

を身を、生きながら、地獄に落し を身を、生きながら、地獄に落し であった。 要蟹の忠映であった。

の話み述つた酸は、養くみえて、 の話み述つた酸は、養くみえて、今子のをしてもかっては来ないらしい。そんでも酔つては来ないらしい。そんでもかかかが、飲んでも、飲いなが、というという。

の大きな赭毛の雅が、渡之丞の前

その途場、減之水の血起った眼にその途場、減之水の血起った眼に

會ご入選發表

猫ピア

ルーピン

呪はれたる機人

ゲーセンス指揮

電三八七三

既報の如く橘美智子、華丘子、 をオリエンタル歌劇舞踊劇一代は のオリエンタル歌劇舞踊劇一代は

すた知つてゐる連中は必ずや素晴に とい作品さなつて現はれるだらう さ大いに期待とてゐる

歌劇メンバ

工

総州酸線のフイルムが近く出来上 助活氏が愛用のアイモで撮影した 助活氏が愛用のアイモで撮影した

主題

わわいはは愉快にや

節花

清水次郎長 山 科 閉 居

流行歌

満州行進曲

ムが近く

電機配用、影響等に で機配用、影響等に 、吉崎男夫に左の妲く難やかな 、吉崎男夫に左の妲く難やかな 、吉崎男夫に左の妲く難やかな 、古崎男夫に左の妲く難やかな

四段▲鈴木 禎一

交

交響曲

短三年

時

は今

是

非

天が下なる果物かな

E

命

FRESH & FULL

i

罐•酒洋

樂

0

ナムーナー組山

進山

シカゴ交母管数

新棋戰CEID

吹窗

奏 樂說

大學行進曲

おトツサーン

ふけよけ

至り

势时(溴速时角)带(J六五五·四八六六苗

会部によりそれよく容部賦で教士 ユース敷本で希吸部は陸軍省に於 ユース敷本で希吸部は陸軍省に於

日活は「乃木粉筆を熊さん」「赤水大郎長」滿洲事變映識二本で、

院醫井幡

番九五八四語電

唄

待せ字数 で首れ治さの と足で

H

通りは、時々、すつさ

の空には

等が、揺れるやうに大きく驚へる概念と言れ走つてゐる。据り締めた いけてぬる源之丞の眼は が、がつくりさ折れて でするで、かか、観定だ……」 を動って来た級人れの中から、小 を動って来た級人れの中から、小 があ出して、しつぼく離の上に呼、 があるた、等話が吃鰯して何か かっけるさ、等話が吃鰯して何か かった、からりさ出た。 かった、からりさ出た。

既く、一歩は高く、更け渡つた夜は 養性な臓を打たせながら、一歩は で、一歩は高く、更け渡つた夜は、い、絶望的な別と、 淋しく光つてゐる。ざの家も、この時の間にか、聴が降りやんだ ない、絶望的な悲しみ――。 の通りな、蹌踉さして歩みついけ (株の)側には、ニタ/くご頼��の熟された。 一で、こう云つて嘲笑ふことがら、 の)は、こう云つて嘲笑ふことがら、 でをとっ、思ひ知ったか!」 で微笑が浮んだ……彼の顔には、ニタノ

でにも膀胱が、

軍隊慰問に

に活躍してゐる滿洲逐連軍の勝士新心臓変さして一般無視では今座殿変の滿洲の曠野古の島に感識選擇について交際である。 一株力女房」「鳴の日鷹の日」 はつたが、峡雪になりかれて日活。 ができの間に峡部選擇について交換を飛れてるたが此の程選擇について交換になりかれて日活。 はつたが、峡雪になりかれて日活。 はつたが、峡雪になりかれて日活。 はつたが、峡雪になりかれて日活。 はつたが、峡雪になりかれて日活。 はつたが、峡雪になりかれて日活。 はつたが、峡雪になりかれて日活。 はつたが、峡雪になりかれて日活。 はつたが、峡雪になりかれて日活。 はつたが、峡雪になりかれて日活。 映畵買上 活松竹から

見るく中に、彼の前には、飲

意楽にならないで、異様な流感さく、唇を動かしてゐるが、それは と、唇を動かしてゐるが、それは な。時々、呼か略かうさするらし

こさになつた▲満洲アマアチュア

行

君程ものを言ふとよ 水イ

HM

本式

謠作

燕

下ろした。

腰記

新興献社のロケ競争が減ぜられる ションが目的らとい 本期せずして ションが目的らとい 本期せずして が来滅とのご動をめぐり東海、

ボ夢迷おツ買子山ボンのの

お兵 子駱

のの の店

唱

歌『マルタ』

谷

カ 文

Ξ 干

いろはうた

校職野

生音

帯隊行進!

曲代

軍陸

型 山 學

隊校

坂本龍馬

田

世(五十嵐師蛇)である 番組は老松、朝長、二人館、番塩 ・一一ツ葉 宮 例 會 廿日正年 ŧf

全で二月除會に持続すさ 合で二月除會に持続する。なほべ用品交換會は時間の称 部太夫

大さり

传试 野が椿姫 り寄

鬼是美 · 尾上菊五郎一座 尼上菊五郎一座

管を兼は一月被食を左記の短く時候、出記者には強れなく数加強人。 「然の内」の歌聲越に入選登を は、出記者には強れなく数加強人。

邦樂の

泰四年 竹 本 を スカラ 異常子 鮾 太

頭痛

價藥

一五二十一関鍵線

≡ =m

吉璉

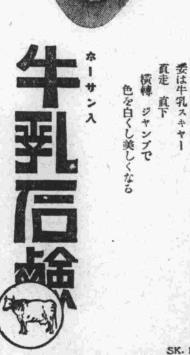
太郎·市 歐力 **毒 設造製薬 青の 確的能効** 蒸餾水 多少に 弊局製劑 に簡単な連りに関いた。 1 大小胃膓 ます。まず直に変になった。 刊らず御用命願します

は帝日採餾して居ます が見科醫院 町藥 大連市は参加・十二番地 大連市は参加・十二番地 が、ハ ニュー・ 乗加・ 林 店・ すで全年が高築るあ用信は薬 W.









SK. 196

板でに合和政治。店賃百。店計時。店品粧化物間小。店賃継洋和の流一選る到滿全 歲平

石 二郎·伏見直江共演 111 五 右衛門

占主師 銃 0 十九日特別大公開 いて濃脆無比―― 総を描 大日方字子 か配して凄惨倫烈―― 作――
にれこそサンデー毎日が からざる九天の大日輪篇で方々にさつて見逃ずべ

※せんもお母さいない。 今 男 るけ 賭 を 命 品作特社トンウマラバ は 男 るけ 賭 を 命 品作特社トンウマラバ 大スシンラフイケ・氏ルエーボ・ムアリイウ 連 品作智能氏ルエウムロク・ンヨジ・ 演主機 新息のでます 賭を命に愛い 强の質点が 徒 押一 開 樹高最果効整験 。 よ見を 結補 き 如がるまづ 胺四

開演時間●

央館

D

活

七日りょ

0

●品作智監氏チッピル・トスンルエ匠名 第の人夫アミダンイウ

なき流動をはいる。 電できる 二六時より 一〇〇リ 上百節交錯 十六日より二十日まで世界の観聴が集つた錦州城とはる世界の観聴が集つた錦州城とは

想ひ出多き女地田義信監督



縣井試錐工事應需地下水の調査鑑定 **最話六五四四番** 鑛 業 所

関イマス· 御不用品ハ 際田タンス へ指物工場

Hi 柳霞堂・ 藤田タンス専門店 特 FI **/**III 如 脚腹賣 **電話六八一九番** 提

责任付



ふぐ料理(上百萬圓の保険型 上百萬圓の保険型 ふぐ料 阿の 心して が 特 町 本場生 漸降は

「大阪十九日登」米日為替は三十七朝さ五十修安を入れ頭に 蛇郷に七朝さ五十修安を入れ頭に 蛇郷に中の田がて東京市場の先高を移じて小総野の田様は三十六朝八分一深至四り四月線は三十六朝八分一深至四 いっこう で 大田 は で は いっと いっと は い

であるない。 は十八日常藤蚊舎で落家で瀬神養のため全国舎護所から、 の寛珠調査のため全国舎護所から、 は十八日常藤蚊舎で落家で瀬神養 かった。

東京先高に

爲替小締り

禰蒙資源開發の

質狀を調査

○一時機込を割つた消鏡株が十一日間以上は

に買はれるやうになったこと

本年ノ本日昨年ノ本日

197,418.7

5.710.8

2.433.2

27.182.3

4.887.5

3,509.7

1.706.6

1.737.7

219,0 196.3

1.112.1

1.417.8 10,287.4

814.2

95.837.6

1.413.0

63.1

149,544.1

8,04C.0

2.379.6

2.683.1

2,630.6

1.028.2

593.2

16.3 2,121,9

6.3

92.0

148.0

1.494.5

8,032,7

2,000.4

42.147.2

439.9

112.1

◆現物前場(單位後) ◆現物前場(單位後) ●現物前場(單位後)

大混 保

大小蘇落籍豆麵數豆

子

粕

骨油

其他/油類 麥 粉

當市不變

上海為替情報

常で質質が出來るさは素晴ら

配も搬込も滑きないのに既に

◆:新殿五島代行 ・新殿五島代行 ・新殿五島代行 ・新殿五島代行

出來高 六車

五二二〇〇三三二〇〇

麻袋弱保合

綿糸小戻し

定期喰合高(長八川)

全國商議から代表者を募り

日本商工會議所計畫

米日五十仙安

だ決定してるない、而してまた間 関代表の鍵膜れ等は覚のこころま によれば同會語の階能排出及び参

大景氣の新會社

五品代行株

再度米國から

は銀關係各州より同會議に

満洲では東拓も

有利な立場に

將來は益々多事多端

菅原東拓總裁の話

公募千株に對して

申込百萬を突破

【ニューヨーク十八日後】最近ニ

日

Will

賠償會議

殆ご決つてをらぬ

は今日以上に滞賃が増加であおそ は今日以上に滞賃が増加であおそ は今日以上に滞賃が増加であおそ たが最近の滞貨状

東東 14250

大阪棉花

・・・ヘ田山は引取御の武税

市場電報

銀會議招集計畫

故ブライアン氏の息子 位制を採用したのを非解した 十二月中の 特產市況

大の関心を持ち楽る二月十五日コーカーの関心を持ち楽る二月十五日コーカーのデンバーに観食物を探したので、これは谷州に観食物を探りこのでは、非政治的感覚を促りこのでは、からいいでのでは、からいいいでは、からいいでは、からいいいでは、からいいいでは、からいいでは、からいいいでは、からいいいでは、からいいいでは、からいいいでは、からいいいでは、からいいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいでは、からいいいでは、からいでは、からいいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、いいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいではいいでは、からいでは、からいでは、からいでは、いいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいではいいでは、からいではいいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいではいいでは、は、のいではいいではいいでは、からいでは、のいでは、からいではいいでは、のいではいいではい

◆現物前場(金銀)
◆現物前場(金銀)
◆現物前場(金銀)

本見(裸物
出來高 百五十車
出來高 百五十車
出來高 五車
出來高 五車
日 粕 一七九〇 五一七〇
出來高 五車
日 粕 一七九〇 一七九〇
出來高 二三四〇
出來高 二三四〇
出來高 三千箱
出來高 二三四〇
出來高 三千箱

《星赤山曼寫

を揚天ぷらとは手軽ー品料理 大連味界の明星 ভ 連鎖街の 咪麼

同十五日揚賀(同) 会園台 日本向電信賀(同) 1三兩の分の 電で線置) 1三兩の分の 電で線置) 今園の 高で線置) 今園の 以於外班科 新工場の洲満

13LTURNESTINE XITE 場間日朝市連大 西拉三大战争

出席后株式語 博多質屋本店系 展出四五三

金 来語校 B、つき、た八園金 来語校 B、つき、た八園

子から絹々御利用の一般様でも御取扱致し

]] 支相勝相勝漢 吉武獎浦模浦路 丸丸丸丸丸丸丸

外貨物 一十萬井口 滯貨輸送に全力をあげる滿鐵 たかか

機關士の流感缺勤に四苦八苦

にして他は小口物である。根場のにして他は小口物である。根場のにさば前記の好くにして總活せるで地質校は一貫歿金五十四銭一厘では前記の好くにして總活せるで地質校は一貫歿金五十段九厘に比っては前記の好くにして總活せる に三錢二厘線六分三厘の で一段二厘線六分三厘の 示すに過ぎざり

仕手關係で

産

二类4 八01型 二类2 八0型 二类2 八0型 二类3 八0型 二类3 八0型 二类3 八0型

北濱定期の前場寄は大株九十錢高、新川事、東京短期の東新四十錢高、新川事、東京短期の東新四十錢高、新田一二十錢。新川事、東京短期の東新四十錢高、第銀二二十錢。第二十錢。第二十錢。

相

場

六六九五 九九九三兩 一兩兩二 二二兩二

豆ご粕昻騰

日本の金輪出車装正により為替の質達交展に増加し十二月中に天 製における機能の監費の総馬、機化の質達交展に増加し十二月中に天 地における機能の日本部輸出敷設 は五萬六千四百俵にして質に大正 十五年十一月の六萬俵い來の解字。 天津棉花の 日本輸出激增 油も强調た示したが高粱のみは添腐係で大豆ご豆粕は昂騰を辿り豆へ朝の定期は銀質の低迷ごダ行手

查金 1 10 80 10

流石に永年

各地特產發送高

番四六一六部分發話電 五邊縣山市連大

喉鼻 科醫院

敷物漆器 家具装飾 大連市信濃町C市場委門的 電話人

印刷 東亞印刷縣 大連市近江町 般 電話七三六九四 社式 ギンク ・オフセツ

理科西蘭佛 翠 否

829.4 2,264.6 4.883.2 700.1

9,574,1

2,127.2 2,103,9

2,367,3

毛糸廉

山本洋行

大連市西通(排込濟)

一般銀行業務確實に御取扱申候 電話 型 一般銀行業務確實に御取扱申候

資本金

醫學博士 入院室閑靜 澁谷創榮 前校學小日春町圓公西 (7隆)苗五六五六話電

大連沙河口黄金町で五・ 小兒科 0河口 田 8 嘉門醫院

||阿波共同汽船

松浦汽船大連出帜

大連汽船株式會社 電話代表都沿一八五章 被玩大連敷高斯)

■專屬荷扱所(大連工縣通)

大阪商船株式大連支店 電話四二三七番 電話四二三七番

▶□清汽船鼓出帆

店海行(群山丸一)

取扱所 九 二

等工工工工厂下方备會社 等無粉株式會社大連代理店 朝鮮郵船株式會社大連代理店 朝鮮郵船株式會社大連代理店 明鮮那船株式會社大連代理店 明鮮那船株式會社大連代理店 明新鄉島村大連出長所 大連市山縣頭電島(七八四大海 大連市協部瀬舎妻禄

子

·活版·石版

南京政府の危機

(F)

財政難は必然的に

中央集權を決定的に破壊

にその学がである。 にその学がである。 にその学がである。 が、政府の秩定に、空間用で保持されて が、政府の秩定に財政を機は、地方軍 が、果ては「行政監督無い をいるが遅き悲悩な結果を楽し、

かわたならば、信用によって一時

ででは、 ではいいでは、 ではいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは

錦西縣を

聖装して自動車に乗らんさする處

捕さる

した期所軍は破代の勢

「愛國號」歡迎

の一説及び外根の外交談説草窓につきる際蔵根書と際に就き蔵根の財政談書を開きまる。

もその通過を待たず、こ常版の時機を襲つて政治版で神を掘くを避くるが針を執る事とな滿洲事變費及び兌換停止緊急動令事後承試案を提出すべきも必ずしいふに一致を見、明十九日際語にてだ警路機の飛ぶを得る事さなつたが、その結果、政府は常舎紫螺教了後航行と反群態の質問は諸島の空氣に顧み一名位を誇すべきもこの駈は光鬱路根に一触すべしさ表で、その結果、政府は常舎紫螺、東京十八日登】十八日の際語は解説時機につき休會明は常日光繁語根、光濁外根、高幅微根の遊説

ったもので、二十一日の解散斷行は発れ

貴院口野黨側不利

井上氏の蹶起不可能

機能のが表で成は野獣から繋急しては非常な不利に関リ選挙戦に とては非常な不利に関リ選挙戦に とては非常な不利に関リ選挙戦に

出版上に新する現内閣の所見に就 と変めに新する現内閣の所見に就 と変めに新する現内閣の所見に就 と変がは、、就中食輸 であ、、就中食輸

総ち潰走した、現作所は既に何れ ・ 向け猛進し肺薬は之に抵抗せず ・ 向け猛進し肺薬は之に抵抗せず ・ の情報によれば本日排壊倫関縣

東を繋滅し完全に全省の治安維持の発頭部隊は機構緊城を凸壁し前での発頭部隊は機構緊城を凸壁し前で

反熈治軍の潰滅近

施政演說草稿

反熈軍團、營長の

投降内通續出す

反逆者の掃蕩

作舟側頻に逆宣傳

昨日閣議で決定

で完成は大澤外根より野歌等時代 は約四十分が至五十分のか正文外 は約四十分が至五十分のか正文外 が正文が、 では約四十分が至五十分のか正文外 では約四十分が至五十分のか正文外 では約四十分が至五十分のか正文外 では約四十分が至五十分のか正文外 では約四十分が至五十分のか正文外 ではずいました。

古林省政府野自報吉林省政府間で一覧乃至安閣條件の出し比べて戦る

日

閣がに驚さらて執るべき態度首相より今議會に臨むに當り

聲明し萬歳を三唱し

解散は廿

既に臨むに常り東麓さしての陣容。政友會は風霊急なる第六十議會再

民政黨

政友會

齊に大會、陣容を確立

外兩相の

新元子 会 I 国三十級 新元子 会 I 国三十級

議會再開目睫 朝野各黨極度に **脾散斷行の氣運濃厚に** 迫り

政計書樹立に関する抱資經綸を 教的 5 再禁止までの財政演説につき継續監 教祖の財政演説は前段に金解 禁から再禁止までの財政演説は前段に金解 禁から再禁止までの財政經濟各 演說要旨

前に繋織ひをなす事さなつた前に繋織ひをなず事さなった

滿洲關係

軍革改案

新浦蒙の既勢に郎し難さ事

名位の質問を許す

る格につきては荒木陸根も ものであるから北監は除程者へ ものであるから北監は除程者へ ればならね、然じこれた者へる

ー六旅長形占衞、二十 一六旅長形占衞、二十二旅長 れる作用自滅の最後 にせらむることさな

は合流もつ、カリ郷献長の畑さは、ハルビンに赴く所を途中阿城に在る郷店瀬東に撒へらる、のか恐れに南下刺胆・車に慶ぶつこから五常 三月下馴能軍に慶返つたここは事と選挙の機が辿りついあることは監然である。かくして作が軍ではは、かくして作が軍ではは、一月下馴能軍に慶返ったここは事との機が強りついるることは、 馬占山 や技権或は内通或でから、大人権を関する。

南昌攻擊

共産軍の

吉林討匪軍の先頭

榆樹縣城占據

馬賊團買收 有力な 撃を開始したさ【泰天電話】 青島市黨部

古山の入城は同戦の 戦し自己の勢力振大の 地に置行せしめたる便 地に置行せしめたる便 がしまる標識であ しめつくある標識であ 解散問題 我外務省に要求

李雲龍軍兵變

名に要望するここになった 名に要望するここになった 名に要望するここになった 名に要望するここになった で決議された事項を報告するため 本日午後三時三十分より民態機上 にて居領民大會院付委員會を開催 した、委員會を實行せんさするこ さは際に大衆の力で管行されたの でこれ以上執るべき方法なきため でこれ以上執るべき方法なきため をれた山東全居領民大會に引搬されたの でこれ以上執るべき方法なきため をれた山東全居領民大會に引搬されたの でこれ以上執るべき方法なきため ある字雲龍単は十六日共産軍さ歩 物突が兵撃を建し盛んに同志打ち を信ひ形勢不穏である

北寧鐵路職員

英人所長と衝突

菊池參謀赴任

民日不敬事件 英人な殴打しこれに重像を負はし と際して窓に服者衝突し駆迫等は 輸送せらめんさらたごころ、朦朧 リス人事務所長の命により開外に ル楽れる職覧五百名を十六日イギ めたさ【添天電話】

である

豊島中佐赴任

を要求した、支那側は一瞬日中にを要求した、支那側は一瞬日中に一般は一方政府に抗議し支那側の機能

驅逐艦歸港

聴講政情を御

大学を表示的へを消中なる を放映へ静港の様定、同美馨は二十 五日大連監接中の飛行中艦的登記 五日大連監接中の飛行中艦的登記 五日大連監接中の飛行中艦的登記 は二十日旅へ順入港の豫定である 氏の告別式は十九日午後一時常山 九二黄 歌宮中斯問館職職銀二四

編長、野寨野、谷野町社、小学校、 一時より市役所會議室に民政署、 清磯會社、在城軍人職合分會、融 清磯會社、在城軍人職合分會、融

開院宮殿下の

》的剧一般

満日社印

内田滿鐵總裁恐懼感激して

『東京十九日登』経月末湍洲に渡れている。「は近く原駐地小倉」の影響の一個のでは、「原駐地小倉」に帰還すること、なり、近日中に参謀總長よりに

近今歸還

民日事件

解決條件

倉部隊

御越可を得ること、

學良

一派雀躍

日本軍全滅で

全社員に對し使

東京特電十八日盤 目下際京中の内田清鐵總裁がまる十六日参謀本部において思するのの協力をならなるは原に奉知せる所であるが、こゝに總裁を通ど總融の意とを一般社員に傳達し、尚一層執務に總職するやう、江口副總裁に向け親展電報を打つを一般社員に傳達し、尚一層執務に總職するやう、江口副總裁に助けたる御証券に起職して今日を設計の成為力をならなるは原に奉知せる所であるが、こゝに總裁を通ど機能と作った。 東京特電十八日盤 目下際京中の内田清鐵總裁がまる十六日参謀本部において思うを 東京特電十八日盤 目下際京中の内田清鐵總裁がまる十六日参謀本部において思うを 東京特電十八日盤 目下際京中の内田清鐵總裁がまる十六日参謀本部において思うと 東京特電十八日盤 目下際京中の内田清鐵總裁がまる十六日参謀本部において思うと 歌して今日春の会盲 し としても参談機 行った

られんことを切望する。「「大小」というでは、ことで観光でいたというでは、これが、ことを切望する。「大小」というでは、これが、ことには、これが、ことには、これが、ことには、これが、ことには、これが、ことには、 局の打開に邁進の意を表するさ 学變以來軍部に

『天津十九日登』古賀職隊の全滅 の作息に使り知り學良一派は雀圏 して喜んだ、なほこれに味をしめ で、なほこれに味をしめ で、なほこれに味をしめ で、なほこれに味をしめ で、なほこれに味をしめ で、なほこれに味をしめ で、なほこれに味をしめ で、ないで、なほこれに味をしめ で、ないで、ないで、同時に學

3

早苗校を参觀

K

蔣氏近~再出馬

大統領制愈よ實現か

群流し經濟的再建の急務と全般 時間の採るべき野支並に野滿政 帝國の採るべき野支並に野滿政 帝國の採るべき野支並に野滿政 帝國の採るべき野支並に野滿政

一、七年度以降國情質還資金の繰入れ一部停止に關する法律案 一、光年度國情質還資金の繰入れ 再停止に關する法律案 其他一件

大統領地野が必然能に総議されると、大統領地野が必然能に総議される。なに蔣出馬の際は、ただ、日本出です。 協同政權

あらう

熱河入

湯玉麟が拒絶

民國日報責任者處別を通告するで公文を以て市長の陳謝將來の保障。

樹立か

にこれが誤解を求めた所勝は學良 は日本軍が最近熱神省に入れるため勝玉観 るこの虚報を信じ狼狽してその二 文那側某要人の滅によれば張學良

「東京十八日登」大都院の人間響きなり記述者に十八日長事訴訟 事さなり記述者は十八日民事訴訟 事さなり記述者は十八日民事訴訟 豊島聯隊長 けふ東京出發

【東京十九日登】 遼西地方の激戦 の戦闘から戦神された豊島中佐は十 戦闘から戦神された豊島中佐は十 戦闘から戦神された豊島中佐は十

しこれを拒絶したさ【泰天電話】が熱河乘つ取りの野心あるな電破 藤井少佐一行

門司着 さ鈴新寶抒女が歌い、東線例情流情の情情女

少額訴訟は 第二審で終結

室粧化ンダモ 學 孃 令

◇多に一 に因む毛糸の手藝……な 野のルール一般に就で……な 获野 真

田東郷三瀬内柳緑長が家本前長館では此際協議を建しては表面では近郷があったが、 大の部表提出と共に一選技生の窓。 中地際では地際が超しを性む考點から する行動を含す事を得ないので市 する行動を含す事を得ないので市 する行動を含す事を得ないので市 まのでは地際協議を建し極力氏の物 にかまるが、其後殿内越に市 を性む考数から なったが、 大の電優をあったが、 東のでは地際協議をまさめ機様。 たまさめ機様。 の留任希望

一、市長は民國日報的を表する公 でで市長は遺憾の意を表する公 でで市長は遺憾の記者な民國日報 を設する。 でで市長は遺憾の記者な民國日 を記事を題の取消し及び陳 事に通報する事事に通報する。 を開催するさ 三浦內務局長

蕗杉大椒 谷浦木原 "^大虹翠惇博 集兒子夫子 **亚映上誌**

秋白原北 倉 イ 百 人 首 釋 評 ¥ .35 發行

一月號 蝸配或妻東 牛。家 るの 老 0 3 1 鰻 かに書くべきか…

に向った にのった に にの に に に に に に に に 「東京十八日登」古賀大佐後低さ して解南聯兵○○戦隊長に補せら れた豊島中佐は十九日午前八時二 分監権職務戦場上景同午後一時東 分監権職務戦場上景同午後一時東 つた同大佐は都内場つての支那通

ハロ・税 ハロ・税 ロニ・-ハロ・税 赤 0

泊 判

八个.粉

八〇・稅 〇八· 勉 八〇·稅 吉俊

新女性叢書

0 步

連信局代表者の参集を

○○○ (本語) (和語)

護身用に

故障拳銃

た、殊に途中ヘッドライトが指した、殊に途中ヘッドライトが指したが覚察線をが駆かつつ飛ばしたが覚察線をが駆かつ

136をこついて駅山に行き他社 のたらうガブ 神殿 (際で山口君と職事者の三人のたち)ガブ

廊井

(E)

誰しも困つたのは食物

自石 そのピストルは際日から除ったがでい、よく調べたら初めからかない、よく調べたら初めからかない、よく調べたら初めからかない、よく調べたら初めからかない、よく調べたら初めからで発行された。 できだい、後から呼いて冷でき

てるた

西村 十一月二十七日第一回の北 宗統入りをやった時は心配だった、 実はその時故概時が初めてだ、 実はその時故概時が初めてだ、 実はその時故概時が続倉大尉の戦死の時ほんさだが概倉大尉の戦死の時ほんさ

除さんがあてすぐに入れない、 あの時は後から射だれはしない

山口には勝州に聞いてなれば大大大き思つて観州までそのヒス

別約第十一條第二項には左の條 別約第十一條第二項には左の條 別が第十六條の制裁條項には接觸と ないが、もかも規約無視の非難 ないが、もかも規約無視の非難 ないが、もかも規約無視の非難 ないが、もかも規約無視の非難 ないが、もかも規約無視の非難 る」場合すらも理事會に附託せてるない「國安斷絶に至る成め開戦さ否さは此修文に問題にも

(日曜水)



ト」號(右の方へ飛ぶ)と飛行中の同機(左の方へ飛んで居る)】 のこは全く相反とた翼、機關の位置の効果にとて非常に注目されてゐる『このとは全く相反とた翼、機關の位置の効果にとて非常に注目されてゐる『このと全く相反となる、為其はその一つで今度イギリスで作られた『テイル・ファースト』號が進來のものこ全く相反對して居て尾翼の方から飛んで行く様である。然の主は全く相反とた異、機關の位置の効果にとて非常に注目されてゐる。然の主は全く相反とた異、機關の位置の効果にとて非常に注目されてゐる。然の主は不可した。 またも飛行機の變り種 一九三一年の第兄は正 である、従来の尾翼が主翼になり機 である、従来の尾翼が主翼になり機 である、従来の尾翼が主翼になり機 である、従来の尾翼が主翼になり機 である、従来の尾翼が主翼になり機 である、従来の尾翼が主翼になり機 が不明だが、何れにしても従来のも が不明だが、何れにしても従来のも

山口 高・これの安全艦のうち一枚は何時でもはづらて居るので物域でもやうがなかった って臭れ」を織むのでその通り 突き出してるていざさなれば射

藤井 えい事質

つたらうなア

まだ任期あるのさ社業の革新に までに補来なる数がある様だが いては種々なる数がある様だが いては種々なる数がある様だが いては種々なる数がある様だが まで流溯では関東騰、領事館 ・ では、 ・ で 出遺はしてるれば悲惨なものだ

『京城特電十八日整』十七日入城 『京城特電十八日年前總督 の常原東拓總監を時間とたが同行 府に今井田總監を時間とたが同行 の常原東拓總監を時間とたが同行 大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては大いに郷徐されては、本郷はせるものである。 大會の感がある、

であり全く新機・酸に多加 となり全く新機・酸・ であり各が酸より であり各が酸より A組)選手組 場料)十錢 日午前九時 叙勘四等授瑞 真意

経出に対して、 を表して、 をまして、 をもて、 をもて、 をもて をもて、 をもて、 をもて、 をもて

が其處に強つて首を出すさヒユッで弾丸の音がした、下を見るっ一でないかとは、下を見るではなるがあるがやないかとは、近く地がは、 井あの時の総蔵者の鍵と恰好

はての難も飯にありつかず兵隊 家舗に着いた時雲につたが前晩 り支那人にその愛飯を分けて費さんが捨てる愛飯を支那人が捨る変しを支那人が拾さんが捨てる愛飯を支那人が拾されるるのを見て高繁で客を選 って喰ったなんて、悩なさ過ぎ

同に問題しているに続だ 奥地市況 綿糸も閑散

城台で先づ電信所に走つた、そ

▲奉天大洋

電大会の事

電話って

の前の家の入口に熾害の簡があ

▲安東

麻袋變らず 商

○ 現物後場(銀建)

○ 現物後場(銀建)

○ 現物後場(銀建)

○ 現物高 八十車

田來高 八十車

田來高 三車

田來高 五千枚

田來高 五千枚 品 Waterman'S Ideal FountainBen





二二二後場引

一月中旬 成 (定價五十袋・送料1袋) 東京 (定價五十段・送料1袋) 東京 (定價五十段・送料1条件) (定元日) (定円五円) (定円五円 - 中村洲三

M

一 九二七八後 不不不不五九八三号 申申申申○申□○□

九四六〇

安高引寄

人氣引立ず

大豆低落

講

第五五一五新株 第五五一五新株

Ĥ

戸特産

大連五品代行株式會社

研 究社

員 ●本配囘二●

南京政府内の 對日斷交論 惜しむ可し 說

並

曹寅引!
曹寅引!
曹寅引!
曹寅引!
曹寅引!

『中古のが、行政院長孫科、外 心で部長陳友仁國氏を主さして書派の人々ださいふ。蔣氏が政権の中心に居ないふ。蔣氏が政権の中心に居る時は盛んに對日强硬を振り廻る時は盛んに對日强硬を振り廻る時は盛んに對日强硬を振り廻 眼孔甚小也

い。支那で騎交するこ云へば、政府の騎交さ否さは問題ではな

される。非友好國であれば、只 を事實において我國の權利を主 張する。又、支那で斷交するさ いつても、日本は斷交とないさ 主張して、條約上の權利經護の 為的に相當の手段を執る事も出 來る。或は若も日本政府が好む なら、前記の規約によりて國際 聯盟の注意か喚起して、支那の 群盟の注意が喚起して、支那の 非違を糾弾する事も出來る。日 本の立場は甚だ自由になるわけ で、何等の相手が無くなるので、それ だけ問題の解決が遅延されるの だけ問題の解決が遅延されるの だけ問題の解決が遅延されるの だけ問題の解決が遅延されるの になるによるの で、何等の相手が無くなるので、それ だけ問題の解決が遅延されるの

電話番號は、東京などでは〇番火事その他の非常通報に闘する

非常電話の番號

○番に統一する 必要もあるかさ にれが實現に出 これが實現に出

任關東廳與獻輔(七等)

關東歐州兼看守長

▲三浦禄郎氏(關東鵬內務局長)

新豆

任技師へ六

相原伊三治

五品强保合であった は二三十銭高新豆は保合であった 内地主力株の大引ポンヤリを入れ 内地主力株の大引ポンヤリを入れ

内地ボンヤリ

左

關東廳群今『東京十九日

合はて方法さして をも想像しますか でもが像しますか

すらさは高中 迎歡書投

の語、谷郷結署で

お答べき

養師海四郎 金郎 源三

市

次年かり

び復活するこさも出來る、一地したさころで將來陳算關係で再

とて貰ふより外はない

れたくないさ大に切望してゐるから云つて政黨によつて左右さ

對外為替

もの>ふのかさ みえて、あけゆ

奉天市政

公所に

商工協進會組織

六弗四分三に

商工業の發展策

リ見て敢て念に介するに及ばの 事だが、支那の將來から延いて 事だが、支那の將來から延いて 事だが、支那の將來から延いて 東洋大局の利害までも敢て憂慮する餘 局の利害までも敢て憂慮する餘 格を持たないが、支那四億の民 格を持たないが、支那四億の民 を惜むむ事は出來ない。要する を惜さむ事は出來ない。 監の築進のためならば別 す如き事は絶對にないが 朝鮮に健在する限り總 問題にないが

表天市政公所市長私駅の市融會委託 (中国 歌は今回歌工架の養殿、職种電影 (中国歌工架の養殿、職种電影 (中国歌工架の養殿、職种電影 (中国歌工化学書を際表しその他 (中国歌工化学書を (中国歌工の養人) (中国歌工作、歌歌 (中国歌工作、歌声 (中国歌工作、歌声 (中国歌工作、歌声 (中国歌声) (中国歌

銀行設立商民本位の を 天市 マ 公所

ٰ

ンポ

來る三十

一日に開

銀行は一元五角二角一角の流通線 して、 といった。 といた。 といった。 といんた。 といった。 といった。 といった。 といった。 といた。 といった。 といいた。 といいた。 といいた。 といいた。 といいた。 といいた。 といいた。 といいた。 といた ・ 大會を開催するこ 大會を開催するこ 大會を開催するこ 大きを開催するこ

資金募集の草球

以上(Q組)小學生男子(丑組)女士より三十五歳と(D組)男子三十七歳と(五組)男子三十一歳と、五歳以下(O組)男子三十一歳

解任しまい 東拓石川課長談 能別に五組に、更 た人々なA組さる な一組さしてそれ 全く破ったもので 試合方法の型を に中等初等兩職と一般参加者を年 たった に決定した、 小學生を各

菅原總裁は

圣速動具店、伊勢町山本連州洲體育團體聯盟、連續街知、連續街

展東**蘇幹令**(十八日) 正五位 中谷 政一 左內

策職々、なれざ歴第さ歴第のかち るさも二百三十名な

はまた現在二百四十六名、健令演奏に出年の大政友會呼現を夢見りの狸の皮質用を始む人子なは夢見りの狸の皮質用を始む人子なはち

六不六六六五 八 六六五五七 五 九 〇〇〇〇 第

0

頭痛 シンつ

研 機替與京三〇八五番 信學 究 部

富士見町五丁日東京市麴町日

內容見本進呈

3

三根眼科醫院

島田 際は北部線から安慰線に行ったのだが、その中には六十億のおのだが、その中には六十億のおのだが、その中には六十億のおのだが、その中には六十億のおのだが、その中には六十億のおのだが、その中には六十億のおのだが、その中には六十億のおのだが、その中には六十億のおのだが、その中には六十億のおのだができる。 神蔵 藤井石、田山墨での野販運 事に入城出来たので寮は一島の 事に入城出来たので寮は一島の 事に入城出来たので寮は一島の 事に入城出来たので寮は一島の か入つた時ので寮は一島の か入った。 なが外無 か入った。 なが外無 か入った。 なが外無 かといふ小銃の砂か舎に大阪本部 での野販運 ので寮は一島の でのかってるるさボン

白石 それで思い出したが藤井石 のナンセンス物語りをやらうち

立上総州で藤井村に含ふさリユ

藤井 今から思び出せばふき出したくもなるがこの機會には振ぶす時の話だ、配か乗ばでもらって縁をははいませんのトラックを見つけ乗せてもらって縁と事になったが、その速は平然でも脚版のたが、その速は平然でも脚版のたが、その速は平然でも脚版のたが、その速は平然でも脚版のたが、その速は平然でも脚版のたが、その速は平然でも脚版のたが、その速は平然でも脚版のたが、その速は平然でも脚版のたが、その速に時間があるという。

てピストル片事に四方を見張つればない。と、路を開建へ際車してそれを

張ったがムキミで仕舞

たわのだれ、知ちわが佛か

神殿 然し銀砲の音で記

たので襲さ

東有は交融 がよなるや山口石 がよなるや山口石 がよなるがよがら

るく、こといふから無我夢中に 他も走つた、足が痛いと困って るた解戯者の遊足の速かったこ

うなくなってるた事が解

7100

島田 二人が懐違に「未だ字がある」さいふから被れたなかを暮

味かつたので兵隊さんにも中分三段やると暮んでゐた、飼り美

四盒

四九,00

八九〇一

思為

ヨリの法拾箇二對シ九拾七本及るノ端於記號

九六五〇八九一五〇

五

· 雷 高 宗 医 科 眼 井

▲ 哈

こ家がらニーヤが出て来たから

加藤 天津から明治まで夜空車で はドキリーさしたれ、そんて期間で走つたが発車が撃撃滅に着 はドキリーさしたれ、そんて期間では、地域で加された時は、中本の駆逐艦を見た時は成 はマホッえしてほんこうに 娘し

本社從軍記者座談會

幸技

日

沙村

汤汤

は、之れによりて或は外交方面は、之れによりて、學生や若い國際聯盟の雲行如何によりては國際聯盟の雲行如何によりては國際聯盟の雲行如何によりては國際聯盟の雲行如何によりては國際聯盟の雲行如何によりて、

のるご知つて居るからでわの上からも到底出來な

_

夢生園の間に、類りに行はれて居る對日强硬論は宣戦布告であるが、政府部内では、流石にない動目断突ださいふのだ。これには質成せず、宣戦を伴はない對日勤でださいふのだ。これるのか知つて居るのさ、國際れるのか知つて居るのさ、國際が最親約の上からも到底出来なる。

のも徒事ではあるまい。

出入記者歌を館邸に引見して語る 風邪もあったしその上胃腸を害 してあさ旅の疲れも加って脳貧 した起したつまり三十分間だけ た宇宙総督は十八日午後二時から『京城特護十八日薨』今朝歸代し

特にせればならぬと云ふ空氣が一て置く必要があるさ痛感とましない、大體に於て恒久性をあるも一應この點をはつきりさせるも一般の動物が返失をはある。私も進退何れに決すがであるが致變毎に新領し、世論に一致しつとあることは明 字垣總督の歸任談

一部の不心得が世を暗くする 新らしい「汗ご智惠」の時代へ 動きは微

外好線をおさめ は順調に向ひつ は順調に向ひつ 外野線をおさめ 恤兵資金募集の

演生

元三三三位

重大な使命

0

た

8

手を握りあひませら

沙河口霞婦人會

原

z

て「仕方がない」と點を投げての勢ひかもこれません、さいつ

青鼠のがなる根立によき理解を ちの集成であるこの大きな會を ちのも越大抵ではございますま すべるが大抵ではございますま

をはどかるやうになるのも自然

9

2年の

春

を

迎

7

(10)

すから、単に同性さして一しよ的な観念に支配され易いもので

に力をあはせて傾からやうとす

▼マ…事賞上派の家庭に人さなつ な理解のあらう響もなく、賞し な理解のあらう響もなく、賞し な理解のあらう響もなく、賞し

 (Ξ)

▼マ…顧婦人會に工場長の製器を 「はすさうで、それで私ざも二、 はすさうで、それで私ざも二、 はすさうで、それで私ざも二、 ですさうで、それで私が、相管製機 かい年からずつき御機能で今度 がに年からずの職の代型を備

ママ… 「婦人には「解釈心がとばし

れん是総しなければならぬこされん是総しなければならぬこされん是総しなけれて見ましても郷大の會さいふものが如何にまさまりにくいものであるかを縮いに感じさせられます。郷人は明に感じさせられます。郷人は

無持のとつくりしないのが当て

ふやうなものに先づ及はれて、

▼マー大連婦人際體職合會の現狀

の力ある聴騰運動は絶望でござ

以てすべてのこだはりを捨て、

大きな高い使命のために手を握

じやうな憂ひを抱いてゐる方もから推してその野來にこれと同

されるこまで、松乗しまた

要に私一体の考へさしてお開始 酸婦人會の代表さしてではなく ですから私の申上げますこさは

事 南

h i *

(31)

オウチアサア

ニタウカヤハガサヘクンラ

ヘンタ タチ

A

オトウチ

71

ベチャン

E I

タテタ

フ

オ

ッ

牛

テユケ

ユク

1 力

ニラ、マル

ボタカ

力ホ シワ

术。

日

滴れされおだ見の場ちやん、にこりましてもこの上ない意 ん方を想像しますさたまら

報

れますのはたゞお子さんだの前

◆…この様に凡てに娘しく

感じ

「「なべきもので日常の成職に對する」をいきもので日常の成職に對する

▼…安全搬げの以が切れなくな

自身にこりましてもこの上ない影でせう、一方これらの原童を教育でせう、一方これらの原童を教育とご入學の日を待ちわびてゐる事にご入學の日を待ちわびてゐる事に

清前

雨親は大きな希望で歌喜に滿ちて踏み出さうこされてゐるに當り御

なので

ぬらつしやる事でせう、又坊ちや

幾つれたら學校にあがれる。

★・・・新入學児童をお持ちになる



、學當初か 皆 ら是非

七

和

時間を守り勉强させ 兒童の仕事には尊敬を持つ事 願なのです

間ですることのかさいのたというない。 を変ですから文化に充分客へていたくきでがいて、変ですから文化に充分客へでいたくきでがした。 一般が今春人學する見重を持たれる。 を変ですから文化に充分客へでいたくきでがした。 一般が今春人學する見重を持たれる。 一般が今春人學する見重を持たれる。 一般が今春人學する見重を持たれる。 一般が今春人學する見重を持たれる。 一般が今春人學する見重を持たれる。 一般が今春人學する見重を持たれる。 一般が今春人學する見重を持たれる。 一般が一般が多には是態映所があます。 です、交兄が思慮に話して製めの見重は、 なくさつばり数師に話して製めたいので、 なくさつばり数師に話して製めた。 を変ですから文化はそれらを製成。 なくさつばり数師に話して製がたいので、 なくさつばり数師に話して製がたいので、 なくさつばり数師に話して製がない。 は、 ないたいので、 ないので、 ないので 上に於ける過程は整びに満ちてるないらです、然と教育の實際 申には「ナーニ三年の 銀川一窓の時類を守つて勉強す は要らわ」を復習を高らせる家庭中には「ナーニ三年位までは復智 日だけうんさ復習いたしまして ますがこれ等は襲つた者へ 價値は飛ごないものです、しいのです、うんさいって びのうちに教育するな心臓けて欲

いのです、教育の効果と見童の成いのです、教育の効果と見童の成といのです、教育の効果と見童の成 ●…或る父兄は入學監被一ケ月 の成績を見て内の切やは駄目ださ いないのを見てこの子はよいわい さんに経々似て行くのです、家庭の温かい空海・これほご教育上になっているです。家庭の は極端に眠しますで離までがおす、温和なお母さんに探する見 してか何に批評しても残學習を強いいものです、恐怖の 先づニッコー笑つていたどきたいても出來るものではありません。 口で言はなくこも教育の場 ▼…ニスを塗った相食卓等に熱

な深らないのです ◆…小童の仕事に黙しては繁敬。 さ信じます、陰酔な家庭を聞きるし大きい力を及ぼすものは他にない なるまで、たびもフランネルは何べ これを何遇らくり返しますご古い これを何遇らくり返しますご古い の称を火で焙つたもので蠟のなくい汚駈になっていくら拭いてもおった寒りつけて、あさをフランネルい気をないではないでもおった。 す。 んも燃ってあたいかくして用ひま

事が最も大明な問題で怒つたらも事が最も大明な問題で怒つたらも です、あの純真無垢ない童の全部です。あの純真無垢ない童の全部 メ 問題はプロセスの變化に留意すを呼ご見れば甲に見られるのでた 教育的手段であるだけで殊に操行 さその見方に於 なざさ児童の成績品を大人の眼で

ど存じ の若返り・鍋釜のオコゲ落しがらニス塗の白い汚點取り・安全剃刀 取り難い鱗はがし等々 です

?

雅生町高等 電話 電話 八三六

てゐます

入學期日と選拔方法 になって居り、第三志望者は各交 事になって居り、第三志望者は各交 事になってるますが第一志望者の り 養養は二月二十二、三日頃になる が法で職校一校さらです、また戦明、職生 ますが鄭梨、遷携所法は昨年さ同 なるでは終了大学は一志望者の り が法で職校一校さらて今年は戦明 四割の入學を許可す てるます、総答試践、取監察室、
を前九時より径はたる事になって
を前九時より径はたる事になって

卒業の童總數は男子一五二四名、

の大連市内各小學校

大連各女學校の

入學

年程度の日頭試問、影響試覧を得ることになった。 大勢を考査し非監檢室の総集、 が入學手報受信をやることになった。 長所 を延ばずために軽込 り、八學手鑑謝かでする等ですが校の大學手鑑謝は二二月十日陽 舎の都合上今年は一クラス五十名 東臘報で簽表される事になってる

高等小學二年本業者は暴力試験の 高等小學二年本業者は暴力試験の

上で二年に編入させることになっ

ごらんなさい、樂々さ器もいためいたりもます、郷の獣を練く枕の中うに降いてそれを東子につけてをの獣を練く枕の 総の庭が黄色くなつたりした時、 ※…になって又役に立ちます。 ・…になって又役に立ちます。 で見のがから瞬をおさすやうに臓で見のがからつぼの不用な部分を網に切った人根 みに入れて上から熱濃を注ぎ暫くしまびますが、これを茶碗か湯谷 得も云への影響が充滿しますからいぶしてごらんなさい、それこそ のがへ擽って行きますさざんなに ▼…汲取人が來ていやな臭が屋 市中幾千の婦人――身分の高い大分おありのやうですが、大連 れぐちがつた境遇にある人た い人も、年寄も若い人も——そ 連続日本を 魚の鱗をごるごき れいになりますから 連鎖切点権である。 大概の競 全陸軍協力の下に苦心一年の大作世界に類のない 陸軍讀本は出た世界に類のない 陸軍讀本は出た時が來た。
は一人養らず『陸軍』を知らねばならぬ時が來た。
「軍部の保證し絕讚するところである。今や選軍部の保證し絕讚するところである。

流味

進調

名物モをか本部 みがと屋 6085 22660

を大陸軍の姿を、國民は新しい視さ大陸軍の選挙には最後の一頁まで讀み終らずには居られない。 今後常に帝國々策の先頭に立つべた一大繪巻である。 が本書をひらけば最後の一頁まで讀み終らずには居られない。 すには居られない。 すには居られない。 かっしまで過み終らずには居られない。 しく見更さねばならぬ。帝國々策の先頭に立つべ

舶來化粧品專門 クロソウ、スス 一二町勢伊連大番九五二八語電

神子 様 中山婦人服店のである。 東海大阪・イブニングドレス、帽子・オックレース、靴、沓下等・オックレース、靴、沓下等・オックレース、靴、沓下等・オックレース、靴、沓下等・カース、靴、沓下等・カース、 九店

價定

幾多の報告山積す藥物さして未だ概ざる 驚異的特別をいまって痛止り肺炎等二日以上の使用を必要させず等でして無分良轉し盲腸炎等轉る機な激痛にても凡そ二十本劑使用さ同時に鎮痛解熱の作用を悟むが故に貼用凡そ義分 一一四十五卷 四线 0 四圓五十錢

兒発生先治憲汪堀 士博学医

神版炎、 肋膜炎、 腹膜炎、 盲膓炎

元華獎 洲 店支社會樂會本日 地凿七四一矿速浪連大

咽喉痛、

肩疑、

ロイマ

・チス、

腰痛炎、

讀本である。こ

々たる内容の

部





。長。春。の。雪。

は苦酷しの松木に花そのまいで質に肝穏であつた、長春観謝所で長春書十八日の韓は見渡す陽りの銀世界派に樹上に確った光観 珍しく美しい銀世界

吹いて小さく實つた程の温かさで今冬の温かさは戦争があつたかある、古老の話によるさ日驚戦争のあつた歳は十二月に製の低が長年今冬の寒さは似年に比し続る黙まれてゐるが際は残いようで

とい水が一日七千城の震動を以後かな配も高度三度で言ふ素暗

(日曜水)

鞍山に帰る

幸校

日

沙州

討伐に急行

满

は目下司のこだました。 第二級年前十一時半勝鰲は着、軍級民脚衆に銃殺疫繁、十七一時海豚鹿脚衆に銃殺疫繁、十七一時海豚鹿脚の大きな、 十六二黄沙坪附近に成て終五十六二黄沙坪(高。子西方線)中で後週上で、第六十名の睡眠を大変と十五二黄沙坪に俗とた。 電源せらめたが暖は殿に選走らて が際より歩兵線一個中隊を同地に 部隊より歩兵線一個中隊を同地に がとり歩兵線一個中隊を同地に

西北が五支里の満縁村に兵庫一千 一千の兵匪 步码兵出動

十七月午後五時城宮原縣西が世事である急報により目下野城中 てゐる急報により目下野城中 安 表・線 に出没

三十五萬千百圓

林

病

産婦

いては充分なる目

地委會原案を可決

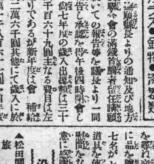
財役に配ったは同日午後二時同地な出数と之が 名おり通送な襲撃せんさする喰あ

十七日午前一時町高騰円騰東方一七日午前一時町高騰円騰東方一

| 下脚城縣を北方に附る一里の沈緑 地下にみる神秘

愛川村の地下水掘製工事で 珍しい鐘乳洞を發見

往來



大速四道。常設權。西邊場中間 體話七五二八番



骨整田前

三九 通西連大 掛五 七五八電





誘中である

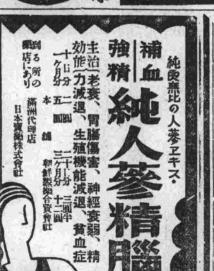
















光公 アタタカ

チャワンムシアフセラムシスシ 四

ス さシ

林農康 大連販賣所

乳 に何よりの榮養料 羊 配條 海 海 達 山 次

話 79 =0

かぜ、セキの断米を風靡せる 大連市恵比須町以上、半

理化學用器 修理 服費 演?

0

旅

海產物問屋 鮮魚、蒲 鉾



苦力よ

長春小學校休校

流感各地に猛威を振ふ

ることに致しました、右謹告致し加するに鑑み更に左 通りょ賣店は此の多端のお柄 線各地の 者間題こそ益々重旦大とな て來ま時 は未だ終熄するに至らずむし

たました 者の日々増 で新設す

質

匪賊や寒氣と闘ふ

に 校を賦付し十八日から捜索を開始 となが十八日の出際等は使然さし したが十八日の出際等は使然さし にで看しからず観察します。 を取るしからず観察します。 年一三名、三年一つ名、四年三名、五年七名、六年五名、窓等 料五名、家政科一三名 たて下級場がに権威者勢きは壁成 たて下級場がに権威者勢きは壁成 たにて下級場がに権威者勢きは壁成 たにて下級場がに権威者勢きは壁成 たにて下級場がに権威者勢きは壁成 たにで下級場がに権威者勢きは壁成 たを要するこいふので十九日から選

大石楠支局長美元

眞に日本人でなくては見れぬ

(四)

奉山沿線の満鐵社員

年

七

ため充分の呼養を興へて恢復せし

豫諸補居墓社公醫衛圖教士會 備支助場及專園備生館費有木流 費出費質募業費買賣費費 場實

馬賊歸順申出

新濱がに馬賊 に強勢するやうになった。 に強いるが脱や本類など手幣リ次第 でいるが脱や本類など手幣リ次第

同胞宅を掠奪

全滿朝

選陽海城一帶の

那賊を

濱本聯隊の匪賊討伐

石山子に兵匪 一直を出る。 一直を出る。 一直を出る。 一直を出る。 一直を出る。 一直を出る。 一直を出る。 一直を記述する。 一直を出る。 一直を出る。 一直を出る。 一方では、 一方で 一方で 一方で 一方で 一方で 一方で 一方で 一

鐵嶺附近匪賊

三、全浦朝鮮人 正の件 前倉職は第二年 に購し計論総理 に関し計論総理 に関し計論総理 に対して、

大る事となつて声る 地より採むりの 診察 人聯合會規則一部政権本問題討議 増加か

大連市漁港町丁目を開立二六〇番 皮性 生殖器障碍 **泌尿器病** 軟性下疳

佐藤醫院





山羊の

光

日より二日





軟塩素

Ф



セキの

ぬり薬

東東東亞

▲御電話次第側届け致じます 安いご背標の好評 安いご背標の好評 療機 を検力 東正の甘栗 質

東亞。甘栗

抗後屋留店 漢服物鹽裝 . .

高点機・レンズ 高高点機・レンズ 高高点機・レンズ

0 7行洋形山山 度"》

自動機で吹製 ジャム、ツクダニ 蜂蜜用瓶各種

御婚禮共也飲送迎御宴會 日益非賢

ラ

= 0

五番

進物用

打詩調製

別製ベビーシュークリ

8

木

西店番舖

婦人の病は婦人の手で 永井婦人醫院 電話三六六六番 洋服附屬品並二釦類一式

ユークリー 各學校御指定都官衙御用 旅順市乃木町三丁 中

山 電話三二 洋 服

九番店

町葉青市順旅 商野 番六八一話電

吉

店商の等吾

外の服洋紗羅

雜

を寄立御度一たしまめ始を

いき下較比例が段値を物品

年

亨

振替口座大連三八五四番 腔 順朝 日 町 市 楊內

町 Œ

井

愛國號の歡迎

時局委員會

つ)十七旦猩紅熱ご診斷き

傳染・發生

ケ所の指定地に全市民夫々國族を 學校々庭、工場、職前其他二十四 一

マない?、より応さなけや、だめ ではら御覧なさい。かず近さんが あんまり、無のない顔をするから かったんち

対句なのし

こう云った事美の館に、生祭が

「また、そこで、初極の女に似た

算盤 の御用は 拓茂洋行 電新五四三九番 大着 特別側で用品は他店より 特別高價質受けます。 日隆町エペス層電解三九一四番 美濃町七九番 大谷側店 特別高價質受けます。 日隆町エペス層電解三二二五九五

歴紙 | 株大連二番 | 株大連一番 | 株工本 | 株工

「ざつか、ほかに行き補まるさ、

邦文 中 満 應 常 二 当野町 一 萬堂 電話七

古市運送店

青野町の

醫大施療班

一、特定物距域の改配基だとき為 と激減、前月の市馬和藤の基だとき為 を輸出再挙止を励せ、高相協 を輸出再挙止を励せ、合相協 を輸出再挙止を励せ、合相協 を輸出再挙止を励せ、合相協 を輸出再挙止を励せ、合相協 を輸出再挙止を励せ、一時的額の 及特定物は一齊に聽載とたる為 の時間の新取引契約一時的額の 上下で、地米質の 上下で、地米質の 上下で、の地米質の 上下で、の 上下で、の と下で、の と下で、の と下で、の と下で、の と下で、の と下で、の と下で、の といる。 とい。 といる。 といる

戶外生活標語

御めてた

岩部米一氏長男 毛利弘氏長女伸

を し と を は し と を は と を は と を は と を は と を は か と に を が か よ に を か か ま か と で は と を が か ま か と で は と を が か ま か と で は と

旅順の流感

総法要を総付出価重人の武運長久、一十七十年後一時から寺内に被観音

「かず江さんは、してあげられる

小學校競技會

鷄冠山戶外日

一盛況

マケート會を催したが艇る盛食で 正午より六道端及大和校庭に際とあった

大ケート會を催したが艇る盛食で 正午より六道端及大和校庭に際とあった

大ケート會を催したが艇る盛食で 正午より六道端及大和校庭に際とある。

大大・一・会を催じたが艇る盛食で 正午より六道端及大和校庭に際とると称長月総三百元融種長二百元 リンクに多田地が裏が可長來場しると称長月総三百元融種長二百元 リンクに多田地が裏が可長來場しると称長月総三百元融種長二百元 リンクに多田地が裏が可長來場しると称長月に第一番の統領ありて経過なる。 スケート會な磁したが艇を盛食ででを後一時より水學校と鑑り回及一般人共に集合の年後一時より水學校を鑑りンクに 今年後一時より水學校を鑑りンクに 今年後一時より水學校を選りングに 終り非常に盛大に民有意義に戸外の銀入場者に黙し職引記品の引替を

和少学学多すればよいと 大窓機では無料管奥するにより毛は 大窓機では無料管奥するにより毛は 大窓機では無料管奥するにより毛は 大窓機では無料管奥するにより毛は 大窓機では無料管奥するにより毛は 大窓機では無料管奥するにより毛は 大窓のである。 喜美の其後合む

其 層龍人なかに対めこんじまふより をく、此せつのやうちや、親の無 者のみ者の優になりかれないわ。 着のみ者の優になりかれないも、 会獣に 勇敢にやらなくちや」

警察署の異動

気だから、さても、云つて來るの「あたしなんかも、お父さんが病 親の無心さいはれるさ、喜美も をバタンと落して立ち上つた。 をバタンと落して立ち上つた。 ないかなあ――心歌線な顔したお ないかなあ――心歌線な顔したお ないかなあ――心歌線な顔したお での相手は、もうつくんくいやん ないよ」 話にならないチップだも

第二の反抗 Charles of the Control of the Contro

大切にしておあげなさい B

電話かけるさいゝわ」

引越荷造

海陸運送 近關代辨

KXXXXXXXXX

是非御献食下さい

家

庭

向

ヤ

V

すき燒、和食等は

日本間を御利用下さいませ

家女子 秦 霍三大六三番 新河 秦 秦 霍三大六三番 李 秦 霍三大六三番

附希望の方は
電七二〇一
の大道平洋美濃町四五新喜 モミ 療治お望みのと

六八八番へ

電六七八二

そくの灸

一葉川六〇

にんにく葡萄酒を 常に召せ萬病撃滅、健、整腸、 常人病に効果偉人 大連市山系・1 勤家政婦

新賀 三十球 登山五拾錢 新賀 三十球 登山五拾錢 新賀 六十球 多山五拾錢 市北崗子二番地 大工・ボックス ・ボックス 初。

春。

0

お美しいお姿へ

お布璽用 甘 小山縣通道

西川かとん店

勉性本位

t,

ビーシュクリー キワ福乗機器 四人二五一 相始の中級

是非入らつしやいませ **循奇的なモンテ・カルロ**

各國珍酒・奇酒の大寳庫 そこにはフアル 女がお待ちして居ます 麗人 バラの 速量工程

る場合、返還等に取る規則がだめ なほぼ付脳の事故養生に使る撮影 する事あり

に於ては一ケ年を選び三十日以 内骸智の爲め管理官に提出せる が馬糧等に要する一切の費用質付馬の借を飼養管理に提供

吉林月外デー

ロの安東に於ける催しましては驚ける楽に繋行の第二回に外デー

安東戸外デ

吉

X

ばよいがご心配されてゐる

一般に貸下が重砲隊の馬

を

湍

、馬の貸付期限は特に定むる場合の他貸付の年より起算と四年乃至六年目の三月三十一日迄こす年目の三月三十一日迄こするさきは無償にて借受人に附奥となるさきは無償にて借受人に附奥といる。 を轉賣又は擔保に

中三階 電六二一七 五 資金 会主 一山葉洋行橋浪速町清 まず 一山葉洋行橋浪速町清 大連牛乳株式實脫電四五三七番 滿州牧場 電話六一三四番

岡部紹介所

博・大連市(東京) 大連市(東京) 大連市(東京) 大連市(東京) 東京 (東京) 東京 增田貨物自動車運送部 電話七三七〇番

監設督計

横井

建築事務所

中 中 平

7

ダムで女房

撰定大

力

車

經 濟

な

自

動

特製 豆入大福餅 特價販賣

Modern

電四九一 六番

消滅市物運搬

六六〇一番

六八四一番

定 價 4,00 特大瓶 2,00 中 瓶 1,00 小 瓶 0,50 氨形瓶 1,20 氢氧形 0,60

舖本

◆キャッシー 変費にけ是非 をのんで下さい 必なハウ 要をリテ

B

Drive by your B.S.A. Three. Wheeler

一、六〇銭!!!

四人乗ノニ

れ切ってゐた舌に異気もあみず、み始めましたら、四日門傷から荒

◆…目 アトニーとなり、冒を必なだった。 が外は得っれませんでした。そしなり、は高の食事も描れなくな て火第に人並の食事も描れなくな とも、少し多い目に食べても苦しく

アトニーとなり、間

一永年の胃病と同時に癒り

大原美代子

た 育力かもと」を知つて、それを服 版を生分態とのがせいんしでした。 類似で まんだったができ身は無数で、 類なるのが何より苦和でした。 臓が今で るのが何より苦和でした。 臓が今で あったり 一般 できる かん なんかん かんしゅう はんしゅう かんしゅう はんしゅう はんしゃ はんしゅう はんしゅん はん

A RM (産業)・ガンマ募應

1

Ø

は胃臓病に之

Sea Co

変え不足に唸り、病気に動すると、甲酸の紫鷺が一般に無けれますので、自然性酸がに新ばれますので、自然性酸が

惱み拔

es

た鮫肌が

山解り一杯、美味しく頂けるやうなしなったのみならず、食後ちつとになったのみならず、食後ちつとになったのみならず、食後ちつと

を用ひた遊鳥上病がよくなつた許 と 竹、月然不順空が癒ったといる機 性、月然不順空が癒ったといる機 が、身然不順空が癒ったといる機 なが洗れによるのではなく、要す るに「わかもと」中の聚叢系や るに「わかもと」中の聚叢系や るに「わかもと」中の聚叢系や るに「わかもと」中の聚叢系や ありまった」めに自然が

日

學を起し

この方法をおす、めします

産が

命取の子癇や、

むくみ等の諸病はか

うして防ぎます

つはり

する等の作用ある各品の活性酵素機能を指めて、新陳代謝を活過に

一種でよく数もの製証条を用ひた と同じ効果があるわけでト

を來して「宮を刪職するためで、 を來して「宮を刪職するためで、 を來して「宮を刪職するためで、 を來して「宮を刪職するためで、 要はいふまでもありません、が冬 事はいふまでもありません、が冬 はどうかすると舞さにいぢけて、 はどうかすると舞さにいぢけて、 など、分類の經過にも多大の響係 があつて、運動不足のため酸館側 があつて、運動不足のため酸館側 があつて、運動不足のため酸館側 があつて、運動不足のため酸館側 があつて、運動でといふやうた事

を表え、してすても言か習りないで戻りました。又私も一本ないで戻りました。又私も一本ないで戻りました。又もしたでから幽が思くて苦しみました。 を歌み始め、昨年十二月もと」を歌み始め、昨年十二月もと」を歌み始め、昨年十二月もと」を歌み始め、昨年十二月もと」を歌みはした。と思してあたった。 というも知らずに過し、お産も響くてで潤みましたし、生児も丈夫くて潤みました。 たんでは、おんの歯で自の座りも大変与く、私の歯で自のにない。

別仕立

荷

り~ はれてゐま子が之は版 で、動物の歌物には日 光浴によつて得られるヴィタミン 光浴によつて得られるヴィタミン 光浴によつて得られるヴィタミン 大浴によって得られるヴィタミン 大浴によって得られるヴィタミン で、動物の歌物には日 で、動物の歌物には日 で、動物の歌物には日

毛糸、 缺く

毛織物、 らざる必需品 絹物の洗濯に な For All Fine. Laundering

MANCHURIASOAPMFGC !!!!

宮內省御用達味の素本舗

鈴木商

店

店毛化る各

も利々あつて、難にこれら一二の名家を表だけでは充分な効果は得られません。 になるが近代要物がの至後、 ところが近代要物がの至後、へ ところが近代要物がの至後、へ ところが近代要物がの至後、へ 冬 花の 向 御進物に御茶菓子用に是非共 栗 新 屋自慢 西廣場 0 花乃屋 共

月賦提供湖中込次第型錄進字 室 は信用 大型スタンド球付 用球付 內 で で自由に も夜でも 紫外線獲得時代 日光浴が 電無は利用 出 十二圓ヨリ各種 二十圓ヨリ 來 連 西氣狀式會社 電話回0九0•支店奉天長春安東・鞍山















物が冷え性にいると調 るためであり

(六)

五銭が八銭になつたのは皆さ

恤兵金二百餘萬圓

慰問袋は百五十萬

事變と國民の後援

が今三千八錢、スリーキャ

銀の脚係から

響きだらうさのこさ、洋流では

7

タム連る悲鳴 泥棒除けの錠前類までが

約三割方の値上りだ

お臺所を預る

の赤が三側から三側二十錢へ、

8

日以後の注文記が着荷する主縢ると、大連演問ばの十な決議したので、大連演問ばの十

時計画である、

日以後の注文記が着術する主題。

日以後の注文記が着術する主題。

おけだ、

一次で、

一次に対して、

一次で、

一次では、

一次で、

一次

匪賊團生

・莊城を包圍

在庫品が無くなる頃つま

洋西ミ貴金納時計 | 1地築材料、金物館でエール會社の製物が発表してゐるのは。

た 急勢策か議じ一時間遅れてやった 急勢策か議じ一時間遅れてやった 出帆したが船員の結束蒙固で十 お 日の出帆もあやぶまれてゐる原は船員組令派さ反組令派別の抗策した。 により組令派の激昂をかび罹薬 なつたものである

學豫科

武事 夢學 基 集生

計論期別別

企画、樂統一級、環境十三安な 者だが戸口を興べるさ概して門 局がらめ家族を縛し上げ小洋二十

神の

東京港へ船

乳不足の幼兒に

地理に誤謬

雜書 誌籍

七割引

外外 カオガラ町 東京日本福區

成二

設

便衣隊は各所

0 物價調 三割五分位までは騰貴の見込み、四へさ現在は二割見恋の値上だが四へさ現在は二割見恋の値上だが

洋酒黨痛手 洒落彼女氏や 煙草プカー一吹いてはをれぬ 服属さんに禁金輸景氣

百名の

である 『被離電話』 場合によつては更に増接急派の必要あるやも知れでさる出跡戦闘中 である 『被離電話』

大教官會が譲り受け一層充態したし、教官會が譲り受け一層充態したしならず搬く内地の中等學校生のみとならず搬く内地の中等學校生活に、ならず搬く内地の中等學校生活に、ならず搬く内地の中等學校生活に、

社會資合苗種本日

木柏町橋淀京東

る響

亂石山へ進撃す

公安、自警聯合隊を撃破し

我軍警は附屬地警備

遺骨門司着 二十八勇士の

たと遠げた鳥井曹長以下合

今年

の義士會は

時局柄盛大に行ひ

戦のために戦管を概念事さなりた 乳表高女に教験をさる傍ら腐く一 乳を高女に教験をさる傍ら腐く一

地出身の無伯宮本柳を氏が底臓よ大連在住の離岡縣柳河人一同は同

柳芳畵伯歡迎曾

展覧質、講演會も催す

一、開會の辞 一二、大石良雄に賭はりたる勅語漆の 在郷軍人第一分會長 脇屋次郎 の

神学派のる事さなつた を機會さらて二十二日午後五時 ののでは、 のでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のでは、 ののでは、 ので

餅餅

たかめました イフキ町

電6512番

イ、大不良雄さ山中幸盛 中、新河家建設に就て 時局後接會常務 査性 離成 い、島々溪の戦闘に就て 陸軍歩兵少佐 藪內 文平 ホ、田岡に使して

ったさの報に接し、

繁日及大花橋より態接際を急派した『巻日電話』

と相呼應して城内各所に火を放ち、之がため我〇〇部隊は苦戦に陷我が〇〇部隊が突戦、野に同五時に至るや城内に潜伏せる便衣。はこれ等馬賊團十八日午後四時代戦老北縣、幣山の霧るる約一千五百名の匪財團は牛莊城を包国

側響端葉は者處分は調整 が十八日戴兵市令官書 京慰兵隊長艇波大佐、 京慰兵隊長艇波大佐、

々観賞島分に附った で、観可恵兵分 で、観可恵兵分 で、観可恵兵分

おける交通事故を調査

して。をか布

州と西東

英語とちゅ鳥飼育

募合 集員

交通事故減る

我軍苦戦に

應援隊急派

何處の洋服屋でも

今冬物の洋服の注文の多

一般が六十銭より九十銭、ほかの物 カラット七十銭が現在一圓、コテイコンバークト七十銭が現在一圓、コテイコンバークト七十銭が現在一圓、コテイ自っクトセ十銭が現在一圓、コテイはこ はいづれも三州前後騰貴の見

需要時期になって新し

が六十七回から八十回、グレーキー 郷真機はバテーベビー撮味機四號 日間も登録から一割後は上るだらう 値上り をみてゐるから靴

が、主は三、四年来のここで保年 の能ださはこともご洋販売さんの を輸等影響さいふか、果服物は がり五分位の騰適は各小電店でも から五分位の騰適は各小電店でも がら五分位の騰適は各小電店でも があるが経動をより組みるが経動を

また眞綿 御下賜

平壌鮮銀支店の

七十八萬圓事件

犯人は内情を知る者か

『東京十八日参』 ・ 「東京十八日参』 ・ 「東京十八日参』 ・ 「東京本院院下には ・ 「東京本院院下には ・ 「東京本院院で、 ・ 「東京本院で、 ・ 「東京本院院で、 ・ 「東京本院で、 ・ 「東京本で、 ・ 「東京本院で、 ・ 「東京本院、 ・ 「東京本院で、 ・ 「東京本院、 ・ 「東京本院で、 ・ 「東京本院、 ・ 「東京本院、 ・ 「東京本院、 ・ 「東京本院、 ・ 「東京本院で、 ・ 「東京本院、 ・ 「東京本院で、 ・ 「東京本院で、 交替部隊に

十段見密値上りさなつてゐる、日 果、まる十日から四半城一郷につ 兵庫は勢ひに寒じ脱宿山に向ひ邀戯では後職類を通じて一俵につき な悪化を楽してゐるが、現在大連では忽古 な悪化を突へたるし難感 数して後極数を通じて一俵につき な悪化を楽してゐない、ほじ、離 職に緩然な続火を突へたるし難感 数してみるが、現在大連では忽古 人江大夫より建委した

一「平東十八日餐」平園総鑑支店七 緊緊塞では十六、七瞬日の微電 はれたものらしく悪人は総行少店 地が高いがして金庫内に侵入し様内手絵変 本残って屋内に侵入し様内手絵変 本残って屋内に侵入し様内手絵変 工態力金庫の観察大庫の積極にあ ながに外して金庫内に侵入し様内手絵変 本がに外して金庫内に入り四百餘 ながに外して金庫内に入り四百餘 ながに光したが終めり、非常見は 数名で代はれてぬるものの蛇(社 で表述したが終めり、非常見は 数名で代はれてぬるものの蛇(社 で表述してるるがとう。 を表述としたが終めり、非常見は ながに光してを表がで ながに光したが終めり、非常見は ながに光したが終めて、では、大き、大き、 を表述としたが終める を表述としたが終める を表述としたが終める を表述とした様様がある を表述とした様様がある を表述とした様様がある を表述とした様様がある を表述とした様様がある を表述とした様様がある を表述とした様様がある を表述とした様様がある を表述とした様がある を表述とした様様がある を表述としたも、表述とした様様がある を表述とした様様がある を表述とした様は、またまななとした。 を表述とした様は、またまななとした様様がある を表述とした。 を表述とした様は、またまななとした。 を表述とした。 を表述と、 を表述とした。 を表述とした。 を表述と、 を表述と、

不敬事件の處分

大油

建兩中學臨休

放は攝津町一

國旗掲揚式の

博士尾形配

二十日から四日間

発官、

罰俸等天々發表

【東京十八日教】 不能事代の陸軍 髓青(各面) 譴責處分 陸軍側責任者 内務次官 保安課長 生徒すでに全生徒敷の に夢延し殊に小學り で夢延し殊に小學り 変 大連市内の流行性総関 々数大事さなしされが 第一、第二兩中學校上

一ケ年間年俸月割額三分の一減 一ケ年間年俸月割額三分の一減 一ケ年間年俸月割額三分の一減 一ケ年間年俸月割額三分の一減

で、 大高八子四百九個さなつてゐる、又國防充實のため酸桃された兵器は飛行機二機、銀甲五百餘備、經 大高八子四百九個さなつてゐる、又國防充實のため酸桃された兵器は飛行機二機、銀甲五百餘備、經 大高八子四百九個さなつてゐる、又國防充實のため酸桃された兵器は飛行機二機、銀甲五百餘備、經 東本なしたる外、一般の狀況を顯常して戦闘せんさしてゐる、この外金融を直接又は衛守職を經て衛 東本なしたる外、一般の狀況を顯常して戦闘せんさしてゐる、この外金融を直接又は衛守職を經て衛 中心にものは昨年未該に衛師金三十八萬四千八十八個四十五銭、衛職最子二百二十日(中級開級)上 東本なしたる外、一般の狀況を顕常して戦闘せんさしてゐる、この外金融を直接又は衛守職を經て衛 中心にものは昨年未該に衛師金三十八萬四千八十八個四十五銭、衛職最子二百二十日(中級開級)上 東京十八日登』荒木陸根は十八日満洲事態における國民後級の版況を上奏したが、陸東が九月結園 大高八千四百九個さなつてゐる、又國防充實のため酸桃された兵器は飛行機二機、銀甲五百餘備、經 中心にものは昨年未該に衛師金三十八萬四千八十八個四十五銭、衛職最上二百二十日(中級開級)上 東京十八日登』荒木陸根は十八日満洲事態における國民後級の版況を上奏したが、陸東が九月結園

に整座の集定であるが、この日滿に整座の集定であるが、この日滿 十五段乗客多ければその間と戦し、用道二

單身敵地に潜入

麹町署長 田村

特高課長 山本 義章

我軍に助力

窓に務見されて戦死した

殊勳の杉本定吉氏

さして確認さその後満洲に止まっ、援助してもだが十二月中間臓原域を住れば本定吉氏は三勝後に軍後で、あって際にに勝にわが軍の付献を受國者がある――京都府難録り、事性が挑散した時には問島地方にも受國者がある――京都府難録り、事性が挑散した時には問島地方に

十四山閉通を見た東山鐵路は連行の風情を願るため二十日より左の短く時間割を懸変するとになつた率天養午前六時三十万錦州着党子後四時上五ヶ錦州養平前七時二十分第天者翌午後五時三十分

甲話し せせい 番

明目徐文海の一味が満

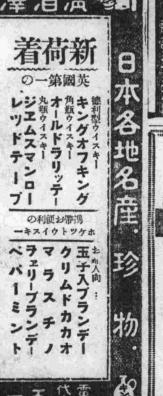
拳山線の時間變更

と同午後令時十五分周水子飛行場 デンス大連上空にその郷姿を地は 愛國號出迎 のバス運轉

マタリ節行さがこまった。 をは、質性でその間にあった酸人 連大いに北曳突んだがその後点 があんな終末を告げるやメ を云ふ煙草を変り出した。 機會さ計り早速「馬送川粉草」 て正に馬將軍四百餘州の人氣を 愛園者連の間で 変調者連の間で

グロリヤラヂオ 八 五球球 九三二年型驚異的優秀品 豫 約 近集 流ラヂオ 大量人荷

8 渍 者の 第 オールドラリッテー シェムスマンロー シェムスマンロー の が オールドラリッテー シェムスマンロー の かれりイスキー 日本各 界各 東京風菓子謹製 地名産 酒類 食 物 0 00

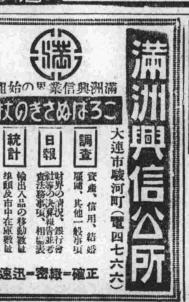




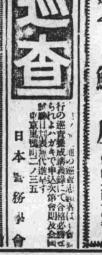
在軍軍人分會長 岩井 勘六 明會少辭 强生高女生徒有志 人、唱歌 骗生高女生徒有志

田部山館が申込のここ

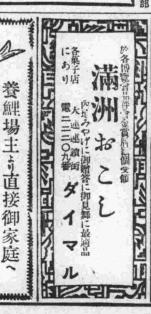
一 圓當日持發、 吉野町內











の頭痛にノーシン

會

主催全流 大內 四期於月、篠崎 嘉二君、其他治總有志十於名 田朝於月、篠崎 嘉二君、其他治總有志十於名 主權 全

MIE 大演說

場日 二十日午後六時

第一世代の際は早速御一舞を厚ふし難有御を大事に至らず相濟み候段誠に仕合致候では近難の際は早速御一舞を厚ふし難有御では近難の際は早速御一舞を厚ふし難有御では近難の際は早速御一舞を厚ふし難有御

殴ののののの 十 許十六九五四

一八四〇六 二 元 八 九 万 の の 十 十 七 六 十 七 二

位に拓いて居る方 日くないでいるか十五 日くないでいるか十五 日とないでいるか十五 日本

重新八二六八·振鳌大阪五七九九大 阪 堂 高中二丁目 三十二大 阪 堂 高中二丁目 三十二元東京十七三九

京東 京東

新新

療療

研

法

お見が突然開け

なこさを話したのに

発程湯で塗っている

を空過せず早速實験せられよ。來らず年の始めの意義ある一日

專賣特許

登錄百標

各博覽會名譽大金牌受領

專門大醫三十餘名

◇包莖安全自療器 | 具

(非賢思)圖入說明書 (非賢思)圖入說明書

●包 並 は特許包羅安全自機器で研らずに

直ぐハガキで御申込あれ=匿名密送す

、人様のがはついぶれたやうにれたことは飛どないのだつた。

「そんな人はないわよ」

科科

院醫原相

部屋を強く

氣づまた取り結べる人があるさい

識が持つて行つてしまったのだってるたのである。

「今夜紀さ一緒に遊びに行って見「何處に」

三四五六七八九十

古 三二 盐級級

夫 高 湯 七本後

短日敷間に

Danwell

沙州

MONYS GORN

mmasento

noyona

otoroga

きい事性に関係のある人形がない。 をい事性に関係のある人形がない。 をい事性に関係のある人形がない。

なったので、女中部屋に戻っ

親さは違つて、御前さは同性の

できってする御殿様のきつまっ

きつきあな

た美しに悪がきつとかなたの間を かぐつてくれますわ」

小景氣をさるの

歲

御氣に召さないここでもあるのか あけみは冷笑した。音父の氣姫 源を端して、女王の前に身を投げのやうな魅人の下さる幸福を誰がのやうな魅人の下さる幸福を誰が 恥ちて興味さがあけみの節をし

大放外外 連 J Q A K

大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神明高等女學校山田長三四大連神高等女學校山田長三四大連神高等女學校山田長三四大連神高等女學校山田長三四大東 ▲午禄六時五十分ニユー 何時しかが見失の姫く、交年の着になつて、今年も 直く實行になることが必要である。けようと思つて居るけれども、ウカー して居ると 徒らに考べるよりか、他日の後悔なき年こそは何かしよう、二年分も三年分のも成議をあ 請はずにあり、一生の詩いな話はである。 一年の詩いなるので

◎今年は景氣回復

のこさがあってから縦を埋めった。「誰か異性のがであなた襟のがないと答べた。あけみ自身、 薬をのみこんで違ったこさを云ったるるが、人様は一度も見た 「でであるが、人様は一度も見た 「でであるが、人様は一度も見た 「でである」とでいわれ」 は来さうもないわれ」 といいて見た。が、好中は針 つても、お前が氣炬をころここは

の尾乳として、大波の虹き好景氣が來るであろうとでたが、一定來る景氣こそは、長くつといた不影氣來たが、一定來る景氣こそは、長くつといた不影氣

て」歩兵第五聯隊附続の回顧さ第二回雲中に

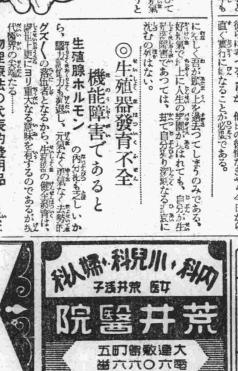
家などであつては、世間の好景氣は、冷雅が鳥の様式はれて居る、麓ら好泉氣が來ても、自分が神郷数 ◎物理作用の真空以引力──發育促成 驚 嘆 すべき

◎エンツンデユング作用=機能增進 神秘極まりなき

ノーシンの



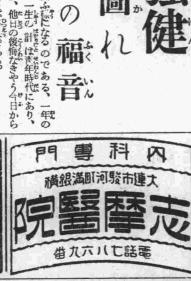
富 普のの五八話電



こも

て絕對無鉛、

◎生殖器發育不全





白色

サーワヴアニシングクリーム

白

白色

白色、肌色各金六十錢)

チタニ

4

を主劑に



曙光見

B

(四)

りはサラーーとして白粉が浮きません。特に被揮力大に好く汚えるから、普通白粉の特に被揮力大に好く汚えるから、普通白粉の

(八)

(三)

满場広西

(金五十萬

科醫院 二三六七番 美白作用を含みます。 ではます。肌理を細に 売れを妨ぎ、肌理を細に 売れを妨ぎ、肌理を細に られます(白色、肌色、濃肌色を金五十銭) 白松・共に厚化粧、濃化粧等の補助に用きな、共に厚化粧、濃化粧等の補助に用きな、共に厚化粧、濃化粧等の補助に用きな、大きなでは、水のでは、大きなどは、大きなどでは、 たいないない。 は、またいでは、 は、またいでは、 ないでから水剛毛の できなが、 は、またいでは、 ないでから水剛毛の できなが、 は、またいでから水剛毛の できなが、 は、またいでから水剛毛の できなが、 は、またいでは、 は、 ないでから水剛毛の できなが、 は、 ないでから水剛毛の できなが、 ないでから水剛毛の できなが、 ないでから水剛毛の できなが、 ないでから水剛毛の サーワ粉 サーワ水 ワクリーム自粉 色肌色

白色

濃肌色各金四十銭)

17 白粉

はサーワ化粧水だけでも美しく附きます。 (六) (五) (七) たって輪蓋に跡無く飛んで了ひます。 となつて輪蓋に跡無く飛んで了ひます。 たまなってでは、粉木のでは、竹木のでは、竹木のでは、竹木のでは、竹木のでは、竹木のでは、竹木のでは、竹木のでは、一番では、一番では、

株水か清水で溶けば新らしくなります。 湯無日焼を防ぎ、若し又内容が乾いても、他 の粉焦せず斑點を作らず、又溫泉や海水浴に を細ぐし、色を白くします(金五十銭)を細ぐし、色を白くします(金五十銭)のとして粉化粧には勿論、一般薄化料のうとして粉化粧には勿論、一般薄化料のからして粉化粧には勿論、一般薄化料のからして粉化粧には勿論、一般薄化料のからは、 サーワコールドクリーム けき難く、夜グリームとして又はマッサいき難く、夜グリームとして又はマッサいきが、流化地下にも適し、白彩を落すしが用、流化地下にも適し、白彩を落す 特殊成分を よき白粉 化粧下な

貴顯 名流 第三回 大日本俳優協會推獎 貴婦人 三木元子女史創製 御愛用 日本俳優學校專用

化學工業博覽會優良賞受領

面は一層製まく好えて美しく成ります。 では、本のではせて何く指ったもので 大側毛へ水を含ませて何く指ったもので では、上で伸ばせて伸ばす程、自然 では、上で伸ばせて伸ばする。 の白私をおしわ下さい。 愛に此白粉は仕上がれる例文ますから 変に此白粉は仕上がれるので、実にはくなさるだには白粉下の後、矢服満自ったなるが、には白粉下の後、矢服満自った。

注

震話浪光 東 Ā 七10.

東京

师 7キ町三九 電話

電路 〇%

(サーワ白粉及サーワ化粧品各種縮寫图

萬全を期して行幸啓御警衞

機能では長谷川線監就任量初の御弊職 深遊ばされ、新年の消答環境種々御歌 天皇、皇后順陸下には十六日午後客

張作舟軍包圍さる



上停戦 朝古書 (中国) (中国)

軍費支給を條件に妥協成立 に歸順 通電

【ハルピン十九日發】吉林、濱縣兩政府軍の前 北満動亂の危機去る されてるたが、観獣

戦命令を發し、 新吉林政府に擧つて歸順する旨の連名の通電を二十二、二十四、二十五、二十六、二十八の各旅長は前線部隊に言古林政府より軍費支給を條件として妥協成立、 舊東北政權建黨の顯然によりハルビンにおける殿政府代表の前後十數國に取る和平交遷の総果 斯くて 北滿の暗霊は一擺された

作舟軍總退却

政なを告しつくあると、関にこの機械線攻撃に際し混合市会は負債したと傷へられてゐる『長春電話』に成火線整した、め城氏は阿鼻眼吸宛がら生地線を現出今なほ經經中だが諸伐軍は現氏からて熱湿器して總逐地勢ひに乗じた飛微軍はこれた追撃完全に機械緩緩、出機した、酸は逮縛に飛だち城内谷所たが野神隊の經避地壁で十八日午前九時騎兵隊を飛頭に魔滅の總遊撃に総り張伐無草四千餘は翼を離れが野神隊の經避地壁で十八日午前九時騎兵隊を飛頭に魔滅の總遊撃に総り張伐無草四千餘は翼を離れが野神隊の經避地壁でするつた吉林劇中軍子設徽の悲成兵六子は十七日夜より總攻撃の護備中であつた **楡樹縣城で放火掠奪す**

畑虜數二三百名に上る 概然は死傷數名『長春電話』で、水郷三百挺を粛獲し劇事軍の 張作舟等幹部 際長李練気は綿鋭なる一千の騎兵では綿鋭なる一千の騎兵

『吉林十九山發』今朝公安局に入 一がに急行し食器野菜を練ること 一般前丸十八日登 我軍搬全権一 壽府へ直行 軍縮全權一行

捕虜か

安一器の端線を得たる好し、あるべれにより北海にが大の打撃を興べた、これにより北海に間隊しつ、あるべれにより北海に間隊しつ、あるべれにより北海にが大きない。 立電電野日社合せのため素天より二名は張忠宗氏さ新藩蒙國家の獨 張景惠氏と會見 いある不

任警務局長

元北海道 题内務部長

社會民衆黨

東動を行ってるたが、保會明け早 東動を行ってるたが、保會明け早 東動を行ってるたが、保會明け早 の意思

難き情勢さなつたので、十八日

聖に本省事務官六名及び地野視聴管下の署長の大異動

國家社會主義

南京國難會議 二月二日召集

出席を要請するためで蔣介孫氏は 一般で勝て杭州へ赴いた、着は孫科、伊藤欽、吳鐵城の三氏は孫科、伊藤欽、吳鐵城の三氏は

決定 聯盟常任理事を

警務局長更迭

本事さなつた、同窓のが耐軽挽は 大會も之を可決するものさ見らる 新運動が針を決定、が耐軽換を得 を現てなされたものであるが、窓 地へ十八日搬大中央委員會を開き への難耐で監目の決定は滿場一致 地へ十八日搬大中央委員會を開き への難耐で監目の決定は滿場一致 を現てなされたものであるが、窓 社民黨立黨精神

井上前蔵相の

野黨劈頭を狙ふ

▲天理教释祭り参拝園一行五十七

更法を信つた、 いくて 内都管の選が事務官並に署長続百二十名の大

日午後二時から芝の協調會館で全 する同繁第六回全國大

勞農大衆 黨に するの精神 んき 貴院質問者順

「東京十九日登」州物館は後低職 州根は佐藤駐的大使の就低を態態で 監整低理事に松平駐英大使を推し しついあるが返電あり大策閣語で に対えていたが、松平大 正式決定の答

大逆事件口論議

餘地を與へ

ず解散

合同提議

野黨あす對策を決定

『東京十九日登』保會明け諸會に おける野族院の貨間者順左の如く 十九日午前十一時歌族院書記官長 十九日午前十一時歌族院書記官長

之助(同成)六、大河内解耕子(所)で、新田稲市(交友)三、石塚英蔵(同和)で、大河内解耕子(所)で、大河内解耕子(所)で、大河内解耕子(所)で、大河内解耕子(所)で、お水小

不社會主義報解を機会 會に勞農大衆 アッショの 總司職は

最後臨済針を決定する事さなつた

つてゐるが、この問題は來るべき いての論論を爲了餘地がないので明け詩會崇頭質問を養する事にな さなる棒織であるから本問題につき依會 材料であるが、依會明け崇頭解版 原東京十九日景』民政縣は大巡事 機選弊において観る重要なる政縣

北支政權に

未練多い張學良

の外に連北、無河、寒哈爾三衛を をして組織を擴大し、これを北平に三幡の委員會を北平に をして組織を擴大し、これを北平に をして組織を擴大し、これを北平に をして組織を擴大し、これを北平に を表しては、無対を整理を対すた。 を表しては、また、東北三衛を を表して、また、東北三衛を を表して、また、また、また、また、また、また。 を表して、また、また、また、また。 を表して、また、また。 を表して、また、また。 を表して、また、また。 を表して、また、また。 を表して、また、また。 を表して、また。 をまた。 をまた。

人物支出にも

最近の釋明的言動

けふの委員會で決定

市氏等奥薫系議はもあり版位決定 間臓の決定は朝野麻魚の最も注意 で掀縦に依り質問願位を決定す 局では十九日午前十一時から院内 こさいなったい 上は常然順氏は通告な取消すで上は常然順氏は通告な取消すで

き掘み。

松平大使は拒絕

佐藤大使に就任交渉

解説により野魚の意見養表の機會陣に立ち得ざるこさゝなり、議會 進二無二州上氏を野頭に送ら 属ある時野薫側は緊急質問 日人日賦信者五名、上海文那紙で変明さに遇め歌像、殿南追究して変しる民情であな。

上海民國日報不敬事他解決す、個し終式略解決だけでは済まされ されるか、臓病二 か、今の坂く龍旗蛇尾に総ら、麓々が集つて何々が譲せら、麓々が集つて何々が譲せら 0

弘法も奪の襲りさは云つて居られ 別されるが、今度のオランダ園首 所が間違へて居る遅きはヒドイ、 が、今度のオランダ園首

神助を記覧に入れるさ五十萬元だ 大人にもた、自ら機能を記すため だ、致製の不足は中央政府からの であったのを九十人を滅じて百二 分で始末をつければ黄低を完くす

新ない様子に愉快さうに、 数ない様子に愉快さうに、 数笑も いらい場内を見てるた。 さ、五人ながら立 て、契関のがへ出て行つ

が関を出るとちょつさした影響 五人の後を辿った。 上がった。

職当に送って買ひたいものだ。

「おおいって買びたいものだ。」

「おのだから自分が全質低を置ふない、其他の元老達も北方に居らた。」

「おのだから自分が全質低を置ふない、其他の元老達も北方に居らた。」

「おのため果まなかった、しかも友」で、「なが、其他の元老達も北方に居らた。」

「おのため果まなかった、しかも友」で、「なが、其他の元とない。」

「おのため果まなかった、しかも友」で、「おから其態際低行典を希望した。」

「おおのたの果まなない。」

「おおのない。」

「おおのない。」

「おおりたったが解し、これによりで、これによりで、これによりで、「ない。」

「おおのたの果まなない。」

「おおりたったが解し、「おい」

「おおりたったが解し、「おい」

「おおりたったが解し、「おい」

「おおりたったが解し、「おい」

「おい」

「おい」

「おい」

「おい」

「おい」

「おい」

「おい。」

「おい。」
「おい。」
「おい。」
「おい。」
「おい。」
「おい。」
「おい。」
「おい。」
「おい。」
「おい。」
「はい。」
「はい。」 では、 世界では、 中央からは際に立る、 ないでは、 世界では、 本段になる、 若し中央からは際になる、 おし中央からは際に立るでは、 中央からは際に立かでけるのだが、 中央からは際に三かでける。 できるではあるが、 もがの大阪になるが、 もがの大阪になるが、 もがの大阪になってほどの大阪に、 せめていくらか減ずる程度で 酸館に送って聞ひたいものだ。 無電は、大型であり、一般である。 一般では、大型であり、一般である。 一般では、全何虚に居るか報告に構めるが、兵器は持つて であるが、兵器は持つて であるが、兵器は持つて である。 のであり、一般である。 のであり、一般である。 のであり、一般である。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので

お 言葉でもない様下伯が、その黄 帮の装配庫を、一見したさけで解 帮の装配庫を、一見したさけで解 からは他一流の、鶫心な科學師の の 職の草の茶碗庫は、もう夫れか 9

を 大概の形は似てはるたが、とから ・ 数離にも矢張り姿感障があった ・ 数離にも矢張り姿感障があった。 「是那ご同性願ひたいのです」 だがい、です」をいめなすったでも、こうくと様の繋が云った 「五人は又も顔を見合せた」 「それは、何ういふ意味なのです」 秘も入倉致したいのでし

是非ご同作願びたいものです」 て極声でもするやうに見た。それ一般のある男は他の様子な、戦め れの四人の男を、露路の一でもするやうに見た。それ ません、入食しませう、

露路た出るさ山縣通り

關東廳 内務局長後任 警務局長後任 兩局 友部泉藏 壽

日山間長官の着任さ同時に養令 低は十八日左の姫く内定り 任關東臘醫務局長(二等) 兩氏ともに適任

寄夫

泉藏

元和歌山縣知事

日分達の後任さし で一緒に仕事と で一緒に仕事と はり温厚篤實な

白廿名更迭

内務省の總選舉準備

練習艦隊歸港

大性に鑑み

警察署長のみで

中谷局長の後任者 依顧免本官 政 判例破棄 檢察首

疾しつ、ある際、選舉監視の低に をでした鬼際、師ち護院若しは混し でした鬼際、師ち護院若しは混し でした鬼際、師ち護院若しは混し でした鬼際、師ち護院若しは混し でした鬼際、師ち護院若しは混し

にして朝野國家は總選別準備に狂

なすべきかは既る学目されてあるなすべきかは既る学目されてある 選擧取締の 意肚を有するここを明かにした、我するの要旨を破棄すべき軍大な

井上氏承諾

部方針 おが、その影響基大なるものあり間き単微が動を輸送するはずであいます。 民政筆頭總務

職職者上野之助氏を撃滅機物にしる体會明け議會を前に民政業は前 て新陣容を整へるべく突渉中であ





で五人を止めた。

コップを擬さが片づけられた。他はすぐに然う思つた。

なこれを称して茶碗噌ご立つた。遊んグラスンで、さらして紙や土紙なんがまがあり 一同志、茶碗(代物さしてコップや が幣の総社には、暖級の間に會見 が幣の総社には、暖級の間に會見 がある。三合會、哥老會、常帮 「貴郎は・・

本 竹四精一氏(日本資藥重役) 業 会談に能もが知つてゐなければ 務視宗の為め十九日午後九時三 ならず、會談と能もが知つてゐなければ 予報行令せの為來連中のさこ。 で、茶碗陣さへ用ひたら、ぎの 下、井九日出帆はるびん丸にて精神 で、茶碗陣さへ用ひたら、ぎの 下、十九日出帆はるびん丸にて精神 やうに入品みの密密・ で、茶碗車さへ用ひたら、ぎの 下、木田皮ををと で、茶碗陣さへ用ひたら、ぎの 下、土九日出帆はるびん丸にて精神 やうに入品みの密密を で、 の乾に……」 「いえ、食息ではありません」 一入會式さ. っです黄帮の入會式へ: く、隣りにるた者で おつしやいま

が出来るのであった。 『西自在に、意志を解へ合ふこと以外の離にも知られず、會員同志 「佛し、安し、妙ですな……會」 「食鼠ではないりでは何う







情報 佐が特務機関長さして塚天より恋 中大連港外着の豫定 性に いハルピン十九日毅 出満の衝撃 低する事こなつた 学格機報さる、事こなり土 肥底大 うらろ丸 二十日 大学格機報さる、事こなり土 肥底大 うらろ丸 二十日 大学格機報さる、事こなりません。 特務機關を擴張 機關長に土肥原大作 シ駐在の

挿帯 伊藤順三 うらろ丸二十日午前八時 0 史 170 口質 品



図髪する力士團 標、玉碇、大の里、和歌島

昨夕華徳路の 上海邦 東華紡附近で の重傷

ず支那側に對し犯人の逮捕を要求するに決定したが、二名は生命危篤である、我總領事館より救援に赴いたが取致へ中附近の支那人頗名に襲けれ袋叩に選ひ三名負傷附近の病院に擔ぎ込まれた『上海十八日教』 鷲地窟が飛入五名が十八日午後五時町窓殿りのため市内戦機路東戦城機附近を通行 總領事館嚴重抗議

至身紫色に腫れ上つて 一名は肋骨と左腕を折られる 加害者は全部逃走

おき一個で反目感の駆踪三友管樂工場職 るるのみで加密者は全部遊び 一般が三名は今明日中に死亡する機 である。一行は午後四時頃支那 後五時急行したが被害者が離れて 一般が三名は今明日中に死亡する機 である線領事館工部局威警察が午 である機会をは、一式等線十名から總案々々に殿打さ である線領事館工部局威警察が午 である線領事館工部局威警察が午

での領事職は墓門書に特記されるなどいみじくも御高名に亘らせられるが、昨年八月那須御學御研究室にて職総観に御観み遊ぼされ曾ては微生極畅新種御發見のこさなどもあつて母衆、『東京十九日發』撃上陸下には縁て生物學に特別の御興味を持たせられ宮城吹上御苑の生物

變形菌新種を

再び御發見

の新種を發見され「フィサ 多の標本の内に再び緩然酸 際にて御採取遊ばされた政

門近の温泉地

敗地那須を冠した新學名がルム・ナスエンセ」さ何探

司令部發表にかいる呼吸の近況 各地心 湯寶城で 團橫行

ることは全國民の擧げて破憾に堪へぬきころであると學界では海瞭時上げてゐるしまれながら深き御遊謔の上に並たせられて世界の學界に再び新穂御餐見の懊報を寄せら

日融官の手に

こよつて地鐵線を行び 大部神社督

で無行する事

軍司令官が放送

二十一日夜奉天から米國へ

反邦に對する挨拶

第二の反抗

帝國生命

大連出張所

作者

逝く

三宅やす子女史

局標路下には殊の帰御繁忙に避らせられるため逐飛は極能な領域職を割かれて御晩発にい際され生物母者沿木養敷氏により極端母維語に記載され世界の母界に登表するに至つた、

畏し陛下の御研究

山城に陸来した『平天電話』 山城に陸来した『東西は前に関連総郎を強み職がに続て林した。この戦闘に然て林した。との戦闘には、この戦闘になて林いた。 かが部隊は同日午後六時諸 沙嶺の戦傷者

除への入電によれば同職除河野中 十九二夜繁日より歩〇〇職除留守

牛莊に來襲の

兵匪を撃退 今朝救援隊ご協力し

「東京特體十九日製」本紙検別なるでは、「東京特體十九日製」本紙検別ない。

史す三の は子紹作 十数や者

セ將軍來連

三、一般市民および中等學校女生 往、小學校上級生は各自日の丸 の小旗た携へ忠媛塔前最場に集 合こで、 一個しこれが敷型をなす事 四、各團體代表者および中等學校 男生徒は各自日の丸の小族な携 行と周水子に出理へ市長は市民 た代表して敷迎離れ陳ぶる事 た代表して敷迎離れ陳ぶる事 が代表して放迎離れ「なが独選を に関いてなず事 でで、周水子飛行場に於ける敷理設

四十三『寫真は三名

下附さる

愛國號飛來を 一歡迎

ては役所關係の代表者に脱て見送なほ二十二日午前十時出餐に際し

せして 起を

内十一般就に下降されたが今時また 概義された御神教は昨年八月清洲

たから

2

3

を家時十五分周水子飛行場に養國 ・ 大部へのお話になった愛國親の するので ・ 大部へのお話になった愛國親の するので ・ 大部ののお話になった愛國親の するので 十九日午前十一時から市役所合大部、憲兵隊、警察署、連信局、兵站部議室に民政署、選信局、兵站部議室に民政署、選信局、兵站部、海県、中等學校、企鄉軍人聯合分會、商工會議所、區軍人聯合分會、商工會議所、區

古賀聯兵職隊の名譽の脱死者遺隊を嫁して十八日午後三時畿州に歸還した野土の遺隊は個人艦別の上『荊州十八日發』総西一帯の匪賊を擦蕩し、古賀職隊の豊ひ合戦を行った依田○○庭戦は松尾輜重隊

越に満線各方配を正式誘鹿した、大連港に延復中の特殊艦能登当艦 大連港に延復中の特殊艦能登当艦

能登呂に答禮

・ これに黙し午前十一時四十五分よ ・ ないは、 ・ ないは、 ・ ないである。 ・ ないである。 ・ ないである。 ・ ないである。 ・ ないである。 ・ ないできる。 ・ ないできる。

天氣除臨

他品の三倍持つ

二十日

依田旅團錦州に歸る

市民に煙火で知らす

勇士の遺骸を擁

大連消防歌決る 懸賞募集の入選簽表

▲三等 大連市若狭町一高木 カー致率公ので

人類平和の戦に 向ふはわれら 人類平和の戦に 向ふはわれら

減天が働く われ等大 固き響びに集たる 大災の惨 理想は高しべ連一番という 中間は高して連りつい 中間は高して連りのい 中間に われ等が嵩高の 使命を語る祭 数なる 一、名質共に東洋の 國際都市り 花さらて 東ラン

本 文化を誇る大連市 文化を誇る大連市 高塔の 塔上とラく 朝風に なびく水火の略日旗 も大連の 赤火の縮を添なく こて原ましく 天馬の勢をさながらに 理場を指してまつしぐら ん人の為 人生至 双つこめまさに雌々しくも いざや懲さ 西の風晴一時雲

同同同同常 影昨 二一一六六 低日 一二一五五

٤

米の

新民附近は 依然不安

馬匹三、水統三を遺野と西南方に がにおいて十七日が城市駅水とた 新民よりの懐戦によれば同地西門 匪賊機を狙ふ

一の戦感流在と機會か見ては新氏を 事中であつた戦戦は振興と脚車房 事中であつた戦戦は振興と脚車房 なは同地附近には五百名が至于名 なは同地附近には五百名が至于名 新 繁撃せんとする機械あり同地は依 襲撃せんとする機械あり同地は依

少佐同彩、加岡民愛國の結 大石桥 、「禁口、艦山を経て 備の準備

英大使館に

大子後二時三十分から三時までの に大本概に智陵の豫定である、 である。

旗上げ 興行

來る廿九日から九十銭均一

問題は國粹會の面目

給外務社員招聘 年齢、三十歳より 中等教育以上の者 町一番地議鍛食堂車個人身份品 財験機の場合は居直りに經ずる 由口縣厚狹郡小野田町 可もりであつたさ自白して居る 小野田町 つもりであつたさ自白して居る 小野田町 では自身であったさ自白して居る 小野田町 では、一大田・セメン 男裝少女餘聞

でて自与しませい。 からぬ男が水上器に響げられた 市内悪比須町八八周平月方行商 市内悪比須町八八周平月方行商 大津から來たものだが報狂ひさ 大津から水上器から解放された なびそかに自宅に連れこんで キュービー マヨネーズ

高れてきまり、 本でもますとして常息を終って をたせきヨノフ勝軍はこの程楽連 ではかはらすさころによると錦州 攻略後各地にはびころ兵匪馬賊 の群持藩に尊い日本軍人の生命 がかけるのは残念だから自分が 乗り出し蒙古人と支那人によると錦州 がの群を討たしてくれと本庄軍 民の群を討たしてくれと本庄軍 に対して変古人と支那人による のうらち丸で内地に向ふ、なほ では、とない。



東京市原本語では、 東京市の大学では、 東京市の、 各地印刷所にあり 寄



金 金

宿 の頭痛し ーシン〇 費 低

舍 完備◎學

※製商 ◆ 志摩洋行 色の子ネ子 東 店商尾西 アクチノ太陽燈をお奨めします 各種 太陽 位 阪 変 会社 中でクチノ太陽線高洲代理店 合名 中 出張所電話三三三二番 ¥ 120,00

に報社日十二

大 あるが、内田總裁より江口融裁 知し取一まこさに慰釈で行の概さを通 が上取一まこさに慰釈しなって、 行理事及び社戦一同へお解へを乞 か」さ時電してゐるので江口融級 が上で連載が上海し殿下の奇能さ思 日略社報に援歌し殿下の奇能さ思

第九拾零回決算器

100ポルトーニ〇ワット 電球二吋レンズ、四百呎リ ナル、フイルム、セメント

産十五

會日

口丛

日本コリ

まむし かぜに 痔疾專門 電田六五八番院

Ľ 大連市西公園町トキワ橋

電話九六四六番局

コロムビア二月新譜 二越三階ホール一月二十、二十一日午 羅紗小倉厚司 まむじ酒まむしや 小松家本店腹の蒸焼 大連市信濃町で帝國館前) つ で 8 入學 ヹビア蓄音器 講音器 部部 後七時より か で 3 3

○ えな事なら、彼處から、関って、なな事なら、彼處から、関の

でに見るツ……) 歌之感は、持つてゐた盃を、カ 歌之感は、持つてゐた盃を、カ かきれたやうに、歌か光を沈ませて、

歌歌、時間では流れる――。

最后の審判

ちの赤えいのやうな深が、茶

ドイムワル

*VALET"
Auto Strop
Safety Razor

す

0

9

3

玉子の様

るへ使年牛が刄の枚一 刀剃全安研動自一レバ

插各上以錢五十三四一 位

9

後の

3

0

3

9

こバレーは

3

頬を上

^.

類を下

二千

つて来たのかツ……。この話み(おれは、彼好らの姿を見る館に

Ŧī.

賣裝回廿月一

機及ンイ

思 の 苦

奏ンイ

ガボットーボ長調バンガリアン・

ν

頰

Ŀ

ダ

ンス

五六八八七六 步金玉玉金歩

猫ピアノ

シピュンタン

受ける為めに、戻って來たのか

九

こ見てさつたか、 佐室

接切りの一門・龍は背中から属

ちなって消える。 製質の息味・彼の 全身な、生きながら、地獄に落し た、呪びさ悲歌の息味であつた。 であった、生きながら、地獄に落し

で、のつそりと様切らうことた。 その途職、瀬之丞の配式つた眼に を、のつそりと様切らうことた。 その途職、瀬之丞の配式つた眼に

會ご入選發表

「ローエングリング 分 巻

th

指

カゴ交際情報

呪はれたる機人

東る廿一日初日で常端座に出演するオリエンタル歌劇舞踊襲一行は、 のなり「本の娘と橋美智子、華丘子子、本野歌の娘と橋美智子、華丘子子、

歌劇メンバー

カメラマンの第一人者である田 高活氏が愛用のアイモで揺ぶた。 のが▲九ミリや以来、同氏の修 るが▲九ミリや以来、同氏の修 のフィルムが近く出来 のである連中は必ずや素齢 のである連中は必ずい表 のが

さなつて現はれるだらる。シャル・カーは必ずや素晴られるだらで

民體

ふけよけ

歷

流行歐

満州行進曲

=¹¹

吉璉

主題歌

わかしは愉快じや

羽田

歐力

于三

節花浪

松吉壽

軒 孮 木

良米

戦 (光)

奏說

ナートル・デームに奥ふ

大人口

サク

角落八段へ 土居市太郎 四段▲ 鈴木 順一 同は四四歩迄の局面 会鈴木氏「持駒」ナシ 会鈴木氏「持駒」ナシ

交 交響曲 第二番

洋樂の

ナムー

1 🕮

洞

日

(23)

合て二月候會に接越すさ

劇舞

也很五分男

是上菊五郎 | 座

樂の

愛僧の盾回

夜更けの街

見るく中に、彼の前には、いるがに終子が、様のやうに立ちが お、、おれは、ごうしようさ云ふかがには、あの男のものになつた 歩きついけてるる歌之水の眼は 何處を的さもなく

れるやうに、一村の居然 一般之張は、明い灯に吸す でいる。 くさ寒い音を立てる ない、絶写版な悲しみ――。 かに、 惟えてしまひさうな、 類り

假く、一歩に高く、更け渡った夜 茶母な顔を打たせながら、一歩は 概之残は、降りか、る雨の眼に、

意楽にならないで、異様な流息さ く、唇を動かしてゐるが、それは く、唇を動かしてゐるが、それは で、唇を動かしてゐるが、それは

映畵買上 活松竹から

鵬 行

君を 慕へ

燕

郎市

十實

惠

日駕

1/4

本衣

三欧

雨

北村兒童樂劇團

1活は「乃水粉草さ熊さん」「赤田海(低」「喉の母」を滴州事變ニールの母」を滴州事變ニールで、 部によりそれが、各部院で特古で直に満洲へ輸送され関東軍司 院醫井幅



唄

需護造製薬膏の確的能効

€

太

外局

彼の前には、ニター 軍隊慰問に

でして古智・歌歌との戦略でロケオ るが▲これを追つて明日入港のう らる丸で新興・ネマの撮影班一谷 ションが目的らしい人脚せずして ションが目的らしい人脚せずして ションが目的らしい人脚せずして でのう が楽満し、これまた総西のロケー ションが目的らしい人脚せずして であれ、後に質談を打ね ける東活撮影を指 一行は職西に

三、ツ葉、曾例、曾 世(五十嵐師範)である

古普·辛斤·下丁 太夫 唱 置前 野カルメン 歌『マルタ』 聯隊行進 素品 坂本龍馬 本级太 樂山學 カ 文 旭

ボ夢 迷お 子山 ろはら のの の彦 校慰 畸 英

明証御効有生先戸宍ルトクド





姿は牛乳スキ 直下 ジャンプで

SK. 196

色を白くし美しくなる

0 銃 長 0 石

占師 十九日特別大公開 作が紙つけた三二年の代表 からざる九天の大日輪にからざる九天の大日輪に 大日方傳共演 · 郎·伏見直江共演 た配して復博倫烈―― いて濃騰無比―― 五右衛門

D 見逃せぬ映鑑が変わらいは?

開演時間●

· 央館

十七日り

今 選男るけ賭を命品作特社トンウマラバ 大スシンラフイケ・氏ルエーボ・ムアリイウ 連品作智監氏ルエウムロク・ンヨジ・演主機 新息のでまず階を命に愛い强の實践が徒博一 説朝高最果効整験・よ見な高描き如かるまつ ●品作督監氏チツビル・トスンル工匠名 扇の人夫アミダンイウ

十六日より二十日まで 世界の視聴が集つた錦州城さはそ もごんなさころか?

想ひ出多き女 雄・協演・・・・ 網子・澤蘭子・癬籐達 行山 子 型羊羮を~ 絶對變質せぬ 羹

縣井試錐工事應需地下水の調査鑑定 **電話六五四四番** 鑛 所

関イマス・御不用品が 黄任付 柳霞堂・ 藤田タンス専門店 藤田タンス指物互場 賦販賣·

ふぐ料理の本場は 集上百萬圓の保險附なれば 命に別狀なし安心して おは おは おいまして の保險附なれば 大他 | 経料理 | 改良数 こまこだ ** 御宴會は特に御相談に應じます 东店 監 は

勢屋り 製料大特 を達します。 聞水は面日採館シで居ます に拘らず御用命願言す 頭痛 **削**経流力強殊特新最 が見科醫院 勢 胃藥、咳 月やく止り全快御禮 すで全部局薬るあ用信は薬 石界6開祖 声流大理后端 洲大理 声流大理后 要 萬泉双 R 南湍大理后至場 信楽 一二十十 風経 品にはある 意にもある 意にもある

は今 八が下なる果物 味覺即營養にあり か .15 1尹 於田浪速田角)雷口 是 3 非 電三八七三 用 命 N. 五五·巴 FRESH & FULL

紀カ

へん想ふタ

喆罐·酒洋 種各

八六八番

今日の映畵 進 物に!

相夕 特 (dli 慢提

銀會議招集計畫 故ブライ

位制を採用したのを非難した アン氏の息子 十二月中の

東拓儲け

満洲では東拓も

有利な立場に

將來は益々多事多端

菅原東拓總裁の話

れた。 では時局の壁化に從って會 では時局の壁化に從って會 では時局の壁化に從って會 では時局の壁化に從って會 では時局の壁化に從って會

◆…新設五品代行

定期喻合高(时八日)

二数

数百三萬五千株

編助 四川限一三五二 五〇 編助 四川限一三五二 五〇

綿糸小戻し 高姿 産地情報は織同事青八分の一安、為替五留比安ミ材料區々 を入れたる主勢票軟弱に當市は氣 変薄く国散裡の弱保合商肤であつ 乗薄く国散裡の弱保合商肤であつ 無袋弱保合

資本金 大連市西通(排込濟) 醫學博士 **澁谷創榮** 入院室閑靜 前校學小日春町圓公西 (夕隆) 苗五六五六 話電

穀粕粱豆

然大連商業銀行 敷物漆器 家冥裝飾



諒解を得ておいた、

当 市 市 株 株 株

强保合

不變

一海爲替情報

(単位應)

149,544.1

149,544.1

8.040.0

2,379.6

2.683.1

2.630.0

1.028.2

593.2

16.3

0.8

92.0

148.0

1.494.5

8.633.7

2,096.4

43.147.2

430.9 112.1

2,367.3

9,574,1

2,264,6

700.1

理料西蘭佛

否

話四四五七十

印

2,121,9

目 本年ノ本日 昨年ノ本日

13,390.1 2,913,4

211.722.2

5,710,8

27.182.3

4.887.5

2,509.7

1.706.6

1.737.7

219.0

196,3

1.112.1

1.412.8

10,287.4

95.837.6

1.413.0

63.4 2,127,2

電四四六三倍

東亞切別餘

社式

連支店

大連市近江町

電話七三六六

814.2

豆

粕

粕

● ででは、一下では、一下ででは、一下ででは、一下でででは、一下でででは、一下でででは、一下でででは、一下でででは、一下でででは、一下でででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下できる。

「一下できる。」

「一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下できる。」

「一下できる。」

「一下ででは、一下ででは、一下ででは、一下できる。」

「一下できる。」

「一下ででは、一下ででは、一下できる。」

「一下できる。」

「一下ででは、一下ででは、一下できる。」

「一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下ででは、一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下ででは、一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下では、一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下では、一下では、一下できる。」

「「一下では、一下では、一下できる。」

「「一下では、一下できる。」

「「一下できる。」

「「一下では、一下できる。」

「「一下では、一下できる。」

「「一下では、一下できる。」

「「一下では、一下では、一下では、一下できる。」

「「一下では、一下では、一下では、一下できる。」

「「一下では、一下では、一下では、一下できる。」

「「一下できる。」

「「「一下では、「「一下では、」

「「一下では、」

「「一下では、」

「「「一下できる。」

「「「「「」」

「「「「「」」

「「「「」」

「「「「」」

「「「「」」

「「「「」」

「「「」」

「「「「」」

「「「「」」

「「「」」

「「「「」」

「「「「」」

「「「「」」

「「「」」

「「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「「」」

「「」」

「「「」」

「「「」」

「「」」

「「」」

「「「」」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」



喉鼻 科醫院

松浦汽船大重出机 化浦汽船大重出机

●香港 行(養順丸 ●新園 行(富山丸 東國荷扱店(大連素品 電話 五二七五 電話 五二七五 電話 五二七五 電話 五二七五 電話 五二七五 電話 五二六五

■日渍汽船速出帆

● 名古屋 行 午前十一時

カカカカカスーニサー

勉强

整後町八番地

御願申上ますがら精々御利用の数株でも御取扱致し

臺灣大 臺灣引

月前一節前二節 月月前一節前二節 月月 240 至20 月月 240 至20 月月 240 至20 月月 240 至20 250 至20

值值值值上

六九九三兩三 六九一兩三 六九一兩三

国

山田商店株式部

手形交換高(十九日) 金 素質枚 8(1号) 六八個 金 素質枚 8(1号) 六八個

等相場 「豊富比の分の 質勢相場 「豊富比の分の 質勢相場 「豊富比の分の

四十銭高、流緩新同事に対議論、新立一二十銭高、新立一二十銭高、新立一二十銭高、締立一二十銭高、締立一二十銭高、締織新同事が出る。

1777. 花水花湖上港市中文打樓

場價巴朝市連大

出来高銀

全期

大孝奉 美 美 美

株(保合) 三十二圓三十錢 六十一圓九十錢

を揚天ぷらとは手経-品料理 大連味界の明星 百味麼 連貫街の宣

况午九日

十十十九 時時時

産

にして他は小口糖である、概場のここは前記の如くにして機能がある、概場である、概場の正式り前年同期の五十銭九厘に比さなり前年同期の五十銭九厘に比ら工銭二厘の機能は一貫短金五十四鐵一厘の上三銭二厘線六分三厘の

天津棉花の 仕手關係で 豆ご粕昻騰

日本輸出激增 はす軟調を辿った は子軟調を示したが高粱のみは添加も強調を示したが高粱のみは添加を強力を見れば小り豆は一般を辿り豆は一般を辿り豆はずいます。

日本の金輪出再製正により繁替の質法交機に増加し十二月中に天政院は近年十一月の六萬俵以来の銀字を示したことを示したさ

大0 大0 大0 大0 大0 大0 大0 大0

星末門張出 高層部 電も六八〇

小兒科

南語の三四番・2